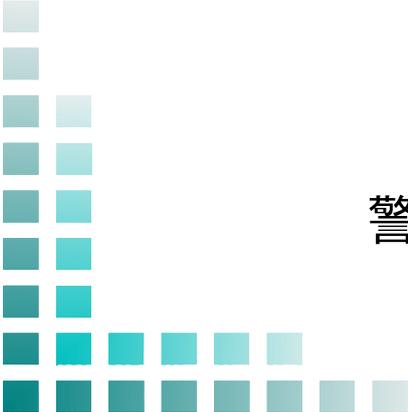


平成23年1月27日

平成22年中の交通死亡事故の特徴及び
道路交通法違反取締り状況について



警 察 庁 交 通 局



目 次

1	交通事故の発生状況	1
2	近年死者が減少している理由	3
3	月別死者数の推移	6
4	死者の状況と特徴	
(1)	年齢層別死者の状況と特徴	7
(2)	状態別死者の状況と特徴	9
(3)	年齢層別・状態別死者の状況と特徴	
ア	全般	11
イ	高齢者	14
ウ	自動車乗車中	17
(4)	昼夜別死者の状況と特徴	18
5	死亡事故の状況と特徴	
(1)	第1当事者別の状況と特徴	
ア	全般	21
イ	原付以上運転者	22
(2)	法令違反別の状況と特徴	
ア	全般	24
イ	若者	26
ウ	高齢者	27
(3)	飲酒別の状況と特徴	28
(4)	危険認知速度別の状況と特徴	29
(5)	事故類型別の状況と特徴	30
(6)	道路形状別の状況と特徴	33
(7)	自転車関連死亡事故の状況と特徴	35
6	道路交通法違反の取締り状況	36
7	高速道路における死亡事故発生状況	
(1)	交通死亡事故の発生状況	37
(2)	月別死者数の推移	38
(3)	路線別死亡事故発生状況	39
(4)	法令違反別(第1当事者)死亡事故発生状況	40
(5)	当事者種別(第1当事者)別死亡事故発生状況	41
(6)	事故類型別死亡事故発生状況	42
(7)	シートベルト着用有無別死者数	43
8	高速道路における道路交通法違反の取締り状況	44
9	車両及び運転免許に関する状況	
(1)	車両	
ア	自動車走行キロ	45
イ	燃料消費量	46
(2)	運転免許	47
10	都道府県別交通事故発生状況	48
11	都道府県別高齢者の死者数	49

注 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。

1 交通事故の発生状況

- 発生件数 72万5,773件（前年比－1万1,701件、－1.6%）
 うち死亡事故 4,726件（同－47件、－1.0%）
- 死者数 4,863人（同－51人、－1.0%）
- 負傷者数 89万6,208人（同－1万4,900人、－1.6%）

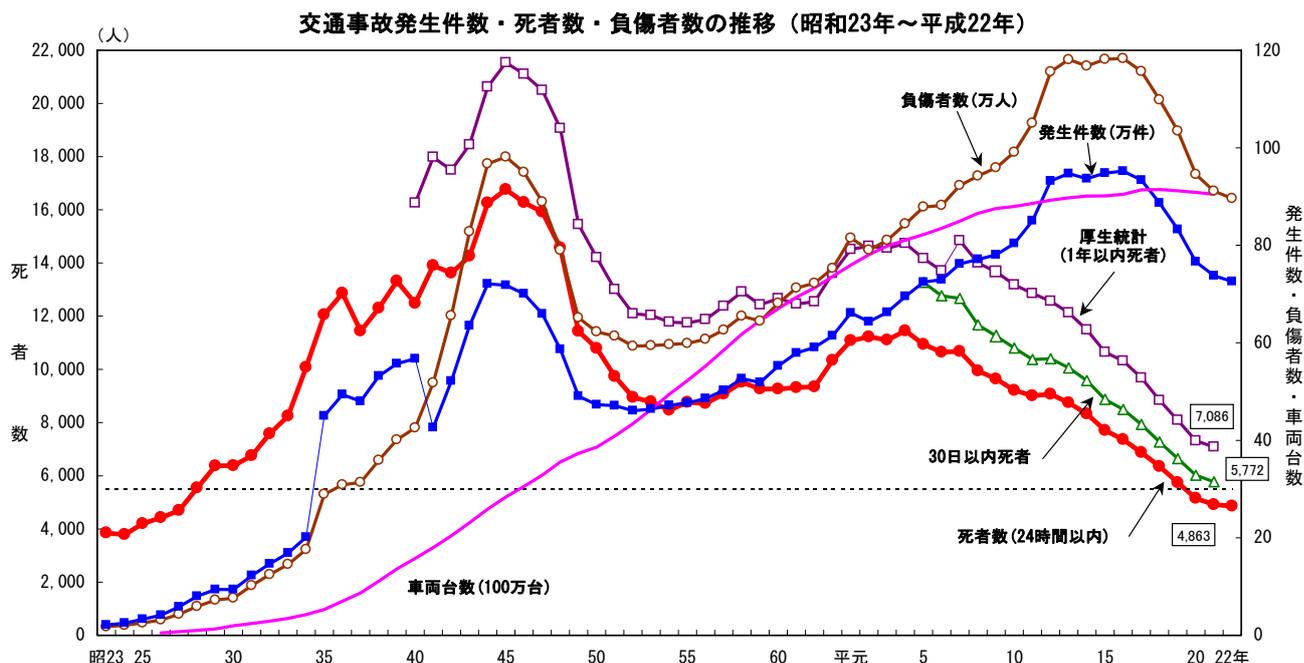
【参考：11月末現在】

30日以内死者数 5,076人（前年比－63人、－1.2% 比率1.18倍）

注 「死者数」とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数をいい、「30日以内死者数」とは、交通事故発生から30日以内に死亡した人数をいう。また、「比率」は、死者数（24時間以内）に対する30日以内死者数の比率である。

平成22年中の交通事故による死者数は、4,863人で10年連続の減少となり、ピーク時（昭和45年＝16,765人）の3割以下となるとともに、第8次交通安全基本計画の目標である交通事故死者数5,500人以下を3年連続で達成した。また、交通事故発生件数及び負傷者数も6年連続で減少し、負傷者数は平成6年以来16年振りに90万人以下となった。

しかしながら、交通事故死者数の減少率は平成13年以降の10年間で最少（－1.0%）となり、死者数のうち65歳以上の高齢者が占める割合は初めて5割を超え、飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって多くの尊い命が犠牲となるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがある。



注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 注2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 注3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。
 注4 厚生統計は、厚生労働省統計資料「人口動態統計」による当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故の死者数である。なお、平成6年までは自動車事故とされた者の数を、平成7年からは交通事故とされた者から道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上。

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成22年）

	発生件数 (件)		死亡事故 (件)		負傷者数 (人)		死者数 (人)	
		指数		指数		指数		指数
昭和 23 年	21,341	17,609	...	3,848	23
24	25,113	20,242	...	3,790	23
25	33,212	25,450	...	4,202	25
26	41,423	31,274	...	4,429	26
27	58,487	43,321	...	4,696	28
28	80,019	59,280	...	5,544	33
29	93,869	72,390	...	6,374	38
30	93,981	76,501	...	6,379	38
31	122,691	102,072	...	6,751	40
32	146,833	124,530	...	7,575	45
33	168,799	145,432	...	8,248	49
34	201,292	175,951	...	10,079	60
35	449,917	289,156	29	12,055	72
36	493,693	308,697	31	12,865	77
37	479,825	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	11,830	75	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	12,767	81	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	11,922	75	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	13,257	84	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	12,885	82	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	13,556	86	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	15,396	97	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	15,801	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	15,340	97	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	15,009	95	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	13,791	87	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	10,845	69	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	10,165	64	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	9,196	58	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	8,487	54	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	8,311	53	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	8,048	51	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	8,329	53	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	8,278	52	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	8,606	54	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	9,045	57	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	8,829	56	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	8,826	56	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	8,877	56	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	8,981	57	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	9,865	62	752,845	77	10,344	62
平成 元年	661,363	92	10,570	67	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	10,651	67	790,295	81	11,227	67
3	662,388	92	10,547	67	810,245	83	11,105	66
4	695,345	97	10,891	69	844,003	86	11,451	68
5	724,675	101	10,395	66	878,633	90	10,942	65
6	729,457	102	10,154	64	881,723	90	10,649	64
7	761,789	106	10,227	65	922,677	94	10,679	64
8	771,084	107	9,517	60	942,203	96	9,942	59
9	780,399	109	9,220	58	958,925	98	9,640	58
10	803,878	112	8,797	56	990,675	101	9,211	55
11	850,363	118	8,681	55	1,050,397	107	9,006	54
12	931,934	130	8,707	55	1,155,697	118	9,066	54
13	947,169	132	8,414	53	1,180,955	120	8,747	52
14	936,721	130	7,993	51	1,167,855	119	8,326	50
15	947,993	132	7,456	47	1,181,431	120	7,702	46
16	952,191	133	7,084	45	1,183,120	121	7,358	44
17	933,828	130	6,625	42	1,156,633	118	6,871	41
18	886,864	124	6,147	39	1,098,199	112	6,352	38
19	832,454	116	5,587	35	1,034,445	105	5,744	34
20	766,147	107	5,025	32	945,504	96	5,155	31
21	737,474	103	4,773	30	911,108	93	4,914	29
22	725,773	101	4,726	30	896,208	91	4,863	29

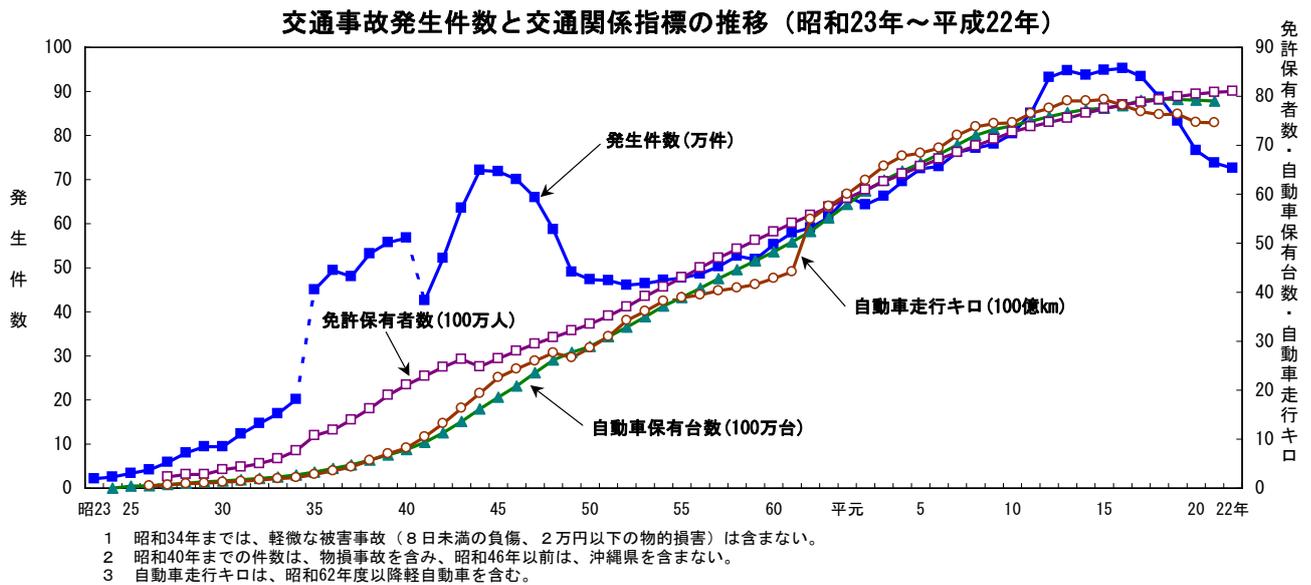
注 1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。

4 指数は昭和45年を100とした値である。

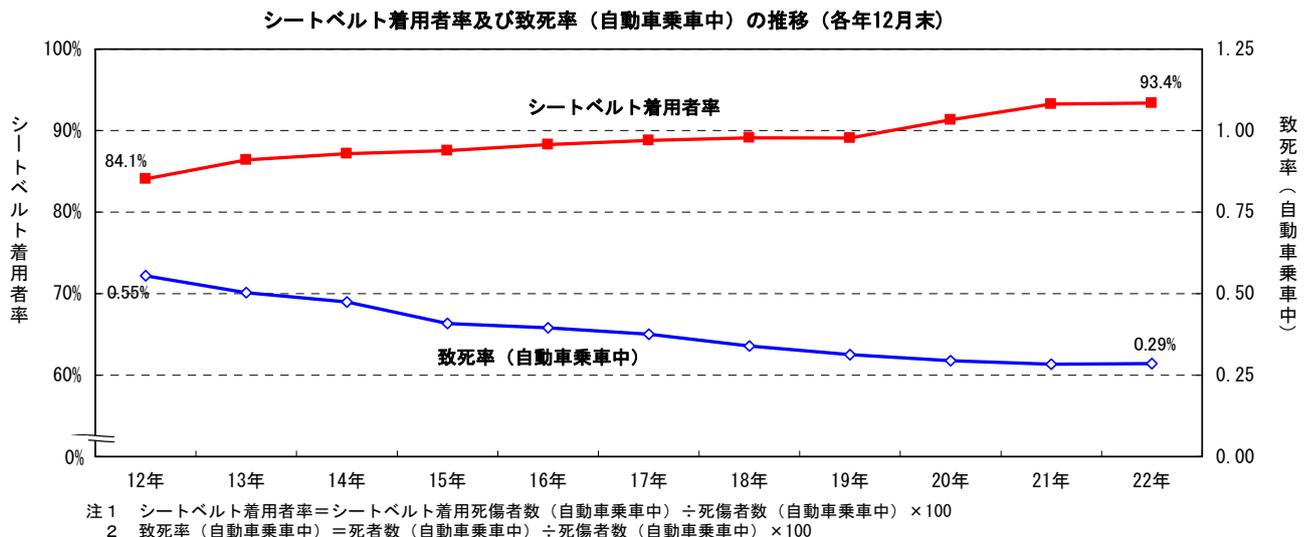
2 近年死者が減少している理由



死者数は、平成13年以降一貫して減少しており、減少要因としては、特に「シートベルト着用者率の向上」、「事故直前の車両速度の低下」、「悪質・危険性の高い事故の減少」、「歩行者の法令遵守」を挙げることができる。

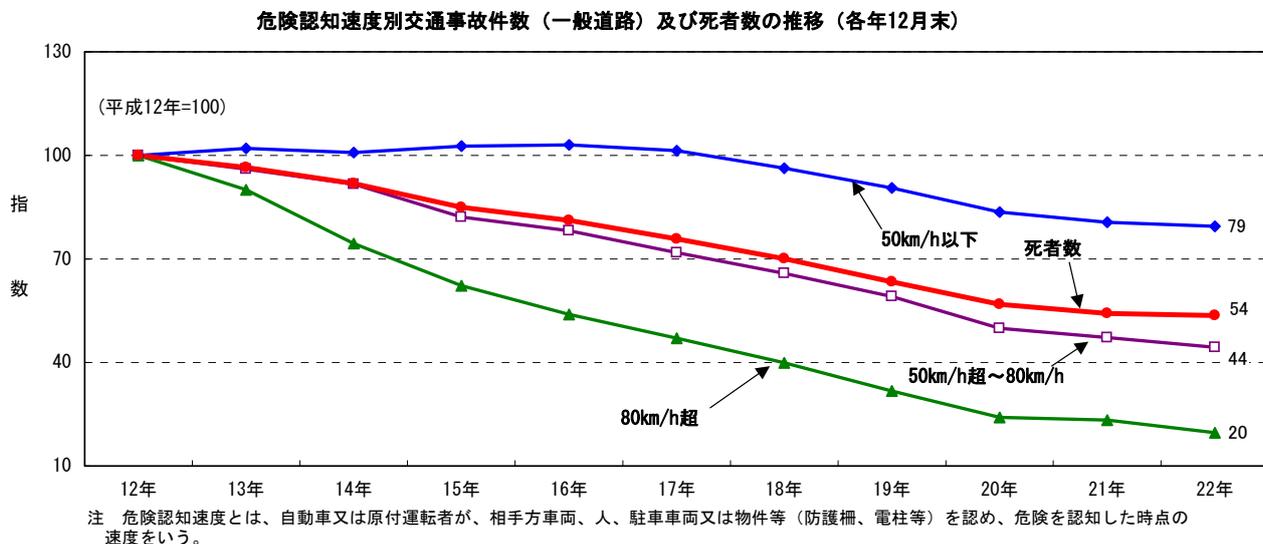
○ シートベルト着用者率の向上

シートベルト非着用者の致死率は、着用者の約14倍であり、シートベルトの着用が交通事故の被害軽減に寄与していると認められる。シートベルト着用者率は、平成5年以降ほぼ毎年向上しており、このことが自動車乗車中の死者数減少の一因であると考えられる。



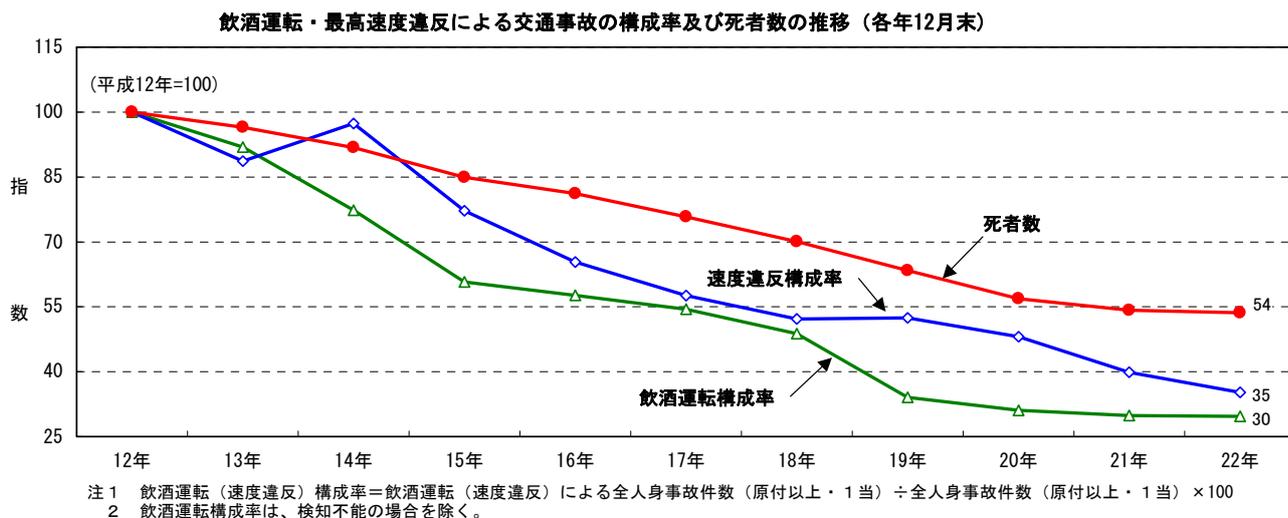
○ 事故直前の車両速度の低下

一般道路において、原付以上運転者（第1当事者）による危険認知速度（車両の事故直前速度）別の死亡事故率は、50km/h以下が0.4%、50km/h超～80km/hが5.0%、80km/h超が28.3%であり、速度が高くなるほど死亡事故率が高くなっている。特に80km/h超の高速の事故での死亡事故率は、80km/h以下の48.5倍に達しており、これら高速走行の事故が減少していることが、死者数減少の一因であると考えられる。



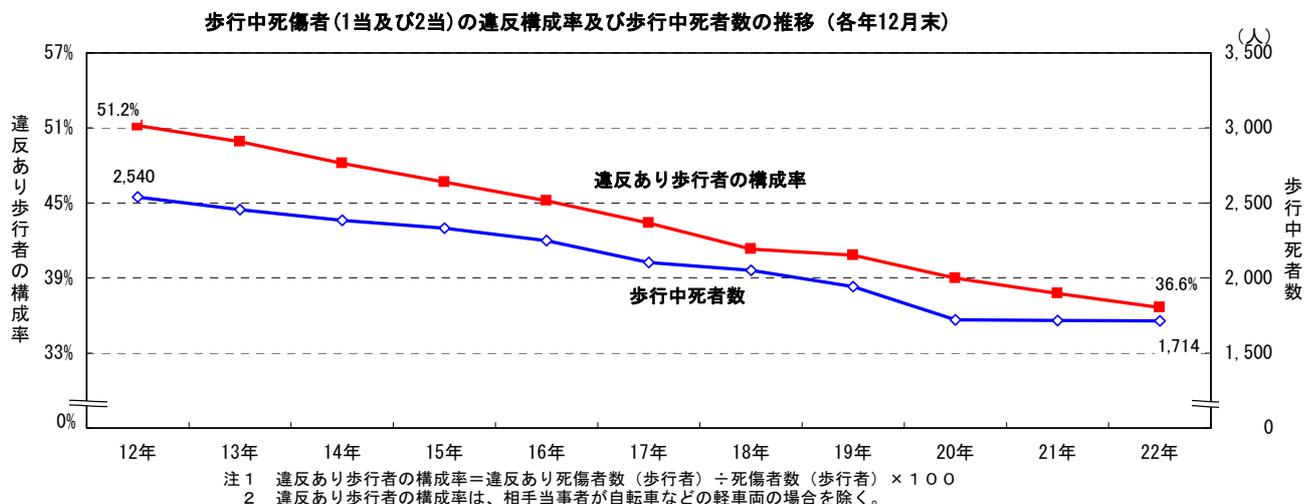
○ 悪質・危険性の高い事故の減少

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転や最高速度違反による事故での死亡事故率は、全体と比べると、飲酒運転が7.5倍、最高速度違反では19.0倍と高くなっている。過去10年間で、これら、悪質・危険性の高い事故の割合が減少してきていることが、死者数減少の一因であると考えられる。



○ 歩行者の法令遵守

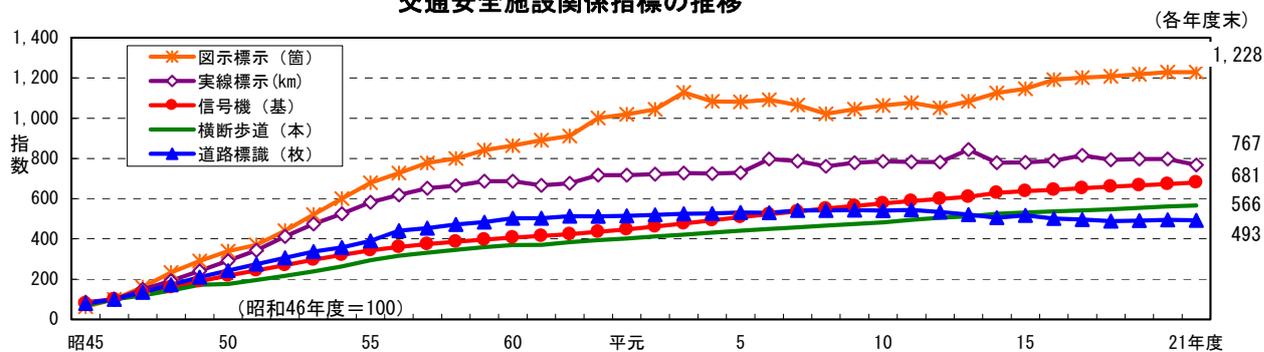
歩行者の違反有無別の致死率は、違反のある者が4.7%であるのに対して、違反のない者は1.4%であり、違反のある者の致死率は約3倍高くなっている。過去10年間では歩行中の死傷者数は漸減傾向にあり、違反のある者の割合が減少傾向にあることが、歩行中の死者数減少の一因であると考えられる。



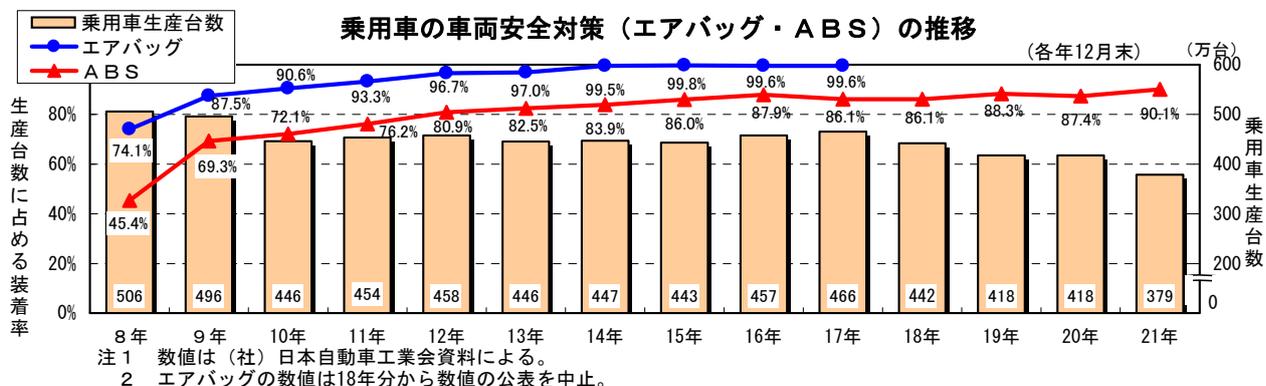
以上のような交通事故死者の減少要因が生じたのは、信号機等の交通安全施設の整備、交通指導取締りその他の街頭活動の実施、交通安全教育の充実強化など、警察がこれまで講じてきた諸対策が効果を上げているものと考えられる。

もとより、死者数の減少は警察による対策だけでなく、例えば、あんしん歩行エリアの整備や事故危険箇所対策の推進など、警察庁と国土交通省が連携して実施している対策のほか、道路管理者による道路の構造面の改善、エアバッグ装着車やABS装着車などの普及など車両の構造面からの安全性向上、緊急医療体制の整備や国民の救命手当に関する知識の普及などによるところも大きいと考えられる。

交通安全施設関係指標の推移



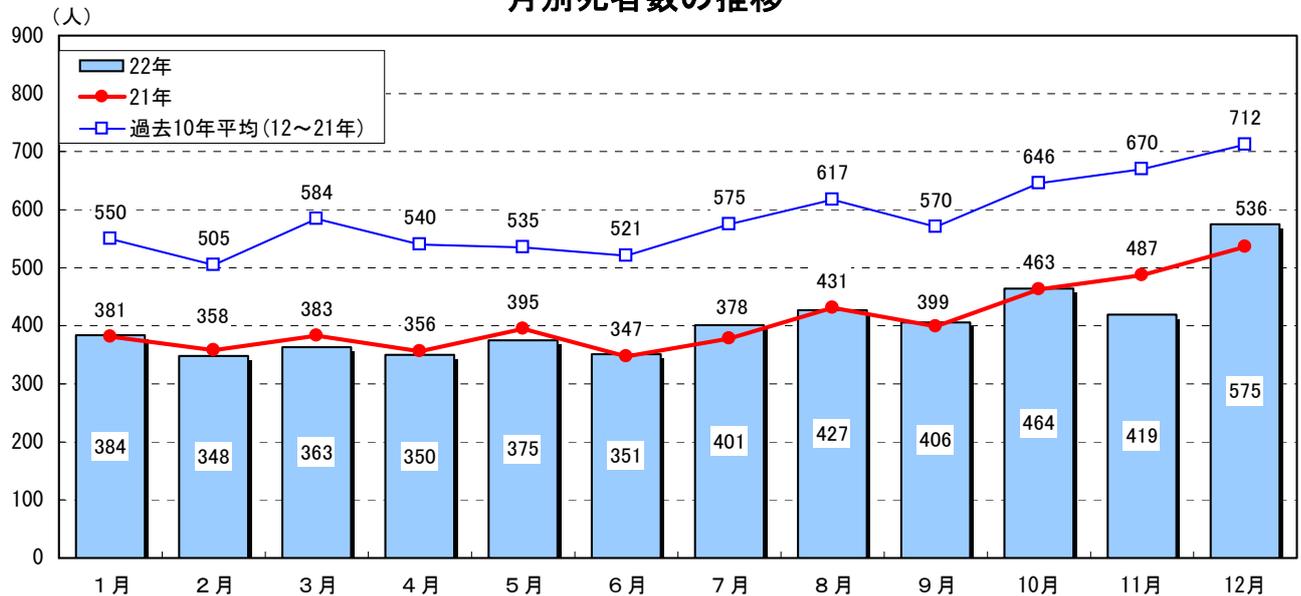
乗用車の車両安全対策(エアバッグ・ABS)の推移



3 月別死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、増加した月と減少した月がともに6か月であった。1日当たりの死者数は、12月が最多（18.5人）、4月が最少（11.7人）となった（年平均13.3人）。

月別死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和27年	302	300	371	403	396	373	2,145	347	434	396	490	430	454	2,551	4,696
45年	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成7年	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
8年	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
9年	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
10年	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
11年	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
12年	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
13年	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
14年	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
15年	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
16年	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
17年	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
18年	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
19年	491	448	449	420	426	420	2,654	470	523	473	547	507	570	3,090	5,744
20年	400	359	384	400	383	369	2,295	444	471	397	498	485	565	2,860	5,155
21年	381	358	383	356	395	347	2,220	378	431	399	463	487	536	2,694	4,914
22年	384	348	363	350	375	351	2,171	401	427	406	464	419	575	2,692	4,863
増減数	3	-10	-20	-6	-20	4	-49	23	-4	7	1	-68	39	-2	-51
増減率	0.8	-2.8	-5.2	-1.7	-5.1	1.2	-2.2	6.1	-0.9	1.8	0.2	-14.0	7.3	-0.1	-1.0
1日当たり死者数	12.4	12.4	11.7	11.7	12.1	11.7	12.0	12.9	13.8	13.5	15.0	14.0	18.5	14.6	13.3
過去10年平均(12~21年)	550	505	584	540	535	521	3,234	575	617	570	646	670	712	3,789	7,024

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

2 昭和27年は死者数が4千人台となった最後の年、昭和45年は死者数が最も多い年である。

4 死者の状況と特徴

(1) 年齢層別死者の状況と特徴

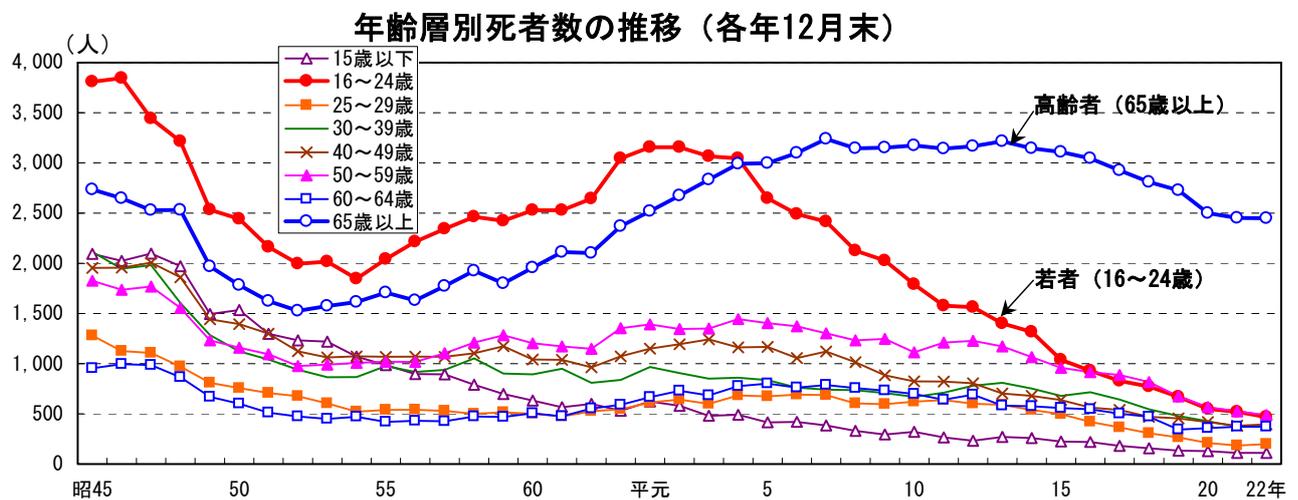
◎ 高齢者が全体の半数を超える

死者数を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）（構成率50.4%）が最も多く、次いで50歳代（同10.1%）、若者（16～24歳）（同9.6%）の順に多い。

前年と比較すると、若者、50歳代及び高齢者の年齢層で減少しており、その中でも、若者（前年比－50人、－9.6%）及び50歳代（同－34人、－6.5%）の減少幅が大きい。一方、25～29歳（同＋14人、＋7.6%）及び40歳代（同＋13人、＋3.4%）の増加幅が大きい。

過去10年間の推移をみると、若者（平成12年の0.30倍）及び25～29歳（同0.33倍）が約3分の1以下に減少している。

高齢者の死者数は、高齢者人口の増加などに伴って、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成5年には若者を上回り、年齢層別で最大の年齢層となった。その後、7年（3,240人）をピークに概ね横ばいで推移し、14年以降毎年減少してきた。しかしながら、他の年齢層の減少率が大きいことから、全体に占める高齢者の割合は年々増加し、15年に初めて4割、22年には5割を超え人口構成率22.7%（平成21年10月1日現在推計人口値）の2倍を超える50.4%に至っており、他の年齢層と比べても高い水準にある。



年齢層別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年				
15歳以下	231	270	258	225	221	182	158	133	127	111	111	0	0.0	2.3	48
16～19歳	668	607	604	483	421	321	363	304	261	227	196	-31	-13.7	4.0	29
20～24歳	895	795	712	556	510	508	409	366	290	292	273	-19	-6.5	5.6	31
16～24歳	1,563	1,402	1,316	1,039	931	829	772	670	551	519	469	-50	-9.6	9.6	30
25～29歳	602	590	539	497	420	364	306	266	210	184	198	14	7.6	4.1	33
30～39歳	780	810	751	678	716	643	547	478	425	372	378	6	1.6	7.8	48
40～49歳	804	704	678	637	563	539	472	454	417	382	395	13	3.4	8.1	49
50～59歳	1,228	1,172	1,066	960	916	887	816	673	568	523	489	-34	-6.5	10.1	40
60～64歳	692	583	574	557	545	503	472	343	358	371	373	2	0.5	7.7	54
65～74歳	1,468	1,460	1,409	1,383	1,308	1,240	1,152	1,092	979	914	906	-8	-0.9	18.6	62
75歳以上	1,698	1,756	1,735	1,726	1,738	1,684	1,657	1,635	1,520	1,538	1,544	6	0.4	31.7	91
65歳以上	3,166	3,216	3,144	3,109	3,046	2,924	2,809	2,727	2,499	2,452	2,450	-2	-0.1	50.4	77
合計	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	4,914	4,863	-51	-1.0	100.0	54
高齢者構成率	34.9	36.8	37.8	40.4	41.4	42.6	44.2	47.5	48.5	49.9	50.4	—	—	—	144
(再掲)															
20～29歳	1,497	1,385	1,251	1,053	930	872	715	632	500	476	471	-5	-1.1	9.7	31
70歳以上	2,468	2,538	2,494	2,442	2,474	2,362	2,295	2,239	2,055	2,043	2,049	6	0.3	42.1	83

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

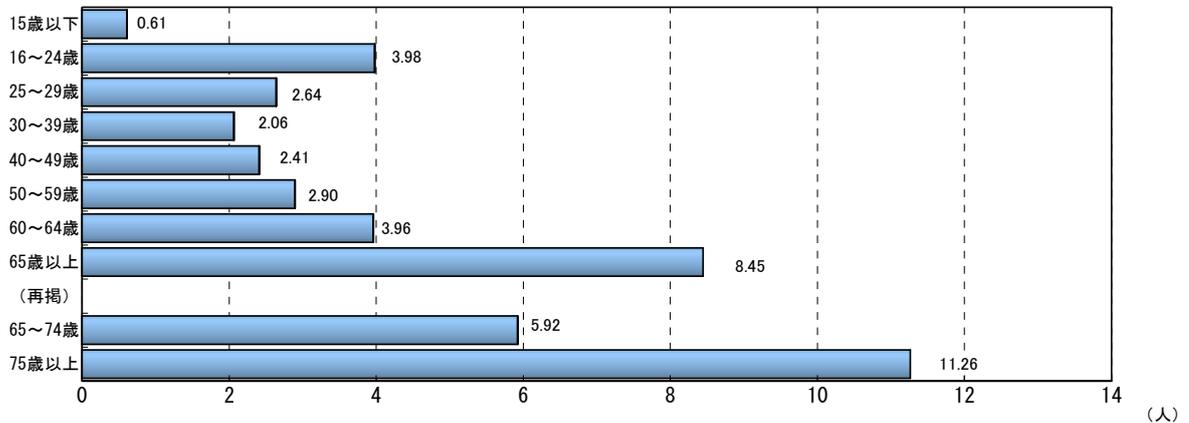
2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ 人口10万人当たり死者数は高齢者が最多

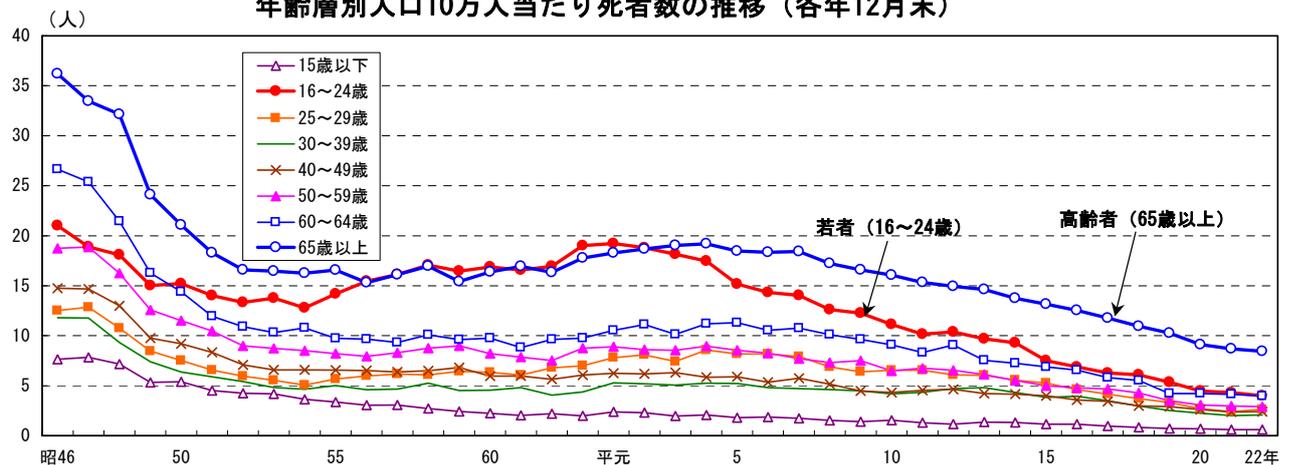
人口10万人当たり死者数を年齢層別にみると、高齢者（8.45人）が最も多く、次いで若者（3.98人）、60～64歳（3.96人）の順に多い。

過去10年間の推移をみると、全年齢層で減少傾向にあり、中でも若者（平成12年の0.38倍）が4割以下に減少し、高齢者（同0.57倍）も6割以下に減少している。

年齢層別人口10万人当たり死者数（平成22年中）



年齢層別人口10万人当たり死者数の推移（各年12月末）



○ 年齢層別人口10万人当たり死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年												増減数	増減率	指数	人口（21年推計人口）	
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	(千人)				構成率	
15歳以下	1.14	1.36	1.31	1.16	1.15	0.96	0.84	0.71	0.69	0.60	0.61	0.00	0.8	53	18,219	14.3	
16～19歳	10.85	10.04	10.12	8.27	7.41	5.84	6.81	5.83	5.15	4.57	4.02	-0.55	-12.0	37	4,871	3.8	
20～24歳	10.07	9.44	8.68	6.94	6.49	6.58	5.56	5.01	4.01	4.11	3.95	-0.16	-3.9	39	6,913	5.4	
16～24歳	10.39	9.69	9.29	7.50	6.88	6.27	6.09	5.35	4.48	4.30	3.98	-0.32	-7.4	38	11,784	9.2	
25～29歳	6.08	6.03	5.55	5.27	4.61	4.16	3.70	3.32	2.69	2.41	2.64	0.23	9.4	43	7,502	5.9	
30～39歳	4.70	4.80	4.33	3.82	3.94	3.48	2.96	2.53	2.26	2.00	2.06	0.07	3.3	44	18,306	14.4	
40～49歳	4.64	4.21	4.16	3.99	3.57	3.42	2.99	2.90	2.61	2.36	2.41	0.05	2.0	52	16,407	12.9	
50～59歳	6.55	6.11	5.51	4.98	4.77	4.68	4.28	3.50	3.07	2.96	2.90	-0.06	-2.1	44	16,873	13.2	
60～64歳	9.07	7.54	7.25	6.87	6.56	5.81	5.52	4.21	4.23	4.14	3.96	-0.18	-4.3	44	9,413	7.4	
65～74歳	11.57	11.22	10.57	10.18	9.50	8.98	8.19	7.56	6.63	6.09	5.92	-0.17	-2.8	51	15,296	12.0	
75歳以上	19.98	19.51	18.20	17.19	16.48	15.22	14.28	13.44	11.96	11.63	11.26	-0.37	-3.2	56	13,710	10.8	
65歳以上	14.94	14.61	13.75	13.16	12.53	11.75	10.94	10.25	9.10	8.69	8.45	-0.24	-2.8	57	29,006	22.7	
合計	7.16	6.89	6.54	6.04	5.77	5.38	4.97	4.50	4.03	3.85	3.81	-0.03	-0.9	53	127,510	100.0	
(再掲)																	
20～29歳	7.97	7.61	6.99	6.04	5.48	5.29	4.57	4.12	3.33	3.23	3.27	0.04	1.1	41	14,415	11.3	
70歳以上	17.34	17.03	16.00	15.02	14.63	13.47	12.58	11.80	10.47	10.13	9.94	-0.19	-1.9	57	20,621	16.2	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

注3 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

(2) 状態別死者の状況と特徴

◎ 歩行中死者が最多の状態

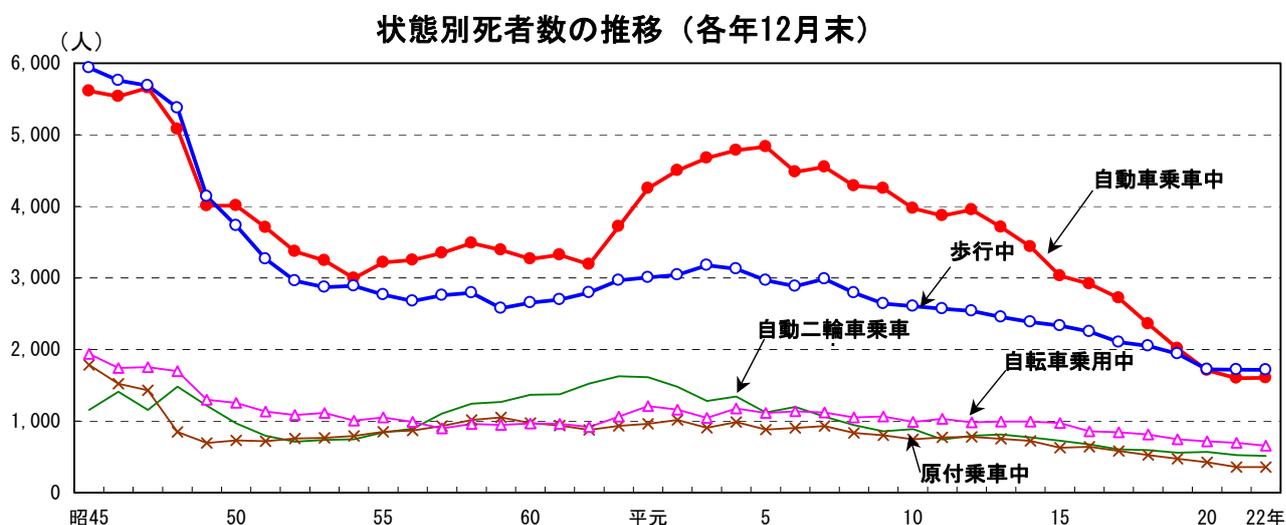
死者数を状態別にみると、歩行中（構成率35.2%）が最も多く、次いで自動車乗車中（同32.9%）となっており、両者で全体の3分の2以上を占めている。

前年と比較すると、自動車乗車中を除く全ての状態で減少しており、中でも自転車乗用中（前年比-37人、-5.3%）の減少幅が最も大きく、減少数（51人）の半数以上を占めた。一方、自動車乗車中（同+2人、+0.1人）は、平成13年以降、毎年減少していたが、22年は10年振りに増加となった。

過去10年間の推移をみると、自動車乗車中（平成12年の0.41倍）が約4割に減少している。

昭和50年以降は、自動車乗車中の死者数が状態別で最多であったが、自動車乗車中死者はシートベルト着用率の向上などにより、平成5年（4,835人）をピークに減少に転じ、その後は、ほぼ一貫して減少しており、歩行中死者数との差は年々縮小し、20年には歩行中死者が昭和49年以来34年振りに最多の状態となり、22年も継続している。

構成率の推移を見ると、自動車乗車中は平成12年の0.76倍に減少しているが、自転車乗用中は同1.25倍、歩行中は同1.26倍と漸増傾向となっている。



○ 状態別死者数の推移（各年12月末）

状態別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
自動車乗車中		3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	1,600	1,602	2	0.1	32.9	41
自動二輪車乗車中		795	813	773	725	673	603	594	559	567	527	512	-15	-2.8	10.5	64
原付乗車中		780	753	724	628	640	581	525	472	423	359	359	0	0.0	7.4	46
二輪車乗車中		1,575	1,566	1,497	1,353	1,313	1,184	1,119	1,031	990	886	871	-15	-1.7	17.9	55
自転車乗用中		984	992	991	973	859	846	812	745	717	695	658	-37	-5.3	13.5	67
歩行中		2,540	2,456	2,384	2,332	2,250	2,104	2,051	1,943	1,721	1,717	1,714	-3	-0.2	35.2	67
その他		14	22	16	16	18	15	11	12	17	16	18	2	12.5	0.4	129
合計		9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	4,914	4,863	-51	-1.0	100.0	54
構成率	自動車乗車中	43.6	42.4	41.3	39.3	39.7	39.6	37.1	35.0	33.2	32.6	32.9	-	-	-	76
自転車乗用中		10.9	11.3	11.9	12.6	11.7	12.3	12.8	13.0	13.9	14.1	13.5	-	-	-	125
歩行中		28.0	28.1	28.6	30.3	30.6	30.6	32.3	33.8	33.4	34.9	35.2	-	-	-	126

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ シートベルト非着用死者が増加に

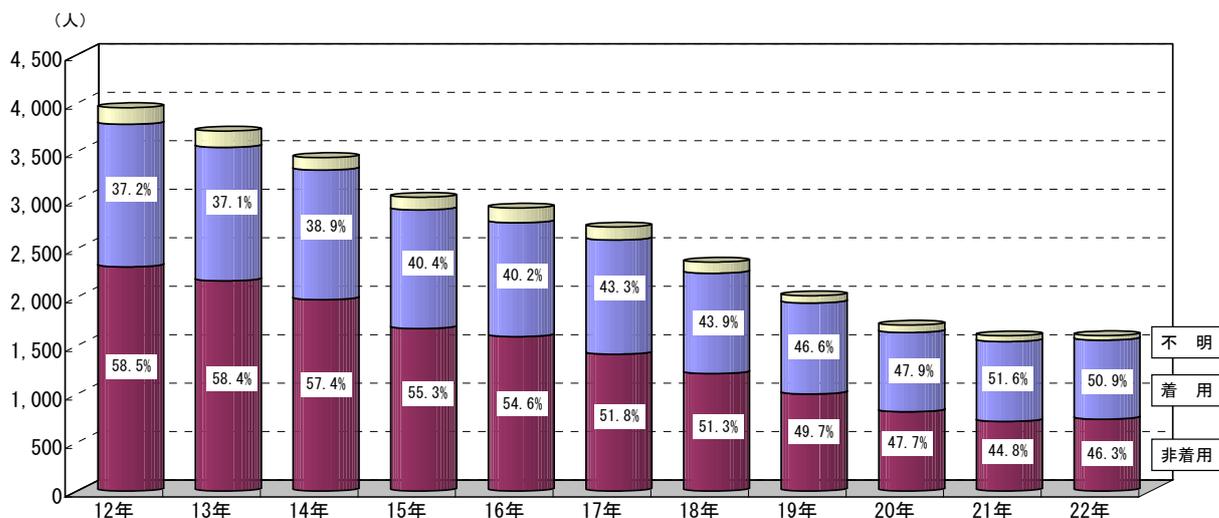
自動車乗車中の死者数をシートベルト（チャイルドシートを含む。以下同じ。）着用有無別に前年と比べると、着用（前年比-10人、-1.2%）が減少し、一方、非着用（同+25人、+3.5%）は、平成6年以降毎年減少していたが22年は増加となった。

なお、非着用死者の構成率を座席位置別にみると、後部座席は66.3%と前年に比べ1.3P減少したものの、他の座席に比べ高くなっている。

自動車乗車中の致死率（死傷者に占める死者の割合）は、10年前の0.55%から0.29%に低下している。この致死率をシートベルト着用有無別にみると、平成22年の着用者の致死率は非着用者の約14分の1であり、このことからシートベルトの着用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。

シートベルト着用者率（自動車乗車中の死傷者に占める着用の死傷者の割合）は、10年前の84.1%から93.4%へ上昇したが、後部座席の着用者率は、平成20年は6月に施行された後席シートベルトの着用義務化の効果により、21年は59.7%に増加するも22年は59.6%で0.1P減少した。

シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）



○ シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

有無別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
シートベルト着用		1,470	1,377	1,337	1,224	1,174	1,178	1,035	938	819	825	815	-10	-1.2	50.9	55
シートベルト非着用		2,311	2,167	1,973	1,675	1,592	1,410	1,210	1,001	816	716	741	25	3.5	46.3	32
不明		172	167	128	129	152	134	114	74	75	59	46	-13	-22.0	2.9	27
合計		3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	1,600	1,602	2	0.1	100.0	41
非着用死者の構成率		58.5	58.4	57.4	55.3	54.6	51.8	51.3	49.7	47.7	44.8	46.3	-	-	-	79
シートベルト着用者率		84.1	86.4	87.2	87.5	88.3	88.8	89.1	89.1	91.3	93.3	93.4	-	-	-	111
運転席		92.3	94.0	94.7	95.4	96.1	96.6	97.0	97.3	97.6	97.9	98.0	-	-	-	106
助手席		85.2	88.3	89.4	90.1	91.2	92.3	92.9	93.5	94.8	95.8	96.1	-	-	-	113
後部座席		27.0	33.3	34.2	31.5	30.6	30.5	30.6	30.0	46.2	59.7	59.6	-	-	-	220

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

3 シートベルト着用の有無は、事故当事者からの聞き取り等により調査したものである。

4 シートベルト着用者率＝シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別致死率の推移（各年12月末）

有無別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
シートベルト着用		0.25	0.22	0.21	0.19	0.18	0.18	0.17	0.16	0.15	0.16	0.16
シートベルト非着用		2.17	2.36	2.35	1.99	2.01	1.90	1.75	1.53	1.75	2.07	2.17
不明		2.54	1.96	1.40	1.57	2.05	1.91	1.72	1.52	1.95	1.74	1.54
合計		0.55	0.50	0.47	0.41	0.39	0.38	0.34	0.31	0.29	0.28	0.29
非着用/着用		8.8	10.9	11.1	10.6	11.2	10.4	10.5	9.4	11.4	13.2	13.9

注 致死率＝死者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別・座席位置別死者数（平成22年中）

有無別	座席位置別	運転席		助手席		後部座席		その他	合計	
		増減数		増減数		増減数				
シートベルト着用		630	-2	125	-18	58	8	2	815	-10
シートベルト非着用		542	25	66	-5	128	5	5	741	25
不明		37	-4	2	-7	7	-2	0	46	-13
合計		1,209	19	193	-30	193	11	7	1,602	2
非着用死者の構成率		44.8	1.4P	34.2	2.4P	66.3	-1.3P	71.4	46.3	1.5P

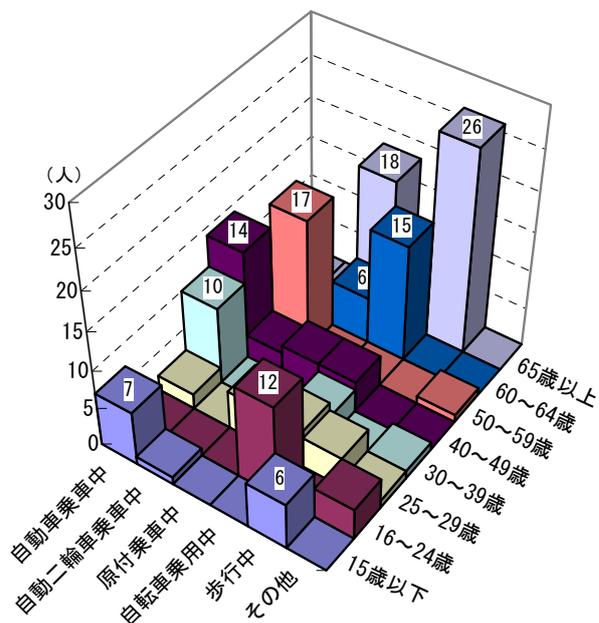
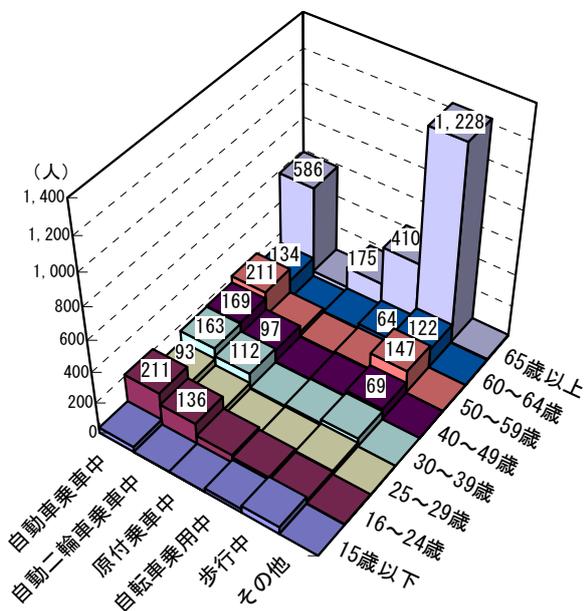
注1 増減数は、平成21年と比較した値である。

2 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

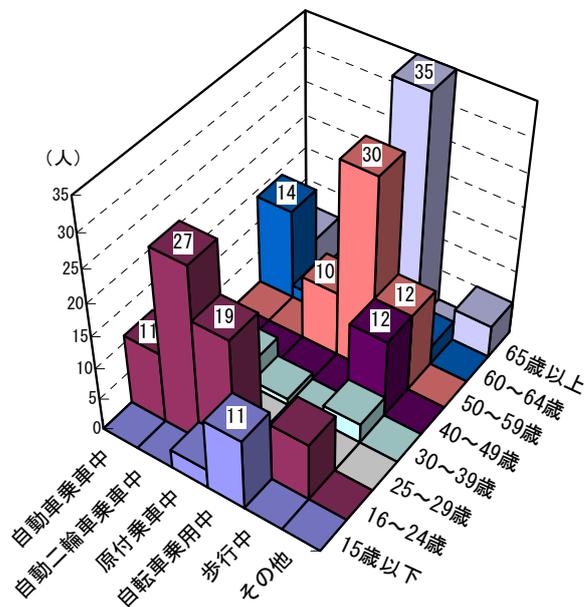
(3) 年齢層別・状態別死者の状況と特徴

ア 全般

死者数を状態別に各年齢層で見ると、自動二輪車乗車中以外の全ての状態で高齢者が最多となっている。



増加数



減少数

○ 年齢層別・状態別死者数（平成22年中）

年齢層別	状態別	自動車乗車中			二輪車乗車中					自転車乗用中	歩行中	その他	合計	構成率
		運転中	同乗中	計	自動二輪			原付	計					
					運転中	同乗中	小計							
15歳以下 (14.3)	死者数	0	35	35	1	1	2	2	4	25	47	0	111	2.3
	増減数	0	7	7	0	1	1	-3	-2	-11	6	0	0	
16～19歳 (3.8)	死者数	41	34	75	51	5	56	39	95	16	7	3	196	4.0
	増減数	-6	-8	-14	-5	-4	-9	-8	-17	-1	-2	3	-31	
20～24歳 (5.4)	死者数	100	36	136	75	5	80	17	97	25	14	1	273	5.6
	増減数	6	-3	3	-20	2	-18	-11	-29	13	-7	1	-19	
16～24歳 (9.2)	死者数	141	70	211	126	10	136	56	192	41	21	4	469	9.6
	増減数	0	-11	-11	-25	-2	-27	-19	-46	12	-9	4	-50	
25～29歳 (5.9)	死者数	73	20	93	50	0	50	12	62	15	26	2	198	4.1
	増減数	-1	3	2	-2	-1	-3	5	2	5	4	1	14	
30～39歳 (14.4)	死者数	140	23	163	112	0	112	20	132	28	54	1	378	7.8
	増減数	7	3	10	-2	-2	-4	-1	-5	3	-3	1	6	
40～49歳 (12.9)	死者数	151	18	169	97	0	97	25	122	34	69	1	395	8.1
	増減数	9	5	14	4	-1	3	4	7	4	-12	0	13	
50～59歳 (13.2)	死者数	183	28	211	54	2	56	32	88	41	147	2	489	10.1
	増減数	0	0	0	16	1	17	-10	7	-30	-12	1	-34	
60～64歳 (7.4)	死者数	118	16	134	14	0	14	37	51	64	122	2	373	7.7
	増減数	-10	-4	-14	-2	0	-2	6	4	15	-3	0	2	
65～74歳 (12.0)	死者数	195	60	255	20	0	20	71	91	179	380	1	906	18.6
	増減数	0	-15	-15	-3	-1	-4	0	-4	-7	21	-3	-8	
75歳以上 (10.8)	死者数	208	123	331	25	0	25	104	129	231	848	5	1,544	31.7
	増減数	14	-5	9	4	0	4	18	22	-28	5	-2	6	
65歳以上 (22.7)	死者数	403	183	586	45	0	45	175	220	410	1,228	6	2,450	50.4
	増減数	14	-20	-6	1	-1	0	18	18	-35	26	-5	-2	
(再掲)														
70～79歳 (10.0)	死者数	199	75	274	27	0	27	74	101	200	534	3	1,112	22.9
	増減数	-13	-23	-36	2	-1	1	-5	-4	-1	52	-2	9	
80歳以上 (6.2)	死者数	106	77	183	15	0	15	64	79	140	532	3	937	19.3
	増減数	20	4	24	5	0	5	12	17	-21	-22	-1	-3	
70歳以上 (16.2)	死者数	305	152	457	42	0	42	138	180	340	1,066	6	2,049	42.1
	増減数	7	-19	-12	7	-1	6	7	13	-22	30	-3	6	

合計	死者数	1,209	393	1,602	499	13	512	359	871	658	1,714	18	4,863	100.0
	増減数	19	-17	2	-10	-5	-15	0	-15	-37	-3	2	-51	
	増減率	1.6	-4.1	0.1	-2.0	-27.8	-2.8	0.0	-1.7	-5.3	-0.2	12.5	-1.0	
	構成率	24.9	8.1	32.9	10.3	0.3	10.5	7.4	17.9	13.5	35.2	0.4	100.0	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 年齢層の下段の（ ）の数値は、年齢層別の人口構成率（総務省統計資料「平成21年10月1日現在推計人口」による。）である。

○ 年齢層別・状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年												増減数	増減率	構成率	指数
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年					
15歳以下	自動車乗車中	58	76	56	61	72	51	35	35	34	28	35	7	25.0	31.5	60
	自動二輪車乗車中	7	6	4	6	4	0	4	2	1	1	2	1	100.0	1.8	29
	原付乗車中	19	21	13	12	9	11	9	6	6	5	2	-3	-60.0	1.8	11
	自転車乗用中	52	60	61	50	58	46	45	33	30	36	25	-11	-30.6	22.5	48
	歩行中	95	107	124	96	77	74	64	57	55	41	47	6	14.6	42.3	49
	その他	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	-	0.0	-
小計	231	270	258	225	221	182	158	133	127	111	111	0	0.0	100.0	48	
16～24歳	自動車乗車中	898	761	748	525	500	472	375	320	223	222	211	-11	-5.0	45.0	23
	自動二輪車乗車中	345	334	286	272	214	188	202	189	182	163	136	-27	-16.6	29.0	39
	原付乗車中	213	191	178	159	140	92	89	82	87	75	56	-19	-25.3	11.9	26
	自転車乗用中	54	56	53	49	33	40	60	42	33	29	41	12	41.4	8.7	76
	歩行中	52	59	50	33	43	37	46	37	25	30	21	-9	-30.0	4.5	40
	その他	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	4	4	-	0.9	400
小計	1,563	1,402	1,316	1,039	931	829	772	670	551	519	469	-50	-9.6	100.0	30	
25～29歳	自動車乗車中	406	366	332	277	253	211	176	143	101	91	93	2	2.2	47.0	23
	自動二輪車乗車中	124	128	122	127	97	89	69	61	63	53	50	-3	-5.7	25.3	40
	原付乗車中	29	39	26	34	17	29	18	17	10	7	12	5	71.4	6.1	41
	自転車乗用中	9	11	12	12	23	10	11	12	16	10	15	5	50.0	7.6	167
	歩行中	34	44	45	44	29	25	32	32	20	22	26	4	18.2	13.1	76
	その他	0	2	2	3	1	0	0	1	0	1	2	1	100.0	1.0	-
小計	602	590	539	497	420	364	306	266	210	184	198	14	7.6	100.0	33	
30～39歳	自動車乗車中	467	501	451	372	379	355	300	221	190	153	163	10	6.5	43.1	35
	自動二輪車乗車中	141	143	163	157	194	144	127	130	125	116	112	-4	-3.4	29.6	79
	原付乗車中	48	47	39	39	41	36	30	26	29	21	20	-1	-4.8	5.3	42
	自転車乗用中	36	28	25	28	15	29	31	20	23	25	28	3	12.0	7.4	78
	歩行中	88	88	72	80	85	78	59	78	58	57	54	-3	-5.3	14.3	61
	その他	0	3	1	2	2	1	0	3	0	0	1	1	-	0.3	-
小計	780	810	751	678	716	643	547	478	425	372	378	6	1.6	100.0	48	
40～49歳	自動車乗車中	471	435	394	382	323	287	225	223	176	155	169	14	9.0	42.8	36
	自動二輪車乗車中	52	64	66	63	58	68	80	74	89	94	97	3	3.2	24.6	187
	原付乗車中	35	39	45	40	32	31	31	37	25	21	25	4	19.0	6.3	71
	自転車乗用中	61	51	49	37	49	33	36	30	38	30	34	4	13.3	8.6	56
	歩行中	181	115	124	115	101	119	100	90	88	81	69	-12	-14.8	17.5	38
	その他	4	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0.0	0.3	25
小計	804	704	678	637	563	539	472	454	417	382	395	13	3.4	100.0	49	
50～59歳	自動車乗車中	650	598	544	479	444	442	387	324	257	211	211	0	0.0	43.1	32
	自動二輪車乗車中	36	47	36	30	34	43	41	42	47	39	56	17	43.6	11.5	156
	原付乗車中	87	88	85	62	85	62	67	56	44	42	32	-10	-23.8	6.5	37
	自転車乗用中	133	109	135	99	104	106	90	70	59	71	41	-30	-42.3	8.4	31
	歩行中	318	325	264	288	246	229	229	180	159	159	147	-12	-7.5	30.1	46
	その他	4	5	2	2	3	5	2	1	2	1	2	1	100.0	0.4	50
小計	1,228	1,172	1,066	960	916	887	816	673	568	523	489	-34	-6.5	100.0	40	
60～64歳	自動車乗車中	292	228	221	224	232	200	187	135	142	148	134	-14	-9.5	35.9	46
	自動二輪車乗車中	17	18	14	9	11	13	16	5	15	16	14	-2	-12.5	3.8	82
	原付乗車中	60	44	54	45	54	45	40	36	24	31	37	6	19.4	9.9	62
	自転車乗用中	106	92	78	89	66	74	64	43	52	49	64	15	30.6	17.2	60
	歩行中	217	201	205	189	178	170	164	124	125	125	122	-3	-2.4	32.7	56
	その他	0	0	2	1	4	1	1	0	0	2	2	0	0.0	0.5	-
小計	692	583	574	557	545	503	472	343	358	371	373	2	0.5	100.0	54	
65歳以上	自動車乗車中	711	746	692	708	715	704	674	612	587	592	586	-6	-1.0	23.9	82
	自動二輪車乗車中	73	73	82	61	61	58	55	56	45	45	45	0	0.0	1.8	62
	原付乗車中	289	284	284	237	262	275	241	212	198	157	175	18	11.5	7.1	61
	自転車乗用中	533	585	578	609	511	508	475	495	466	445	410	-35	-7.9	16.7	77
	歩行中	1,555	1,517	1,500	1,487	1,491	1,372	1,357	1,345	1,191	1,202	1,228	26	2.2	50.1	79
	その他	5	11	8	7	6	7	7	7	12	11	6	-5	-45.5	0.2	120
小計	3,166	3,216	3,144	3,109	3,046	2,924	2,809	2,727	2,499	2,452	2,450	-2	-0.1	100.0	77	
合計	自動車乗車中	3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	1,600	1,602	2	0.1	32.9	41
	自動二輪車乗車中	795	813	773	725	673	603	594	559	567	527	512	-15	-2.8	10.5	64
	原付乗車中	780	753	724	628	640	581	525	472	423	359	359	0	0.0	7.4	46
	自転車乗用中	984	992	991	973	859	846	812	745	717	695	658	-37	-5.3	13.5	67
	歩行中	2,540	2,456	2,384	2,332	2,250	2,104	2,051	1,943	1,721	1,717	1,714	-3	-0.2	35.2	67
	その他	14	22	16	16	18	15	11	12	17	16	18	2	12.5	0.4	129
計	9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	4,914	4,863	-51	-1.0	100.0	54	

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

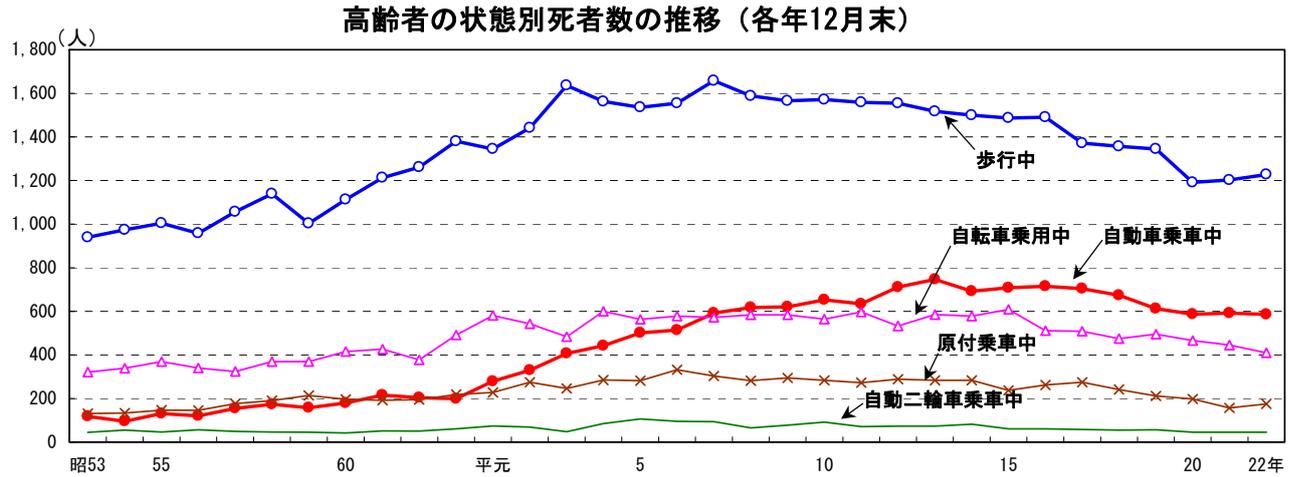
イ 高齢者

◎ 高齢者は歩行中の占める割合が半数以上

高齢者の死者数を状態別にみると、歩行中が半数以上（構成率50.1%）を占め、次いで自動車乗車中（同23.9%）、自転車乗車中（同16.7%）の順に多い。

前年と比較すると、自動車乗車中及び自転車乗車中を除く全ての状態で増加し、その中でも、歩行中（前年比+26人、+2.2%）の増加幅が最も大きく、一方、自転車乗車中（前年比-35人、-7.9%）はの減少幅が最も大きい。

高齢者の歩行中の死者数は、昭和50年代前半から増加傾向を示した後、平成7年（1,658人）をピークに漸減傾向にあり、平成22年の0.79倍となっている。



○ 高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年				
自動車乗車中	711	746	692	708	715	704	674	612	587	592	586	-6	-1.0	23.9	82
自動二輪車乗車中	73	73	82	61	61	58	55	56	45	45	45	0	0.0	1.8	62
原付乗車中	289	284	284	237	262	275	241	212	198	157	175	18	11.5	7.1	61
自転車乗車中	533	585	578	609	511	508	475	495	466	445	410	-35	-7.9	16.7	77
歩行中	1,555	1,517	1,500	1,487	1,491	1,372	1,357	1,345	1,191	1,202	1,228	26	2.2	50.1	79
その他	5	11	8	7	6	7	7	7	12	11	6	-5	-45.5	0.2	120
計	3,166	3,216	3,144	3,109	3,046	2,924	2,809	2,727	2,499	2,452	2,450	-2	-0.1	100.0	77

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

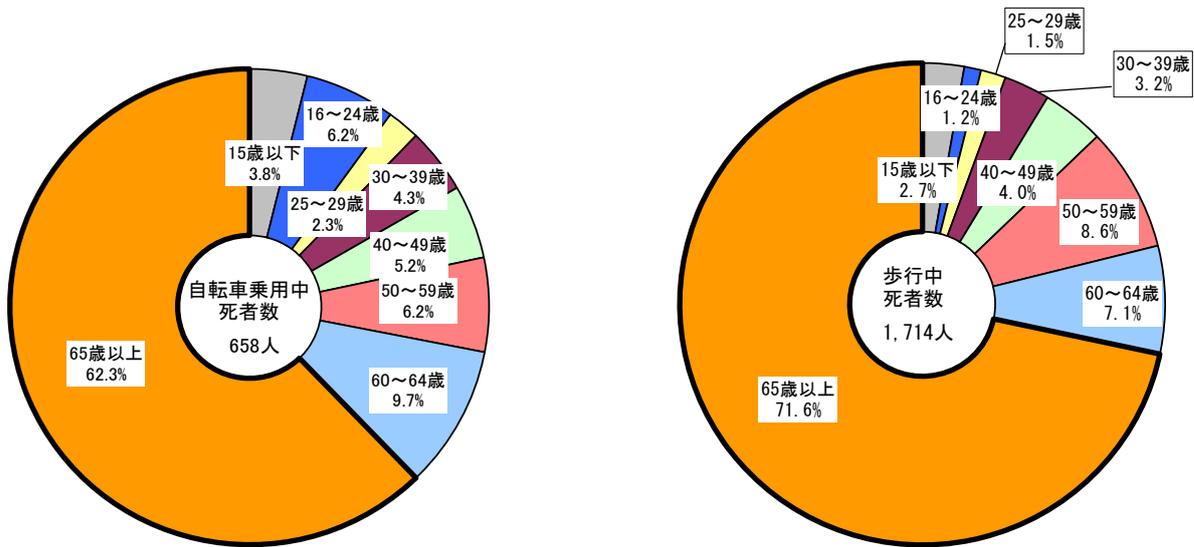
◎ 自転車乗用中及び歩行中死者に占める高齢者の割合が高い

自転車乗用中及び歩行中の死者の構成率を年齢層別にみると、高齢者はいずれも約3分の2（自転車乗用中：62.3%、歩行中：71.6%）を占めている。

自転車乗用中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、本人側にも違反のある割合が約7割（構成率71.9%）を占め、高齢者以外の者（同70.7%）と比べて高くなっている。

また、歩行中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、高齢者以外の者と比べて、横断歩道外横断（同15.5%）、走行車両の直前・直後横断（同17.8%）等の道路横断時の違反の割合（高齢者：同39.6%、高齢者以外：同24.5%）が他に比べて高くなっている。

自転車乗用中及び歩行中の年齢層別死者数（構成率）（平成22年中）



○ 自転車乗用中及び歩行中（第1・2当事者）の法令違反別死者数（平成22年中）

区分		高齢者		高齢者以外	
法令違反別	区分	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		31	7.6	28	11.4
通行区分		11	2.7	9	3.7
横断・転回等		21	5.2	5	2.0
優先通行妨害		10	2.5	4	1.6
交差点安全進行		44	10.8	23	9.3
一時不停止		31	7.6	12	4.9
自転車通行方法		3	0.7	2	0.8
安全	ハンドル操作	19	4.7	14	5.7
	ブレーキ操作	2	0.5	2	0.8
運	前方不注意	3	0.7	4	1.6
転	動静不注視	1	0.2	2	0.8
義務	安全不確認	91	22.4	40	16.3
	安全速度	0	0.0	0	0.0
	その他	4	1.0	3	1.2
その他の違反		14	3.4	19	7.7
違反不明		7	1.7	7	2.8
違反なし		114	28.1	72	29.3
合計		406	100.0	246	100.0
(再掲)					
違反あり		292	71.9	174	70.7

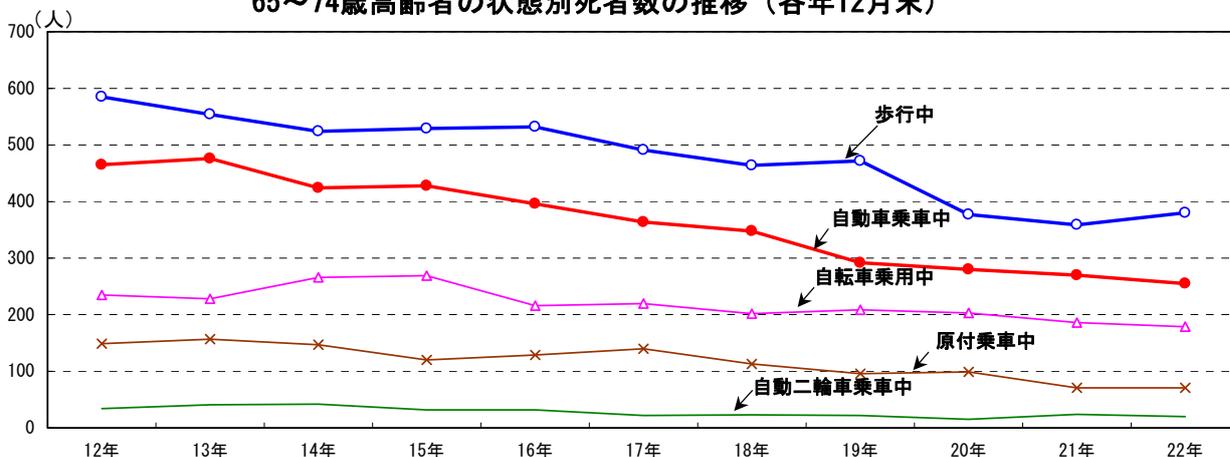
区分		高齢者		高齢者以外	
法令違反別	区分	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		75	6.2	37	8.0
通行区分		55	4.6	23	5.0
横断違反	横断歩道外	187	15.5	43	9.3
	斜め横断	42	3.5	5	1.1
	駐車車両の直前後	13	1.1	3	0.6
	走行車両の直前後	215	17.8	47	10.2
	横断禁止場所	20	1.7	15	3.2
	小計	477	39.6	113	24.5
幼児ひとり歩き		0	0.0	7	1.5
踏切不注意		7	0.6	3	0.6
酩酊等		63	5.2	86	18.6
路上遊戯		0	0.0	2	0.4
路上作業		6	0.5	8	1.7
飛び出し		10	0.8	17	3.7
その他の違反		51	4.2	17	3.7
違反不明		26	2.2	10	2.2
違反なし		435	36.1	139	30.1
合計		1,205	100.0	462	100.0
(再掲)					
違反あり		770	63.9	323	69.9

◎ 75歳以上の高齢者は半数以上が歩行中

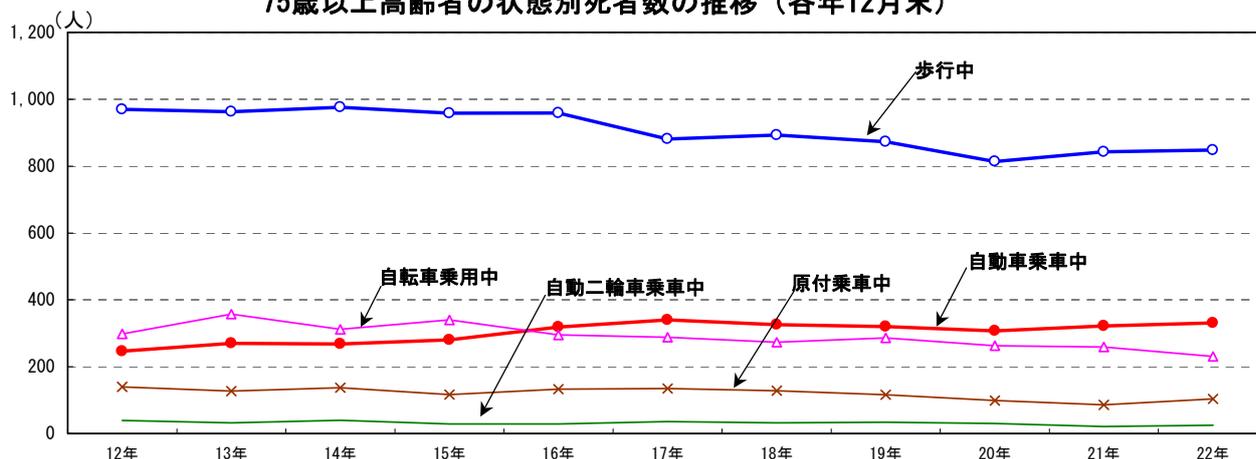
高齢者を65～74歳及び75歳以上の年齢層ごとに状態別で見ると、いずれの年齢層も歩行中が最も多いが、特に75歳以上は半数以上（構成率54.9%）を占めている。

過去10年間の推移をみると、65～74歳の原付乗車中（平成12年の0.48倍）が大幅に減少している。一方75歳以上の自動車乗車中は高い水準（同1.35倍）である。

65～74歳高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）



75歳以上高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）



○ 高齢者の年齢層別状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
65歳以上	自動車乗車中	465	476	424	428	396	364	348	292	280	270	255	-15	-5.6	28.1	55
	自動二輪車乗車中	34	41	42	32	32	22	23	22	15	24	20	-4	-16.7	2.2	59
	原付乗車中	149	157	147	120	129	140	113	96	99	71	71	0	0.0	7.8	48
	自転車乗用中	235	228	266	269	216	220	202	209	203	186	179	-7	-3.8	19.8	76
	歩行中	585	554	524	529	532	491	464	472	377	359	380	21	5.8	41.9	65
その他	0	4	6	5	3	3	2	1	5	4	1	1	-3	-75.0	0.1	-
計		1,468	1,460	1,409	1,383	1,308	1,240	1,152	1,092	979	914	906	-8	-0.9	100.0	62
75歳以上	自動車乗車中	246	270	268	280	319	340	326	320	307	322	331	9	2.8	21.4	135
	自動二輪車乗車中	39	32	40	29	29	36	32	34	30	21	25	4	19.0	1.6	64
	原付乗車中	140	127	137	117	133	135	128	116	99	86	104	18	20.9	6.7	74
	自転車乗用中	298	357	312	340	295	288	273	286	263	259	231	-28	-10.8	15.0	78
	歩行中	970	963	976	958	959	881	893	873	814	843	848	5	0.6	54.9	87
その他	5	7	2	2	3	4	5	6	7	7	5	5	-2	-28.6	0.3	100
計		1,698	1,756	1,735	1,726	1,738	1,684	1,657	1,635	1,520	1,538	1,544	6	0.4	100.0	91

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

ウ 自動車乗車中

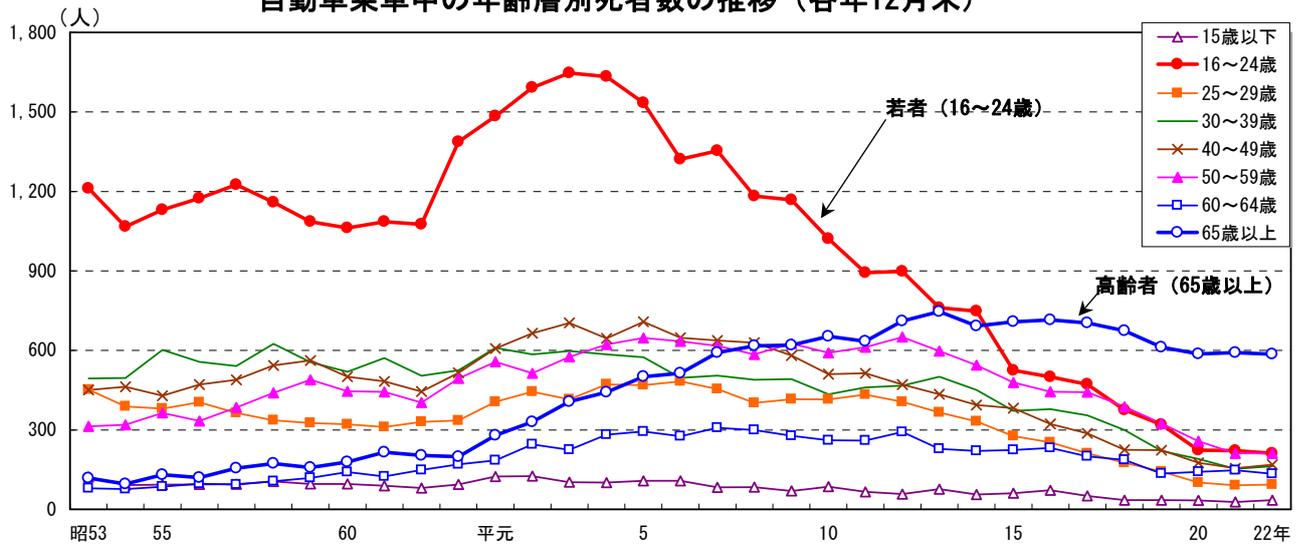
◎ 高齢者が3割以上を占める

自動車乗車中の死者数を年齢層別にみると、高齢者が3割以上（構成率36.6%）を占め最も多く、次いで若者（同13.2%）、50歳代（同13.2%）の順に多い。

前年と比較すると、若者、60～64歳及び高齢者の年齢層で減少している。

若者の自動車乗車中の死者数は、昭和63年以降激増したが、平成3年（1,647人）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少しており、10年間で死者数が4分の1以下（平成12年の0.23倍）となるなど大幅な減少を示している。一方、高齢者の死者数は、運転免許保有者数の増加に伴って、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成13年（746人）をピークにその後は漸減傾向で推移しているが、他の年齢層の減少率が大きいことから、15年には若者を上回り自動車乗車中死者の最多の年齢層となっている。

自動車乗車中の年齢層別死者数の推移（各年12月末）



○ 自動車乗車中の年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	58	76	56	61	72	51	35	35	34	28	35	7	25.0	2.2	60
16~19歳	299	245	268	181	190	159	138	116	86	89	75	-14	-15.7	4.7	25
20~24歳	599	516	480	344	310	313	237	204	137	133	136	3	2.3	8.5	23
16~24歳	898	761	748	525	500	472	375	320	223	222	211	-11	-5.0	13.2	23
25~29歳	406	366	332	277	253	211	176	143	101	91	93	2	2.2	5.8	23
30~39歳	467	501	451	372	379	355	300	221	190	153	163	10	6.5	10.2	35
40~49歳	471	435	394	382	323	287	225	223	176	155	169	14	9.0	10.5	36
50~59歳	650	598	544	479	444	442	387	324	257	211	211	0	0.0	13.2	32
60~64歳	292	228	221	224	232	200	187	135	142	148	134	-14	-9.5	8.4	46
65~74歳	465	476	424	428	396	364	348	292	280	270	255	-15	-5.6	15.9	55
75歳以上	246	270	268	280	319	340	326	320	307	322	331	9	2.8	20.7	135
65歳以上	711	746	692	708	715	704	674	612	587	592	586	-6	-1.0	36.6	82
合計	3,953	3,711	3,438	3,028	2,918	2,722	2,359	2,013	1,710	1,600	1,602	2	0.1	100.0	41
若者構成率	22.7	20.5	21.8	17.3	17.1	17.3	15.9	15.9	13.0	13.9	13.2	-	-	-	58
高齢者構成率 (再掲)	18.0	20.1	20.1	23.4	24.5	25.9	28.6	30.4	34.3	37.0	36.6	-	-	-	203
20~29歳	1,005	882	812	621	563	524	413	347	238	224	229	5	2.2	14.3	23
70歳以上	473	491	491	479	519	522	498	476	456	469	457	-12	-2.6	28.5	97

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(4) 昼夜別死者の状況と特徴

◎ 夜間の死者が増加に

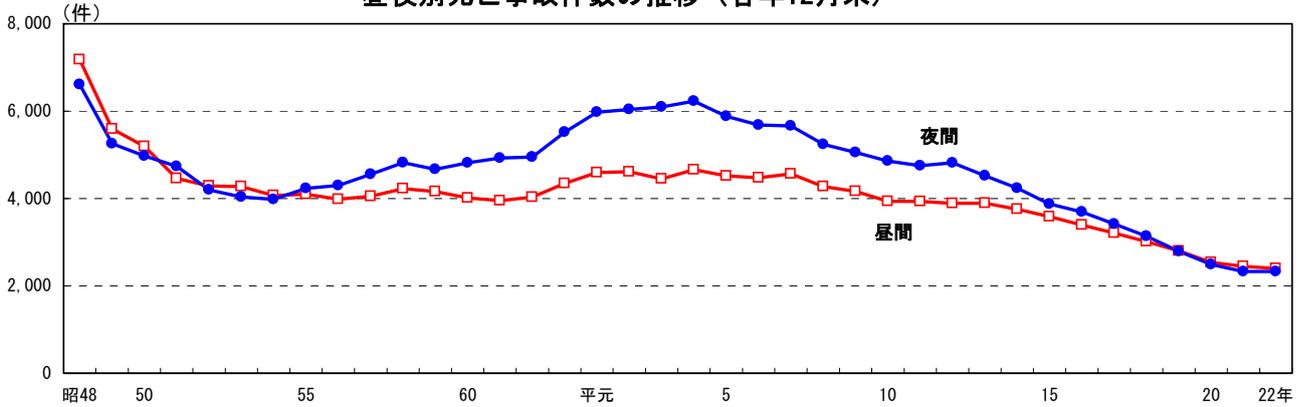
事故件数を昼夜別にみると、交通事故全体に占める夜間の割合は約4分の1であるのに対して、死亡事故では半数近く（構成率49.3%）を占めており、死亡事故率（交通事故全体に占める死亡事故の割合）は昼間の3倍近い値となっている。

死亡事故件数を前年と比較すると、昼間が減少し、夜間は平成13年以降減少していたが、22年は増加となった。

夜間の死亡事故は、昭和55年に昼間を上回り、その後激増したが、平成4年（6,232件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少しており、10年間で、夜間が平成12年の0.48倍、昼間が同0.62倍と昼間に比べ夜間の減少率が大きいため、19年以降連続して昼間を下回っている。

また、昼夜別・主な態様別に10年間の推移を比較すると、特に車両単独（昼：平成12年の0.72倍、夜：同0.33倍）及び飲酒運転（昼：同0.45倍、夜：同0.19倍）は、夜間の減少が昼間に比べて顕著であり、これら態様の減少が夜間の死亡事故の減少の一因と考えられる。

昼夜別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 昼夜別死亡事故発生状況の推移（各年12月末）

昼夜別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
件数	昼	3,889	3,892	3,757	3,583	3,391	3,206	3,013	2,800	2,538	2,448	2,397	-51	-2.1	50.7	62
	夜	4,818	4,522	4,236	3,873	3,693	3,419	3,134	2,787	2,487	2,325	2,329	4	0.2	49.3	48
合計		8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	-47	-1.0	100.0	54
夜の構成率		55.3	53.7	53.0	51.9	52.1	51.6	51.0	49.9	49.5	48.7	49.3	-	-	-	89
死者数	昼	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	2,540	2,460	-80	-3.1	50.6	61
	夜	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	2,374	2,403	29	1.2	49.4	48
合計		9,066	8,747	8,326	7,702	7,358	6,871	6,352	5,744	5,155	4,914	4,863	-51	-1.0	100.0	54
夜の構成率		55.5	54.0	53.1	51.9	52.1	52.0	51.2	50.0	49.5	48.3	49.4	-	-	-	89

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。
 2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

○ 昼夜別・主な態様別死亡事故件数の推移（各年12月末）

昼夜別・態様別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
昼	最高速度違反	3,889	3,892	3,757	3,583	3,391	3,206	3,013	2,800	2,538	2,448	2,397	-51	-2.1	100.0	62
	構成率	437	383	329	320	227	205	164	143	125	121	108	-13	-10.7	4.5	25
	車両単独	758	818	734	756	678	633	635	582	518	544	548	4	0.7	22.9	72
	構成率	19.5	21.0	19.5	21.1	20.0	19.7	21.1	20.8	20.4	22.2	22.9	-	-	-	117
	飲酒運転	186	183	181	164	122	131	137	101	76	70	83	13	18.6	3.5	45
	構成率	4.8	4.7	4.8	4.6	3.6	4.1	4.5	3.6	3.0	2.9	3.5	-	-	-	72
	人対車両	745	784	752	690	664	635	623	602	486	508	508	0	0.0	21.2	68
	構成率	19.2	20.1	20.0	19.3	19.6	19.8	20.7	21.5	19.1	20.8	21.2	-	-	-	111
	夜	4,818	4,522	4,236	3,873	3,693	3,419	3,134	2,787	2,487	2,325	2,329	4	0.2	100.0	48
	最高速度違反	980	784	753	563	484	453	356	306	231	207	184	-23	-11.1	7.9	19
構成率	20.3	17.3	17.8	14.5	13.1	13.2	11.4	11.0	9.3	8.9	7.9	-	-	-	39	
車両単独	1,334	1,155	1,098	888	815	815	675	579	467	442	444	2	0.5	19.1	33	
構成率	27.7	25.5	25.9	22.9	22.1	23.8	21.5	20.8	18.8	19.0	19.1	-	-	-	69	
飲酒運転	1,090	1,008	816	616	588	576	474	329	229	222	204	-18	-8.1	8.8	19	
構成率	22.6	22.3	19.3	15.9	15.9	16.8	15.1	11.8	9.2	9.5	8.8	-	-	-	39	
人対車両	1,723	1,599	1,560	1,578	1,521	1,372	1,367	1,282	1,206	1,152	1,158	6	0.5	49.7	67	
構成率	35.8	35.4	36.8	40.7	41.2	40.1	43.6	46.0	48.5	49.5	49.7	-	-	-	139	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。
 2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。
 3 「最高速度違反」及び「飲酒運転」は、原付以上運転者が第1当事者の死亡事故件数である。

◎ 歩行中死者は夜間が昼間の2倍以上

死者数を昼夜別・状態別にみると、歩行中は、昼間に比べて夜間の構成率が2倍以上（昼間：21.7%、夜間：49.1%）高くなっているのに対して、その他の状態は昼間の構成率が高くなっている。

前年と比較すると、昼間は自動車乗車中（前年比-28人、-2.9%）、夜間は自転車乗車中（同-20人、-7.9%）の減少幅が最も大きい。一方、夜間の自動車乗車中（同+30人、+4.7%）の増加幅が最も大きい。

○ 昼夜別・状態別死者数の推移（各年12月末）

年 昼夜別・状態別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数	
	昼															
自動車乗車中	1,755	1,712	1,659	1,563	1,509	1,374	1,255	1,112	1,019	964	936	-28	-2.9	38.0	53	
自動二輪車乗車中	435	416	388	400	379	336	344	336	343	341	317	-24	-7.0	12.9	73	
原付乗車中	464	446	475	391	409	379	348	334	276	239	242	3	1.3	9.8	52	
自転車乗車中	595	608	583	616	515	522	494	459	455	443	426	-17	-3.8	17.3	72	
歩行中	780	826	793	732	703	680	655	628	504	539	533	-6	-1.1	21.7	68	
その他	9	12	8	4	9	7	5	5	5	14	6	-8	-57.1	0.2	67	
計	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	2,540	2,460	-80	-3.1	100.0	61	
夜																
自動車乗車中	2,198	1,999	1,779	1,465	1,409	1,348	1,104	901	691	636	666	30	4.7	27.7	30	
自動二輪車乗車中	360	397	385	325	294	267	250	223	224	186	195	9	4.8	8.1	54	
原付乗車中	316	307	249	237	231	202	177	138	147	120	117	-3	-2.5	4.9	37	
自転車乗車中	389	384	408	357	344	324	318	286	262	252	232	-20	-7.9	9.7	60	
歩行中	1,760	1,630	1,591	1,600	1,547	1,424	1,396	1,315	1,217	1,178	1,181	3	0.3	49.1	67	
その他	5	10	8	12	9	8	6	7	12	2	12	10	500.0	0.5	240	
計	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	2,374	2,403	29	1.2	100.0	48	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。
2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ 昼間の死者は半数以上が高齢者

死者数を昼夜別・年齢層別にみると、昼夜間いずれも高齢者が最も多く（昼：構成率55.9%、夜：同44.7%）を占め、昼間は半数以上となっている。また、高齢者及び子どもは、夜間に比べて昼間の構成率が高いのに対して、その他の年齢層では、夜間の構成率が高くなっている。

○ 昼夜別・年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年 昼夜別・年齢層別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数	
	昼															
15歳以下	152	190	179	166	147	130	108	100	93	79	74	-5	-6.3	3.0	49	
16～19歳	214	204	209	168	134	104	138	109	94	90	75	-15	-16.7	3.0	35	
20～24歳	272	242	246	191	174	184	150	139	125	127	100	-27	-21.3	4.1	37	
16～24歳	486	446	455	359	308	288	288	248	219	217	175	-42	-19.4	7.1	36	
25～29歳	182	185	176	188	155	120	130	92	97	71	72	1	1.4	2.9	40	
30～39歳	266	286	259	264	290	245	203	215	171	159	172	13	8.2	7.0	65	
40～49歳	286	264	283	254	220	192	171	205	182	169	172	3	1.8	7.0	60	
50～59歳	510	480	460	408	378	379	346	301	257	241	235	-6	-2.5	9.6	46	
60～64歳	325	267	278	272	270	230	222	143	178	184	184	0	0.0	7.5	57	
65～74歳	817	850	798	793	737	680	647	586	519	516	481	-35	-6.8	19.6	59	
75歳以上	1,014	1,052	1,018	1,002	1,019	1,034	986	984	886	904	895	-9	-1.0	36.4	88	
65歳以上	1,831	1,902	1,816	1,795	1,756	1,714	1,633	1,570	1,405	1,420	1,376	-44	-3.1	55.9	75	
計	4,038	4,020	3,906	3,706	3,524	3,298	3,101	2,874	2,602	2,540	2,460	-80	-3.1	100.0	61	
夜																
15歳以下	79	80	79	59	74	52	50	33	34	32	37	5	15.6	1.5	47	
16～19歳	454	403	395	315	287	217	225	195	167	137	121	-16	-11.7	5.0	27	
20～24歳	623	553	466	365	336	324	259	227	165	165	173	8	4.8	7.2	28	
16～24歳	1,077	956	861	680	623	541	484	422	332	302	294	-8	-2.6	12.2	27	
25～29歳	420	405	363	309	265	244	176	174	113	113	126	13	11.5	5.2	30	
30～39歳	514	524	492	414	426	398	344	263	254	213	206	-7	-3.3	8.6	40	
40～49歳	518	440	395	383	343	347	301	249	235	213	223	10	4.7	9.3	43	
50～59歳	718	692	606	552	538	508	470	372	311	282	254	-28	-9.9	10.6	35	
60～64歳	367	316	296	285	275	273	250	200	180	187	189	2	1.1	7.9	51	
65～74歳	651	610	611	590	571	560	505	506	460	398	425	27	6.8	17.7	65	
75歳以上	684	704	717	724	719	650	671	651	634	634	649	15	2.4	27.0	95	
65歳以上	1,335	1,314	1,328	1,314	1,290	1,210	1,176	1,157	1,094	1,032	1,074	42	4.1	44.7	80	
計	5,028	4,727	4,420	3,996	3,834	3,573	3,251	2,870	2,553	2,374	2,403	29	1.2	100.0	48	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。
2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ 夜間の高齢者歩行中が最も増加

死者数を昼夜別・年齢層別・状態別にみると、高齢者の昼間は、自動車乗車中が3分の1以上（構成率34.4%）を占め最も多いのに対して、夜間では歩行中が約4分の3（同75.2%）を占めている。

高齢者について前年と比較すると、昼間では、自転車乗用中（前年比-25人、-7.9%）の減少、夜間では、歩行中（同+36人、+4.7%）の増加がそれぞれ最も大きくなっている。

○ 昼夜別・年齢層別・状態別死者数の推移（各年12月末）

年		12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数	
昼	15歳以下	自動車乗車中	33	44	32	42	45	30	19	24	27	22	19	-3	-13.6	25.7	58
		自動二輪車乗車中	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	-1	-100.0	0.0	0
		原付乗車中	2	4	3	3	1	2	3	4	2	2	1	-1	-50.0	1.4	50
		自転車乗用中	44	46	45	45	43	42	35	28	22	24	16	-8	-33.3	21.6	36
		歩行中	71	95	99	76	57	56	50	44	41	30	38	8	26.7	51.4	54
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	0.0	-
	計	152	190	179	166	147	130	108	100	93	79	74	74	-5	-6.3	100.0	49
	16歳 24歳	自動車乗車中	241	216	235	155	160	146	118	101	79	73	64	-9	-12.3	36.6	27
		自動二輪車乗車中	143	125	105	117	74	84	99	82	83	87	57	-30	-34.5	32.6	40
		原付乗車中	75	65	79	63	55	39	37	38	37	40	29	-11	-27.5	16.6	39
		自転車乗用中	21	28	24	21	14	14	29	19	16	14	19	5	35.7	10.9	90
		歩行中	6	11	12	3	5	5	5	8	4	3	6	3	100.0	3.4	100
		その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	-
	計	486	446	455	359	308	288	288	248	219	217	175	175	-42	-19.4	100.0	36
	25歳 64歳	自動車乗車中	930	879	835	792	725	640	571	494	434	377	379	2	0.5	45.4	41
		自動二輪車乗車中	226	228	218	226	248	200	199	209	222	214	221	7	3.3	26.5	98
		原付乗車中	137	122	143	116	121	102	100	94	61	66	66	0	0.0	7.9	48
		自転車乗用中	146	107	119	115	100	106	87	74	86	87	98	11	12.6	11.7	67
		歩行中	123	141	138	135	114	113	114	84	80	76	69	-7	-9.2	8.3	56
		その他	7	5	3	2	5	5	1	1	2	4	2	-2	-50.0	0.2	29
	計	1,569	1,482	1,456	1,386	1,313	1,166	1,072	956	885	824	835	11	1.3	100.0	53	
	65歳以上	自動車乗車中	551	573	557	574	579	558	547	493	479	492	474	-18	-3.7	34.4	86
		自動二輪車乗車中	64	62	65	57	56	52	45	45	38	39	39	0	0.0	2.8	61
		原付乗車中	250	255	250	209	232	236	208	198	176	131	146	15	11.5	10.6	58
自転車乗用中		384	427	395	435	358	360	343	338	331	318	293	-25	-7.9	21.3	76	
歩行中		580	579	544	518	527	506	486	492	379	430	420	-10	-2.3	30.5	72	
その他		2	6	5	2	4	2	4	4	2	10	4	-6	-60.0	0.3	200	
計	1,831	1,902	1,816	1,795	1,756	1,714	1,633	1,570	1,405	1,420	1,376	-44	-3.1	100.0	75		
夜	15歳以下	自動車乗車中	25	32	24	19	27	21	16	11	7	6	16	10	166.7	43.2	64
		自動二輪車乗車中	5	5	4	6	3	0	3	2	1	0	2	2	-	5.4	40
		原付乗車中	17	17	10	9	8	9	6	2	4	3	1	-2	-66.7	2.7	6
		自転車乗用中	8	14	16	5	15	4	10	5	8	12	9	-3	-25.0	24.3	113
		歩行中	24	12	25	20	20	18	14	13	14	11	9	-2	-18.2	24.3	38
		その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	-	0.0	-
	計	79	80	79	59	74	52	50	33	34	32	37	5	15.6	100.0	47	
	16歳 24歳	自動車乗車中	657	545	513	370	340	326	257	219	144	149	147	-2	-1.3	50.0	22
		自動二輪車乗車中	202	209	181	155	140	104	103	107	99	76	79	3	3.9	26.9	39
		原付乗車中	138	126	99	96	85	53	52	44	50	35	27	-8	-22.9	9.2	20
		自転車乗用中	33	28	29	28	19	26	31	23	17	15	22	7	46.7	7.5	67
		歩行中	46	48	38	30	38	32	41	29	21	27	15	-12	-44.4	5.1	33
		その他	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	4	4	-	1.4	400
	計	1,077	956	861	680	623	541	484	422	332	302	294	-8	-2.6	100.0	27	
	25歳 64歳	自動車乗車中	1,356	1,249	1,107	942	906	855	704	552	432	381	391	10	2.6	39.2	29
		自動二輪車乗車中	144	172	183	160	146	157	134	103	117	104	108	4	3.8	10.8	75
		原付乗車中	122	135	106	104	108	101	86	78	71	56	60	4	7.1	6.0	49
		自転車乗用中	199	184	180	150	157	146	145	101	102	98	84	-14	-14.3	8.4	42
		歩行中	715	632	572	581	525	508	470	420	370	368	349	-19	-5.2	35.0	49
		その他	1	5	4	6	5	3	2	4	1	1	6	5	500.0	0.6	600
	計	2,537	2,377	2,152	1,943	1,847	1,770	1,541	1,258	1,093	1,008	998	-10	-1.0	100.0	39	
	65歳以上	自動車乗車中	160	173	135	134	136	146	127	119	108	100	112	12	12.0	10.4	70
		自動二輪車乗車中	9	11	17	4	5	6	10	11	7	6	6	0	0.0	0.6	67
		原付乗車中	39	29	34	28	30	39	33	14	22	26	29	3	11.5	2.7	74
自転車乗用中		149	158	183	174	153	148	132	157	135	127	117	-10	-7.9	10.9	79	
歩行中		975	938	956	969	964	866	871	853	812	772	808	36	4.7	75.2	83	
その他		3	5	3	5	2	5	3	3	10	1	2	1	100.0	0.2	67	
計	1,335	1,314	1,328	1,314	1,290	1,210	1,176	1,157	1,094	1,032	1,074	42	4.1	100.0	80		

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

5 死亡事故の状況と特徴

(1) 第1当事者別の状況と特徴

ア 全般

◎ 自家用普通乗用車及び軽乗用車で全体の半数

死亡事故件数を当事者種別（第1当事者）別にみると、自家用普通乗用車及び軽乗用車で全体の半数（構成率50.0%）を占めている。

前年との比較では、自家用普通乗用車（前年比-78件、-4.8%）が最も減少し、一方、軽乗用車（同+39件、+5.0%）が最も増加している

過去10年間の推移をみると、全般的に減少傾向にあるものの、自家用軽乗用車は10年前に比べ高い数値（平成12年の1.12倍）である。

○ 当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

当事者種別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数		
自家用車等	自家用乗用車	バス	2	3	1	0	2	1	1	0	3	3	1	-2	-66.7	0.0	50	
		マイクロ	14	8	8	9	12	5	8	12	6	5	3	-2	-40.0	0.1	21	
		普通乗用	3,585	3,381	3,244	2,886	2,697	2,481	2,255	1,891	1,678	1,626	1,548	-78	-4.8	32.8	43	
		軽乗用	728	733	739	785	788	832	800	847	785	778	817	39	5.0	17.3	112	
		小計	4,329	4,125	3,992	3,680	3,499	3,319	3,064	2,750	2,472	2,412	2,369	-43	-1.8	50.1	55	
	自家用貨物車	大型貨物	76	75	56	58	34	47	31	38	43	36	38	2	5.6	0.8	50	
		中型貨物	700	724	660	602	566	505	468	74	74	61	82	21	34.4	1.7	51	
		普通貨物								376	301	262	273	11	4.2	5.8		
		軽貨物	978	903	807	814	807	738	674	635	565	550	540	-10	-1.8	11.4	55	
		小計	1,754	1,702	1,523	1,474	1,407	1,290	1,173	1,123	983	909	933	24	2.6	19.7	53	
		トレーラー	8	3	7	7	2	3	5	3	6	1	3	2	200.0	0.1	38	
		小計	6,083	5,827	5,515	5,154	4,906	4,609	4,237	3,873	3,455	3,321	3,302	-19	-0.6	69.9	54	
	自動車事業用等	自動車事業用乗用車	バス	20	21	18	18	22	18	18	23	11	15	22	7	46.7	0.5	110
			マイクロ	0	1	1	5	7	4	8	0	2	3	1	-2	-66.7	0.0	-
			普通乗用	43	57	55	69	45	52	49	33	49	40	45	5	12.5	1.0	105
			軽乗用	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	-	0.0	-
			小計	63	79	74	92	74	74	75	59	63	58	69	11	19.0	1.5	110
自動車事業用貨物車		大型貨物	321	296	316	283	260	270	255	245	234	197	205	8	4.1	4.3	64	
		中型貨物	406	360	335	341	346	317	273	166	133	141	149	8	5.7	3.2	42	
		普通貨物								99	40	28	23	-5	-17.9	0.5		
		軽貨物	32	24	20	30	20	37	31	17	24	27	23	-4	-14.8	0.5	72	
		小計	759	680	671	654	626	624	559	527	431	393	400	7	1.8	8.5	53	
		トレーラー	80	69	66	55	54	62	58	61	37	31	25	-6	-19.4	0.5	31	
	小計	822	759	745	746	700	698	634	586	494	451	469	18	4.0	9.9	57		
	ミニカー	0	1	2	1	1	0	1	1	4	1	1	0	0.0	0.0	-		
特殊車	農耕作業用	15	27	28	25	22	23	22	13	24	17	11	-6	-35.3	0.2	73		
	大型	12	19	13	12	6	9	10	16	3	6	9	3	50.0	0.2	75		
	小型	3	3	1	1	5	2	2	4	6	8	6	-2	-25.0	0.1	200		
	小計	30	49	42	38	33	34	34	33	33	31	26	-5	-16.1	0.6	87		
	小計	6,935	6,636	6,304	5,939	5,640	5,341	4,906	4,493	3,986	3,804	3,798	-6	-0.2	80.4	55		
二輪車	自二輪車	小型二輪	281	290	245	230	242	190	193	183	177	168	152	-16	-9.5	3.2	54	
		軽二輪	175	149	146	140	104	120	117	113	113	102	96	-6	-5.9	2.0	55	
		原付二種	98	103	108	88	87	79	92	84	78	79	84	5	6.3	1.8	86	
		小計	554	542	499	458	433	389	402	380	368	349	332	-17	-4.9	7.0	60	
		原付一種	535	536	521	442	430	380	360	316	300	242	248	6	2.5	5.2	46	
	小計	1,089	1,078	1,020	900	863	769	762	696	668	591	580	-11	-1.9	12.3	53		
	小計	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	4,395	4,378	-17	-0.4	92.6	55		
	自転車	308	329	326	311	265	254	260	214	218	227	200	-27	-11.9	4.2	65		
	その他の車両	1	1	0	1	3	1	2	1	1	2	2	0	0.0	0.0	200		
	歩行者	319	315	286	260	252	221	185	155	127	120	124	4	3.3	2.6	39		
	不明	55	55	57	45	61	39	32	28	25	29	22	-7	-24.1	0.5	40		
	合計	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	-47	-1.0	100.0	54		

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

3 トレーラーは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

イ 原付以上運転者

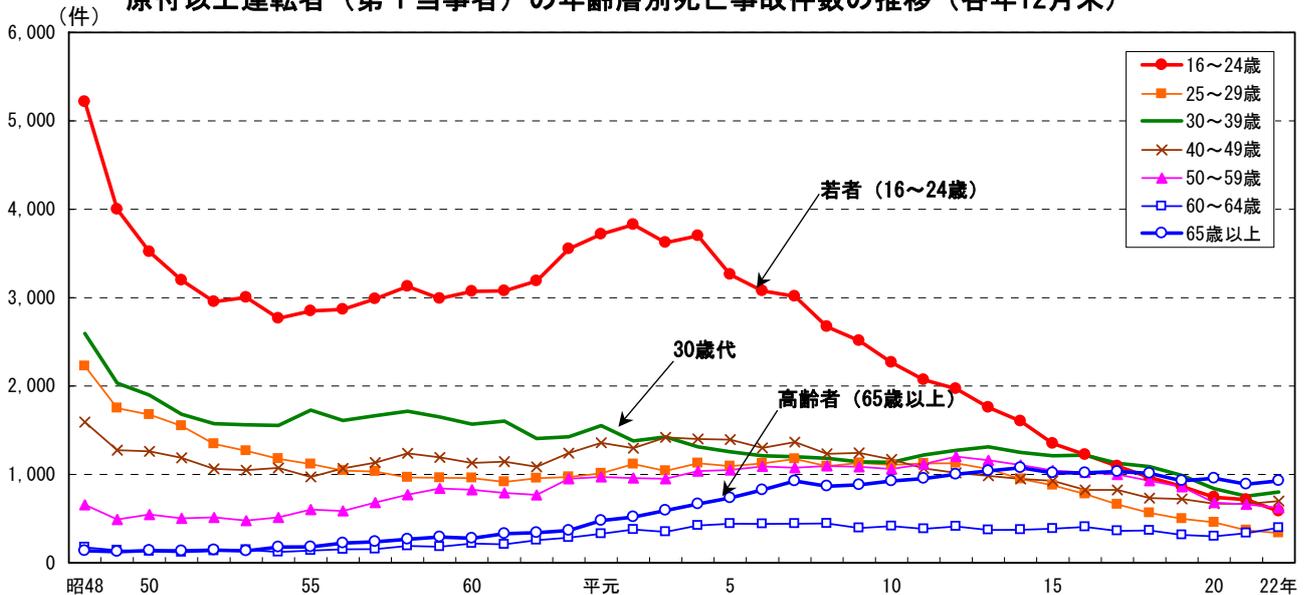
◎ 若者の運転による死亡事故は10年間で3分の1以下

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を年齢層別にみると、高齢者（構成率21.2%）が最も多く、次いで30歳代（同18.3%）、40歳代（同16.0%）の順に多い。

前年と比較すると、若者（前年比-130件、-18.2%）が100件以上の減少幅で最も減少し、一方、30歳代（同+47件、+6.2%）が最も増加した。

若者の運転による死亡事故は、昭和50年代半ばから増加傾向にあったが、平成2年（3,828件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少し、10年間で3分の1以下（平成12年の0.30倍）となり、17年には30歳代を下回った。一方、高齢運転者による死亡事故は、運転免許保有者数が10年間で約1.8倍に増加していることなどを背景に、依然高い水準（同0.93倍）にあり、20年には30歳代を上回り、連続して最大の年齢層となった。中でも75歳以上は、より高い水準（同1.36倍）にある。

原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	20	23	11	14	9	11	6	4	6	3	2	-1	-33.3	0.0	10
16~19歳	618	562	537	463	397	328	281	266	241	220	168	-52	-23.6	3.8	27
20~24歳	1,352	1,197	1,067	889	826	765	685	598	502	495	417	-78	-15.8	9.5	31
16~24歳	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	715	585	-130	-18.2	13.4	30
25~29歳	1,128	1,062	949	879	779	661	566	500	458	368	339	-29	-7.9	7.7	30
30~39歳	1,272	1,313	1,250	1,212	1,218	1,127	1,089	991	839	755	802	47	6.2	18.3	63
40~49歳	1,017	985	950	930	825	825	734	723	670	667	701	34	5.1	16.0	69
50~59歳	1,203	1,161	1,108	1,047	1,024	999	929	861	682	662	624	-38	-5.7	14.3	52
60~64歳	411	371	375	388	406	361	366	316	299	335	397	62	18.5	9.1	97
65~69歳	361	356	350	366	329	275	315	246	283	250	247	-3	-1.2	5.6	68
70~74歳	319	329	331	273	287	308	283	262	268	224	241	17	7.6	5.5	76
75歳以上	323	355	396	378	403	450	414	422	406	416	440	24	5.8	10.1	136
65歳以上	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	890	928	38	4.3	21.2	93
合計	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	4,395	4,378	-17	-0.4	100.0	55
高齢者構成率 (再掲)	12.5	13.5	14.7	14.9	15.7	16.9	17.9	17.9	20.6	20.3	21.2	-	-	-	170
20~29歳	2,480	2,259	2,016	1,768	1,605	1,426	1,251	1,098	960	863	756	-107	-12.4	17.3	30
70歳以上	642	684	727	651	690	758	697	684	674	640	681	41	6.4	15.6	106

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

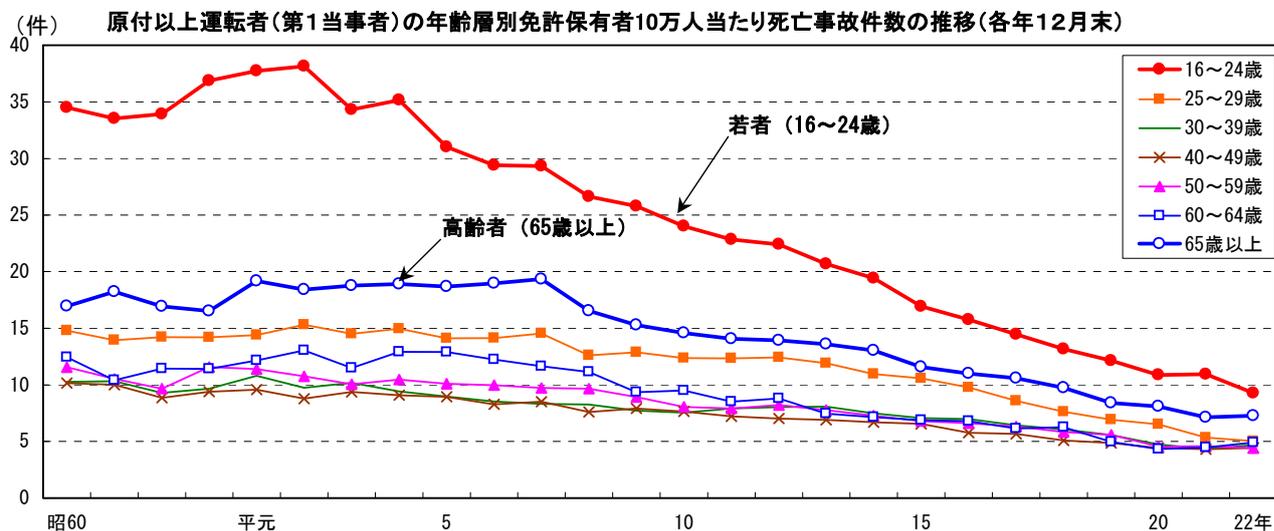
2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ 免許保有者10万人当たりでは若者が最も減少

原付以上運転者（第1当事者）による免許保有者10万人当たり死亡事故件数を年齢層別にみると、若者（9.27件）が最も多く、次いで高齢者（7.28件）、60～64歳（4.91件）の順に多い。

前年と比較すると、若者（前年比-1.67、-15.2%）の減少幅が最も大きく、一方、60～64歳（+0.44、+9.9%）の増加幅が最も大きい。

過去10年間の推移では、全体的に減少傾向にあり、最多の年齢層である若者は平成12年の0.41倍と約4割にまで減少し、他の年齢層との差は縮小してきた。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	指数
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
15歳以下	16～19歳	35.00	32.53	32.09	29.40	26.73	23.26	21.01	20.84	20.39	19.50	15.28	-4.23	-21.7	44
	20～24歳	19.24	17.65	16.20	13.87	13.16	12.45	11.40	10.22	8.89	9.16	8.01	-1.15	-12.5	42
16～24歳		22.41	20.67	19.42	16.93	15.76	14.47	13.15	12.13	10.88	10.94	9.27	-1.67	-15.2	41
25～29歳		12.43	11.91	10.96	10.56	9.76	8.59	7.62	6.93	6.51	5.34	5.03	-0.31	-5.8	41
30～39歳		8.04	8.08	7.48	7.07	6.98	6.42	6.05	5.55	4.74	4.32	4.68	0.36	8.3	58
40～49歳		7.02	6.90	6.70	6.55	5.76	5.67	5.10	4.87	4.42	4.31	4.43	0.12	2.7	63
50～59歳		8.21	7.76	7.28	6.80	6.61	6.32	5.83	5.58	4.55	4.57	4.41	-0.16	-3.6	54
60～64歳		8.80	7.45	7.15	6.88	6.79	6.13	6.27	4.96	4.32	4.47	4.91	0.44	9.9	56
65歳以上	65～69歳	10.19	9.62	8.96	9.02	7.84	6.30	6.75	5.01	5.34	4.46	4.48	0.03	0.6	44
	70～74歳	13.83	13.63	12.73	9.79	9.84	10.15	8.99	7.87	7.68	6.19	6.44	0.26	4.1	47
	75歳以上	23.90	23.04	22.61	19.43	18.67	19.02	16.06	14.91	13.35	12.84	12.55	-0.29	-2.2	53
合計		13.93	13.59	13.04	11.57	10.99	10.58	9.74	8.40	8.09	7.14	7.28	0.14	2.0	52
(再掲)		10.74	10.21	9.57	8.83	8.31	7.75	7.14	6.49	5.79	5.44	5.40	-0.03	-0.6	50
20～29歳		15.40	14.39	13.22	12.00	11.26	10.30	9.31	8.40	7.57	7.02	6.33	-0.69	-9.8	41
70歳以上		17.55	17.29	16.70	13.75	13.60	14.04	12.17	11.11	10.32	9.33	9.40	0.07	0.7	54

- 注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。
 2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。
 3 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末現在の値である。

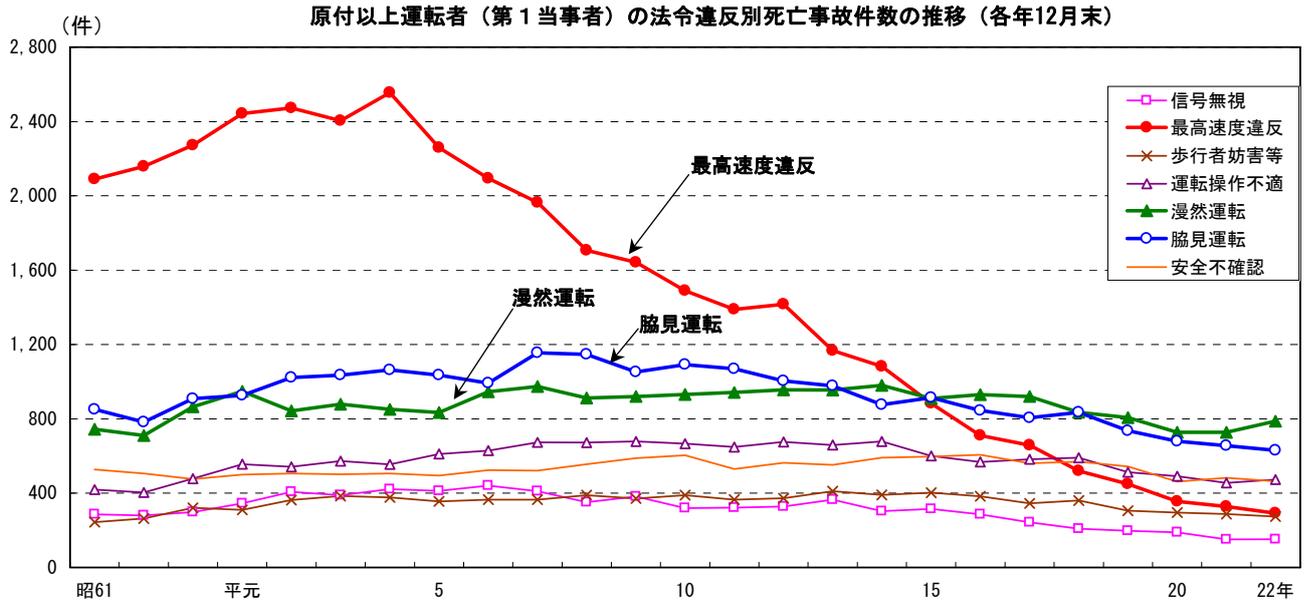
(2) 法令違反別の状況と特徴

ア 全般

◎ 最高速度違反による死亡事故は10年間で約5分の1

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、漫然運転（構成率18.0%）が最も多く、次いで脇見運転（同14.4%）、運転操作不適（同10.8%）の順に多い。

最高速度違反による死亡事故は、平成4年（2,555件）をピークに減少に転じ、その後は、ほぼ一貫して減少して15年には脇見運転及び漫然運転を下回るに至り、10年間で約5分の1（平成12年の0.21倍）にまで減少した。近年では、脇見運転、漫然運転等の安全運転義務違反による死亡事故が構成率で上位を占めている。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年				
信号無視	329	366	303	315	287	243	209	198	189	151	152	1	0.7	3.5	46
通行区分	378	391	338	342	334	344	266	274	231	196	191	-5	-2.6	4.4	51
最高速度	1,417	1,167	1,082	883	711	658	520	449	356	328	292	-36	-11.0	6.7	21
優先通行妨害	252	241	265	211	219	200	172	166	157	122	136	14	11.5	3.1	54
歩行者妨害等	373	411	391	403	383	345	361	306	296	288	274	-14	-4.9	6.3	73
一時不停止	339	356	317	284	264	250	233	217	194	156	152	-4	-2.6	3.5	45
酒酔い運転	340	279	215	165	144	135	115	82	54	57	35	-22	-38.6	0.8	10
過労運転	81	68	99	69	59	43	38	29	21	12	18	6	50.0	0.4	22
安全運転義務															
運転操作不適	676	659	679	600	568	583	591	513	491	456	473	17	3.7	10.8	70
漫然運転	956	955	980	910	930	920	835	807	727	728	787	59	8.1	18.0	82
脇見運転	1,004	978	876	915	845	805	835	736	680	656	631	-25	-3.8	14.4	63
動静不注視	223	222	187	207	209	183	193	167	147	136	112	-24	-17.6	2.6	50
安全不確認	563	553	591	597	606	561	569	544	463	483	464	-19	-3.9	10.6	82
安全速度	276	298	271	267	281	238	217	147	150	151	146	-5	-3.3	3.3	53
その他	52	68	44	66	74	47	37	43	27	37	42	5	13.5	1.0	81
その他の違反	733	661	629	545	547	520	455	478	440	395	445	50	12.7	10.2	61
違反不明	32	41	57	60	42	35	22	33	31	43	28	-15	-34.9	0.6	88
合計	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	4,395	4,378	-17	-0.4	100.0	55
最高速度構成率	17.7	15.1	14.8	12.9	10.9	10.8	9.2	8.7	7.6	7.5	6.7	-	-	-	38

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別・年齢層別死亡事故件数（平成22年中）

年齢層別 法令違反別	15歳	16~			25~	30~	40~	50~	60~	65歳			合計	構成率	70歳	
	以下	16~19歳	20~24歳	24歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	65~74歳	75歳以上	以上			以上	
信号無視 (増減数)	0 0	19 7	20 -2	39 5	14 -6	23 -1	17 2	14 -3	18 7	6 -8	21 5	27 -3	152 1	3.5	24 1	
通行区分 (増減数)	1 1	7 -5	18 -10	25 -15	5 -7	34 18	19 -1	35 8	17 -2	31 2	24 -9	55 -7	191 -5	4.4	43 -5	
最高速度 (増減数)	1 1	22 -20	64 -14	86 -34	48 18	63 -15	47 -3	33 2	4 -6	7 0	3 1	10 1	292 -36	6.7	5 0	
横断・転回等 (増減数)	0 0	0 -2	1 -3	1 -5	3 2	3 -1	3 -4	1 -2	5 0	3 3	3 -1	6 2	22 -8	0.5	3 -1	
追越し (増減数)	0 0	3 1	3 1	6 2	5 4	6 2	6 2	3 0	3 1	3 3	1 -3	4 0	33 11	0.8	3 -1	
踏切不停止 (増減数)	0 0	0 -1	0 0	0 -1	1 0	0 -3	1 1	2 1	2 2	1 -3	1 0	2 -3	8 -3	0.2	1 -3	
右折違反 (増減数)	0 0	1 0	2 2	3 2	0 0	3 1	0 -1	2 0	0 -1	3 0	3 -1	6 -1	14 0	0.3	6 1	
左折違反 (増減数)	0 0	0 -1	0 -1	0 -2	0 -1	1 -3	2 0	0 -1	3 1	1 0	1 1	2 1	8 -5	0.2	2 1	
優先通行妨害 (増減数)	0 0	6 2	14 2	20 4	2 -6	16 1	15 7	17 -3	8 -6	35 16	23 1	58 17	136 14	3.1	41 9	
交差点安全進行 (増減数)	0 0	2 -3	16 -7	18 -10	16 -5	48 11	57 20	37 9	19 1	29 2	19 0	48 2	243 28	5.6	34 8	
歩行者妨害等 (増減数)	0 0	6 -1	20 -1	26 -2	23 -9	55 -7	48 -3	46 0	28 6	28 3	20 -2	48 1	274 -14	6.3	33 4	
徐行 (増減数)	0 0	1 1	2 -1	3 0	1 -2	6 3	5 -2	5 0	4 3	4 0	4 2	8 2	32 4	0.7	7 3	
一時不停止 (増減数)	0 -2	13 5	6 -6	19 -1	4 -2	16 1	13 1	14 -1	19 11	22 -10	45 -1	67 -11	152 -4	3.5	60 -4	
酒酔い運転 (増減数)	0 0	1 0	3 1	4 1	4 -2	13 1	8 -8	3 -7	2 -5	1 -1	0 -1	1 -2	35 -22	0.8	1 0	
過労運転 (増減数)	0 0	1 -1	1 0	2 -1	3 1	1 -1	3 1	4 3	1 -1	3 3	1 1	4 4	18 6	0.4	1 1	
安全義務	運転操作不適 (増減数)	0 -1	36 5	47 -7	83 -2	22 -6	63 5	62 19	59 -6	33 -2	65 -1	86 11	151 10	473 17	10.8	120 2
	漫然運転 (増減数)	0 0	17 -9	63 -13	80 -22	61 8	135 12	144 13	130 1	71 14	89 15	77 18	166 33	787 59	18.0	112 20
	脇見運転 (増減数)	0 0	21 -1	60 -17	81 -18	53 -11	145 21	85 -30	87 -33	70 24	66 19	44 3	110 22	631 -25	14.4	80 13
	動静不注視 (増減数)	0 0	0 -6	12 -1	12 -7	9 -12	34 10	23 0	13 -7	4 -7	11 -5	6 4	17 -1	112 -24	2.6	12 6
	安全不確認 (増減数)	0 0	5 -12	37 -2	42 -14	41 10	80 -12	89 15	68 -11	53 10	52 -11	39 -6	91 -17	464 -19	10.6	60 -9
	安全速度 (増減数)	0 0	3 -8	16 1	19 -7	11 -10	29 -1	32 5	22 5	15 7	13 -6	5 2	18 -4	146 -5	3.3	11 -2
	その他 (増減数)	0 0	2 -1	2 -3	4 -4	5 5	5 1	3 -4	9 3	8 6	4 -2	4 0	8 -2	42 5	1.0	7 0
	その他の違反 (増減数)	0 0	1 -1	8 6	9 5	8 4	20 12	17 7	12 -2	8 3	5 -6	6 0	11 -6	85 23	1.9	7 -4
違反不明 (増減数)	0 0	1 -1	2 -3	3 -4	0 -2	3 -8	2 -3	8 6	2 -4	6 1	4 -1	10 0	28 -15	0.6	8 1	
合計	2	168	417	585	339	802	701	624	397	488	440	928	4,378	100.0	681	
構成率	0.0	3.8	9.5	13.4	7.7	18.3	16.0	14.3	9.1	11.1	10.1	21.2	100.0		15.6	
増減数	-1	-52	-78	-130	-29	47	34	-38	62	14	24	38	-17		41	
増減率	-33.3	-23.6	-15.8	-18.2	-7.9	6.2	5.1	-5.7	18.5	3.0	5.8	4.3	-0.4		6.4	

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

2 70歳以上は、再掲である。

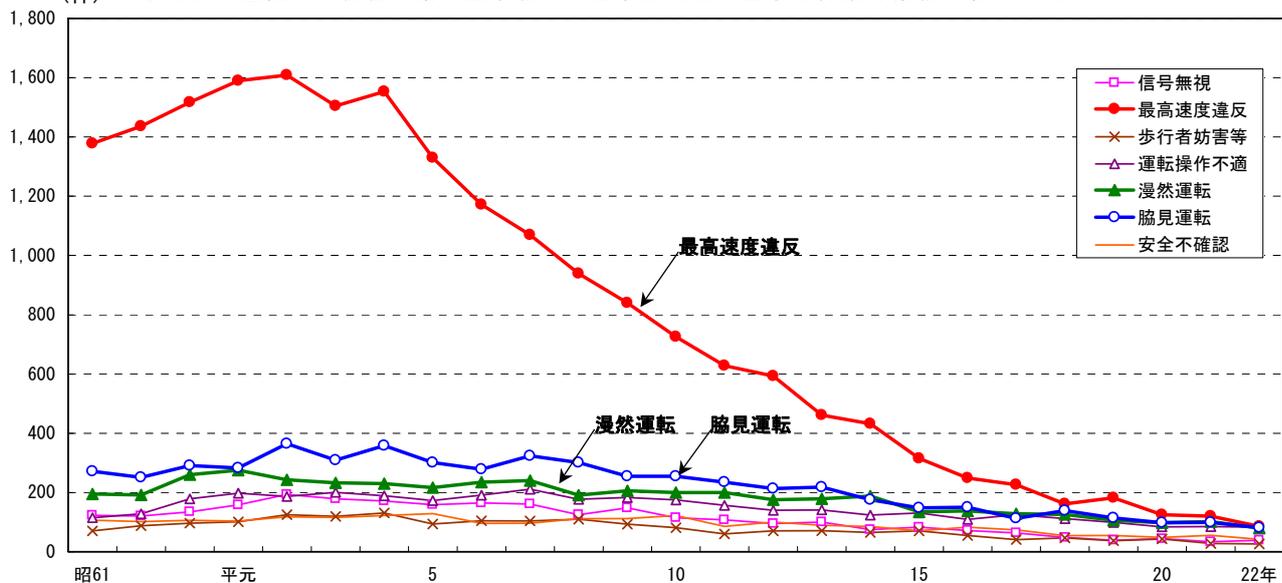
イ 若者

◎ 最高速度違反による死亡事故は10年前の6分の1以下

原付以上運転中の若者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、最高速度違反（構成率14.7%）が最も多く、次いで運転操作不適（同14.2%）、脇見運転（同13.8%）の順に多い。

最高速度違反の構成率は、全年齢層では6.7%であるのに対して、若者の運転による死亡事故ではその約2.2倍の14.7%と高い割合であるが、件数で見ると、平成2年（1,609件）をピークに激減しており、10年間で6分の1以下にまで減少（平成12年の0.15倍）した。

(件) 原付以上運転中の若者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転中の若者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数		
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年						
16歳	信号無視	95	100	75	83	72	64	48	39	44	34	39	5	14.7	6.7	41	
	通行区分	85	102	72	76	63	70	49	45	34	40	25	-15	-37.5	4.3	29	
	最高速度	593	461	432	315	249	226	162	182	125	120	86	-34	-28.3	14.7	15	
	24歳	優先通行妨害	45	43	40	32	33	34	15	23	24	16	20	4	25.0	3.4	44
		歩行者妨害等	70	71	65	70	55	41	47	37	43	28	26	-2	-7.1	4.4	37
		一時不停止	55	48	60	36	48	29	33	23	24	20	19	-1	-5.0	3.2	35
		酒酔い運転	77	48	36	27	20	13	15	15	7	3	4	1	33.3	0.7	5
		過労運転	18	16	26	16	17	10	9	2	4	3	2	-1	-33.3	0.3	11
		安全運転義務	140	141	124	131	109	125	112	99	84	85	83	-2	-2.4	14.2	59
	安全運転義務	漫然運転	176	179	188	135	138	128	126	106	98	102	80	-22	-21.6	13.7	45
脇見運転		213	218	176	148	150	113	139	114	98	99	81	-18	-18.2	13.8	38	
動静不注視		58	37	30	35	27	26	31	17	15	19	12	-7	-36.8	2.1	21	
安全不確認		100	89	85	71	83	74	54	55	48	56	42	-14	-25.0	7.2	42	
安全速度		85	68	58	75	73	53	51	30	35	26	19	-7	-26.9	3.2	22	
その他		8	9	10	6	13	5	9	8	3	8	4	-4	-50.0	0.7	50	
その他の違反		148	126	118	88	68	76	65	65	56	49	40	-9	-18.4	6.8	27	
違反不明	4	3	9	8	5	6	1	4	1	7	3	-4	-57.1	0.5	75		
合計	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	715	585	-130	-18.2	100.0	30		
最高速度構成率	30.1	26.2	26.9	23.3	20.4	20.7	16.8	21.1	16.8	16.8	14.7	-	-	-	49		

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

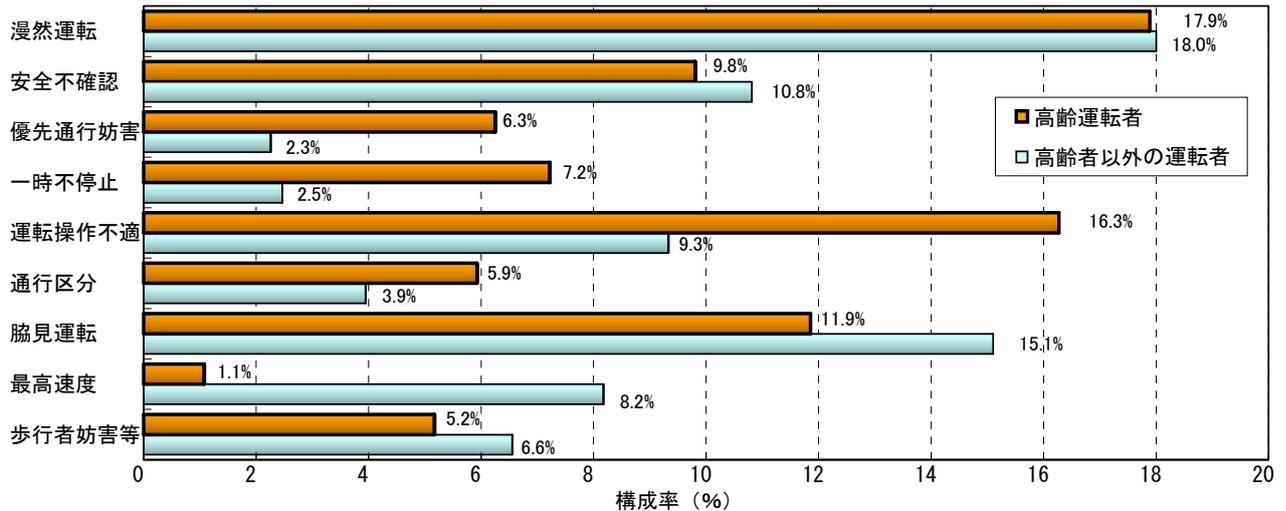
ウ 高齢者

◎ 高齢運転者は優先通行妨害、一時不停止、運転操作不適の死亡事故が高い割合

原付以上運転中の高齢者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、漫然運転（構成率17.9%）が最も多く、次いで運転操作不適（同16.3%）、脇見運転（同11.9%）の順に多い。

高齢運転者の主な法令違反の構成率を高齢者以外の運転者と比較すると、高齢者以外の運転者では、最高速度違反による死亡事故が8.2%であるのに対して、高齢運転者では1.1%と低く、一方、優先通行妨害、一時不停止が2倍以上、運転操作不適が2倍近く、高齢運転者の方が高くなっている。

原付以上運転者（第1当事者）の主な法令違反別死亡事故件数（構成率）（平成22年中）



○ 原付以上運転中の高齢者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年					
65歳以上	信号無視	47	40	52	35	48	34	38	40	44	30	27	-3	-10.0	2.9	57
	通行区分	69	62	76	79	85	77	61	65	74	62	55	-7	-11.3	5.9	80
	最高速度	26	26	14	17	15	19	12	15	8	9	10	1	11.1	1.1	38
	優先通行妨害	60	68	77	58	62	51	53	52	46	41	58	17	41.5	6.3	97
	歩行者妨害等	36	37	49	42	40	46	52	39	42	47	48	1	2.1	5.2	133
	一時不停止	123	157	129	104	104	110	102	102	89	78	67	-11	-14.1	7.2	54
安全運転義務	酒酔い運転	27	18	8	11	18	10	18	7	8	3	1	-2	-66.7	0.1	4
	過労運転	18	12	17	11	8	6	8	5	6	0	4	4	-	0.4	22
	運転操作不適	155	147	173	148	126	149	173	137	149	141	151	10	7.1	16.3	97
	漫然運転	120	138	140	139	148	161	154	143	148	133	166	33	24.8	17.9	138
	脇見運転	105	93	80	129	116	108	98	106	101	88	110	22	25.0	11.9	105
	動静不注視	22	24	18	25	23	16	31	24	29	18	17	-1	-5.6	1.8	77
	安全不確認	76	76	114	80	97	105	90	77	84	108	91	-17	-15.7	9.8	120
	安全速度	20	25	24	24	13	30	25	16	20	22	18	-4	-18.2	1.9	90
	その他	4	15	11	20	8	10	8	14	13	10	8	-2	-20.0	0.9	200
	その他の違反	91	94	81	80	99	93	80	79	82	90	87	-3	-3.3	9.4	96
違反不明	4	8	14	15	9	8	9	9	14	10	10	0	0.0	1.1	250	
合計	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	890	928	38	4.3	100.0	93	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

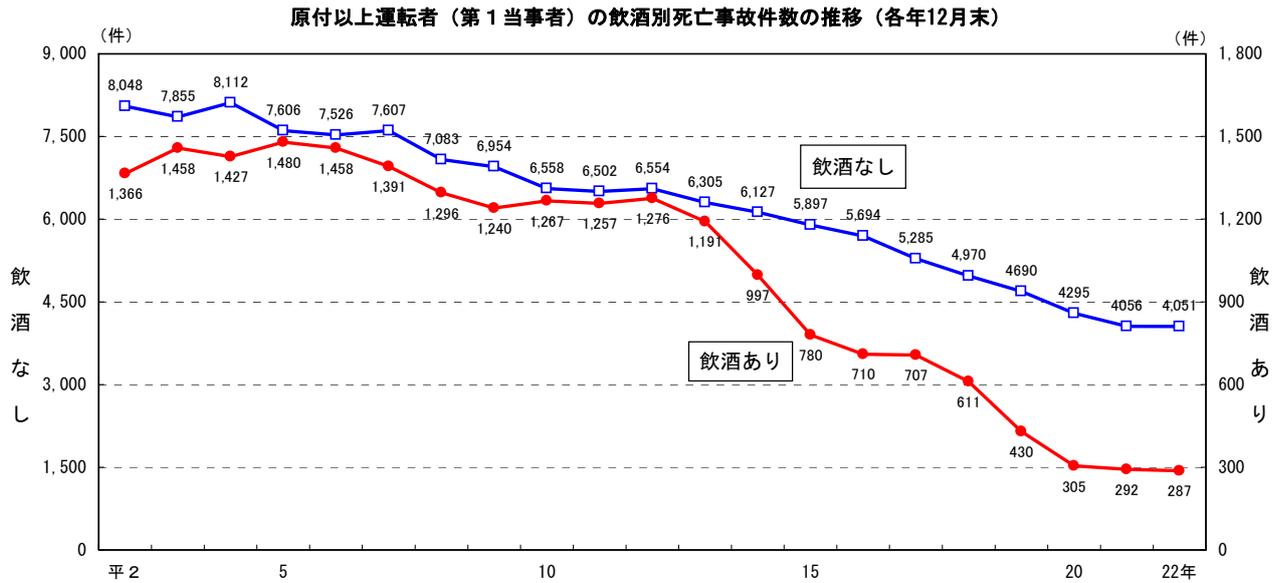
注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(3) 飲酒別の状況と特徴

◎ 飲酒運転による死亡事故は10年前の4分の1以下

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転による死亡事故は287件（構成率6.6%）で、前年と比べて減少（前年比-5件、-1.7%）した。

平成14年6月に施行された改正道路交通法により罰則等が強化されたことで、飲酒運転による死亡事故は、14年及び15年は2年連続で激減したが、16年、17年はそれぞれ70件、3件の減少にとどまり、減少傾向が小幅となっていた。しかし、18年9月以降の取締りの強化及び飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり並びに19年9月の飲酒運転の厳罰化、21年6月の悪質・危険運転者に対する行政処分の強化等により18年以降は再び大幅な減少となり、10年前の4分の1以下（平成12年の0.22倍）となっている。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒別死亡事故件数の推移（各年12月末）

飲酒別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
飲酒酔い		359	298	238	173	155	146	129	82	54	57	35	-22	-38.6	0.8	10
酒酒気帯び(0.25以上)		513	445	383	310	308	301	275	229	167	171	168	-3	-1.8	3.8	33
あり酒気帯び(0.25未満)		—	—	50	68	56	77	54	40	30	19	22	3	15.8	0.5	—
り基準以下		238	249	161	85	82	76	82	38	23	23	31	8	34.8	0.7	13
検知不能		166	199	165	144	109	107	71	41	31	22	31	9	40.9	0.7	19
小計		1,276	1,191	997	780	710	707	611	430	305	292	287	-5	-1.7	6.6	22
飲酒あり構成率		15.9	15.4	13.6	11.4	10.9	11.6	10.8	8.3	6.6	6.6	6.6	—	—	—	41
飲酒なし		6,554	6,305	6,127	5,897	5,694	5,285	4,970	4,690	4,295	4,056	4,051	-5	-0.1	92.5	62
調査不能		194	218	200	162	99	118	87	69	54	47	40	-7	-14.9	0.9	21
合計		8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	4,395	4,378	-17	-0.4	100.0	55

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

注3 平成14年の「酒気帯び(0.25未満)」の件数は、6月以降の件数である。

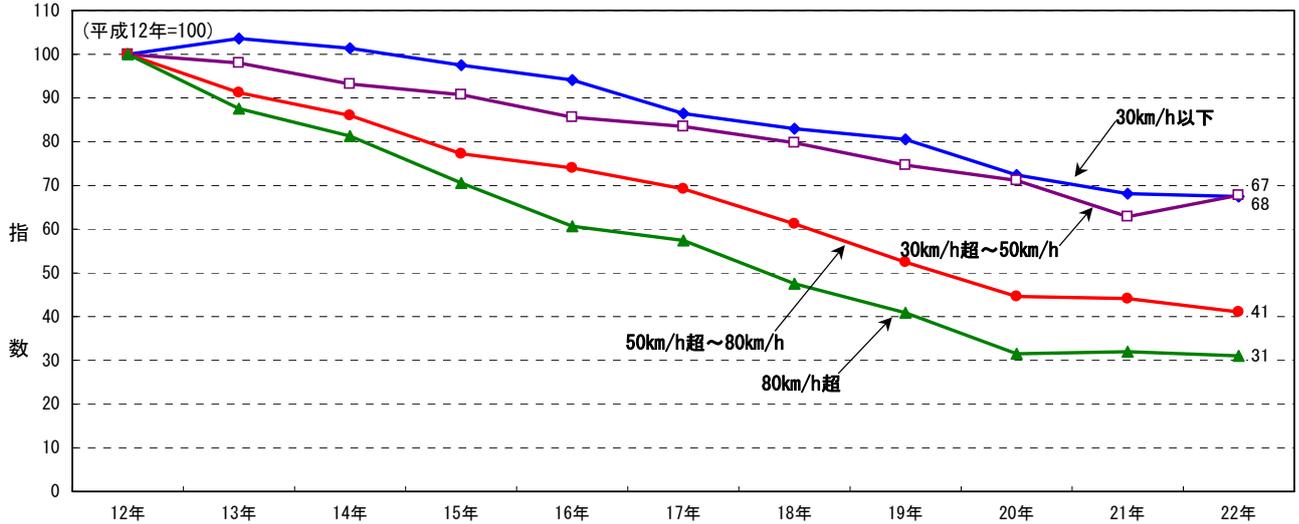
注4 「酒酔い」の件数は、交通事故に最も影響を与えている法令違反別の分類による件数とは一致しない。

(4) 危険認知速度別の状況と特徴

◎ 若者の高速走行時の死亡事故が10年前の約4分の1に減少

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を危険認知速度別に、過去10年間の推移を見ると、速度が高い事故の減少幅が大きく、特に80km/h超の高速走行時の死亡事故は、約3分の1（平成12年の0.31倍）にまで減少している。これらの傾向は、若者に顕著であり、50km/h超～80km/h、80km/h超が10年間でそれぞれ約4分の1（50km/h超～80km/h：同0.25倍、80km/h超：同0.21倍）となっている。

原付以上運転者（第1当事者）の危険認知速度別死亡事故件数の推移（指数）（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別・危険認知速度別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・速度別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年					
15歳以下	30km/h以下	6	7	6	4	6	3	5	1	2	2	0	-2	-100.0	0.0	0
	30km/h超～50km/h	9	9	2	7	1	6	0	1	4	1	2	1	100.0	100.0	22
	50km/h超～80km/h	3	6	2	3	1	2	1	1	0	0	0	0	—	0.0	0
	80km/h超	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	—	0.0	0
	調査不能	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	—	0.0	0
小計	20	23	11	14	9	11	6	4	6	3	2	-1	-33.3	100.0	10	
16～24歳	30km/h以下	229	238	214	197	170	152	137	143	121	106	94	-12	-11.3	16.1	41
	30km/h超～50km/h	518	462	420	388	347	314	293	264	251	232	197	-35	-15.1	33.7	38
	50km/h超～80km/h	818	737	674	542	506	433	392	317	255	254	202	-52	-20.5	34.5	25
	80km/h超	348	269	250	186	159	163	120	108	94	89	73	-16	-18.0	12.5	21
	調査不能	57	53	46	39	41	31	24	32	22	34	19	-15	-44.1	3.2	33
小計	1,970	1,759	1,604	1,352	1,223	1,093	966	864	743	715	585	-130	-18.2	100.0	30	
25～64歳	30km/h以下	1,062	1,065	1,042	1,059	1,001	901	885	852	734	682	676	-6	-0.9	23.6	64
	30km/h超～50km/h	1,559	1,604	1,492	1,445	1,388	1,349	1,265	1,219	1,112	992	1,099	107	10.8	38.4	70
	50km/h超～80km/h	1,819	1,638	1,571	1,456	1,411	1,330	1,168	1,015	864	852	830	-22	-2.6	29.0	46
	80km/h超	466	448	409	386	331	305	266	220	158	170	175	5	2.9	6.1	38
	調査不能	125	137	118	110	121	88	100	85	80	91	83	-8	-8.8	2.9	66
小計	5,031	4,892	4,632	4,456	4,252	3,973	3,684	3,391	2,948	2,787	2,863	76	2.7	100.0	57	
65歳以上	30km/h以下	437	486	496	430	455	443	412	400	398	391	400	9	2.3	43.1	92
	30km/h超～50km/h	394	355	397	410	387	401	420	367	397	334	383	49	14.7	41.3	97
	50km/h超～80km/h	124	140	131	134	127	148	131	116	114	113	104	-9	-8.0	11.2	84
	80km/h超	14	9	14	13	12	8	8	11	9	6	9	3	50.0	1.0	64
	調査不能	34	50	39	30	38	33	41	36	39	46	32	-14	-30.4	3.4	94
小計	1,003	1,040	1,077	1,017	1,019	1,033	1,012	930	957	890	928	38	4.3	100.0	93	
全年齢層	30km/h以下	1,734	1,796	1,758	1,690	1,632	1,499	1,439	1,396	1,255	1,181	1,170	-11	-0.9	26.7	67
	30km/h超～50km/h	2,480	2,430	2,311	2,250	2,123	2,070	1,978	1,851	1,764	1,559	1,681	122	7.8	38.4	68
	50km/h超～80km/h	2,764	2,521	2,378	2,135	2,045	1,913	1,692	1,449	1,233	1,219	1,136	-83	-6.8	25.9	41
	80km/h超	829	726	674	585	503	476	394	339	261	265	257	-8	-3.0	5.9	31
	調査不能	217	241	203	179	200	152	165	154	141	171	134	-37	-21.6	3.1	62
小計	8,024	7,714	7,324	6,839	6,503	6,110	5,668	5,189	4,654	4,395	4,378	-17	-0.4	100.0	55	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(5) 事故類型別の状況と特徴

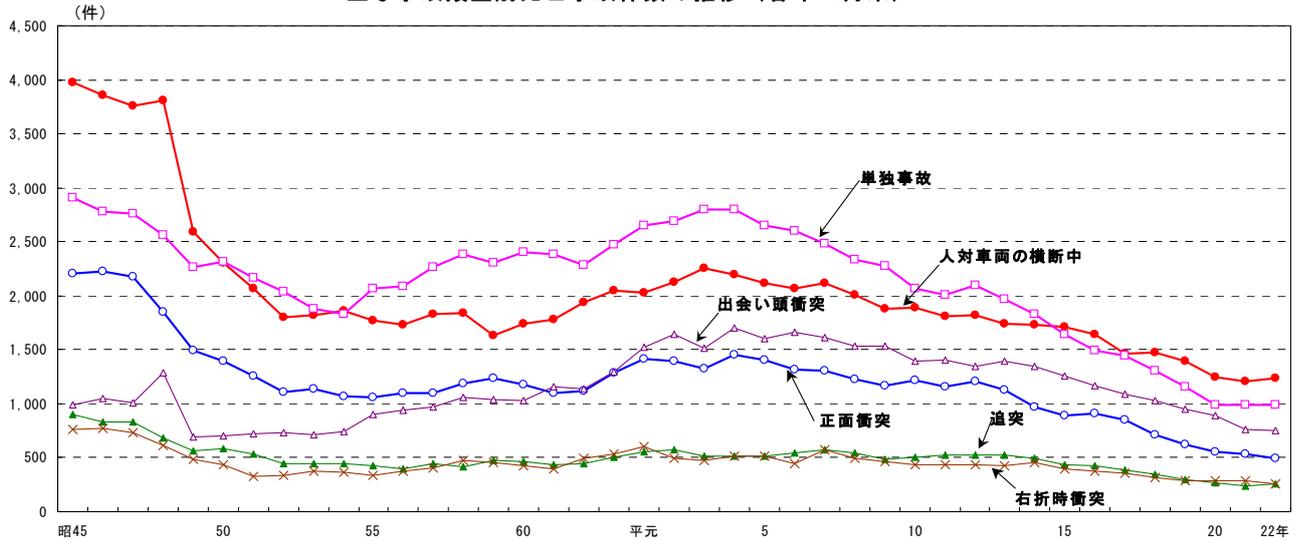
◎ 正面衝突及び工作物衝突は10年前の半数以下

死亡事故件数を事故類型別にみると、人对車両の横断中（構成率26.1%）が最も多く、次いで車両相互の出会い頭衝突（同15.9%）、車両単独の工作物衝突（同14.3%）の順に多い。

前年と比較すると、正面衝突（前年比-39件、-7.3%）の減少幅が最も大きく、一方、横断中（同+32件、+2.7%）の増加幅が最も大きい。

過去10年間の推移をみると、正面衝突（平成12年の0.41倍）、工作物衝突（同0.46倍）及び人对車両（同0.68倍）など、死亡事故率の高い事故類型は減少傾向にある。

主な事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

事故類型別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
人对車両	対面通行中	100	96	84	74	61	69	52	58	51	72	52	-20	-27.8	1.1	52
	背面通行中	188	192	169	163	159	165	150	140	118	134	102	-32	-23.9	2.2	54
	横断中	485	473	480	477	427	396	453	406	365	363	362	-1	-0.3	7.7	75
	横断歩道付近	218	251	239	252	205	179	153	156	135	117	136	19	16.2	2.9	62
	横断歩道橋付近	35	30	33	29	27	12	14	19	15	15	18	-2	-10.0	0.4	51
	その他	1,079	987	983	950	981	873	858	817	727	702	718	16	2.3	15.2	67
	小計	1,817	1,741	1,735	1,708	1,640	1,460	1,478	1,398	1,242	1,202	1,234	32	2.7	26.1	68
	路上遊戯中	9	11	10	2	6	8	4	9	3	1	1	0	0.0	0.0	11
	路上作業中	51	54	40	42	45	60	38	33	25	38	28	-10	-26.3	0.6	55
	路上停止中	79	61	64	63	59	57	62	45	54	37	53	16	43.2	1.1	67
その他	224	228	210	216	215	188	206	201	199	199	176	196	20	11.4	4.1	88
計	2,468	2,383	2,312	2,268	2,185	2,007	1,990	1,884	1,692	1,666	1,666	6	0.4	35.3	68	
車両相互	正面衝突	1,203	1,129	974	892	908	854	713	627	551	532	493	-39	-7.3	10.4	41
	追進行中	246	240	224	209	204	179	148	123	132	133	145	12	9.0	3.1	59
	追突	279	281	266	226	223	206	197	171	134	105	115	10	9.5	2.4	41
	小計	525	521	490	435	427	385	345	294	266	238	260	22	9.2	5.5	50
	出会い頭衝突	1,350	1,390	1,346	1,252	1,169	1,092	1,024	951	892	765	750	-15	-2.0	15.9	56
	追越・追抜時衝突	109	104	90	93	79	86	76	64	65	44	51	7	15.9	1.1	47
	すれ違い時衝突	45	35	27	31	25	27	21	14	16	15	11	-4	-26.7	0.2	24
	左折時衝突	71	80	85	68	85	77	78	76	64	65	57	-8	-12.3	1.2	80
	右折時衝突	432	426	458	395	374	356	319	283	288	282	259	-23	-8.2	5.5	60
	その他	358	314	325	327	292	239	232	199	167	151	158	7	4.6	3.3	44
計	4,093	3,999	3,795	3,493	3,359	3,116	2,808	2,508	2,309	2,092	2,039	-53	-2.5	43.1	50	
車両単独	電柱	364	328	303	283	257	261	229	171	144	141	153	12	8.5	3.2	42
	標識	61	65	78	67	57	47	63	50	35	36	35	-1	-2.8	0.7	57
	分離帯等	144	122	113	95	81	84	64	58	57	55	61	6	10.9	1.3	42
	防護柵等	411	425	358	303	298	297	261	257	187	202	185	-17	-8.4	3.9	45
	家屋・塀	142	155	118	110	100	121	83	71	62	66	59	-7	-10.6	1.2	42
	橋梁・橋脚	78	59	58	58	38	44	39	36	39	33	21	-12	-36.4	0.4	27
	その他	267	221	244	203	177	191	177	154	113	125	160	35	28.0	3.4	60
	小計	1,467	1,375	1,272	1,119	1,008	1,045	916	797	637	658	674	16	2.4	14.3	46
	駐車車両衝突	139	104	98	92	97	82	66	63	56	43	44	1	2.3	0.9	32
	路外転落	241	252	218	199	196	163	169	145	154	136	135	-1	-0.7	2.9	56
逸脱	92	98	92	68	53	43	40	36	28	30	26	-4	-13.3	0.6	28	
小計	333	350	310	267	249	206	209	181	182	166	161	-5	-3.0	3.4	48	
転倒	114	107	119	126	103	76	83	90	86	83	88	5	6.0	1.9	77	
その他	39	37	33	40	36	39	36	30	24	36	25	-11	-30.6	0.5	64	
計	2,092	1,973	1,832	1,644	1,493	1,448	1,310	1,161	985	986	992	6	0.6	21.0	47	
列車	54	59	54	51	47	54	39	34	39	35	29	-6	-17.1	0.6	54	
合計	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	-47	-1.0	100.0	54	

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

◎ 事故類型別・年齢層別では高齢者の車両相互が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・年齢層別にみると、高齢者の車両相互（449件、構成率10.3%）が最も多く、次いで30歳代の人対車両（348件、同7.9%）、30歳代の車両相互（325件、同7.4%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・年齢層別死亡事故件数（平成22年中）

事故類型別	年齢層別											65歳		合計	構成率	70歳以上	
	15歳以下	16～			25～	30～	40～	50～	60～	65～74歳	75歳以上	以上	構成率				
人対車両	横断中	0	22	99	121	102	259	200	165	117	99	67	166	17.9	1,130	25.8	110
	(増減数)	0	-9	-25	-34	-11	34	10	-20	35	10	4	14		28		21
	その他	0	10	39	49	32	89	81	63	33	32	21	53	5.7	400	9.1	33
(増減数)	0	-2	-5	-7	-5	-10	5	-23	7	-2	7	5		-28		0	
計	0	32	138	170	134	348	281	228	150	131	88	219	23.6	1,530	34.9	143	
(増減数)	0	-11	-30	-41	-16	24	15	-43	42	8	11	19		0		21	
車両相互	正面衝突	1	26	49	75	35	74	63	78	44	63	49	112	12.1	482	11.0	83
	(増減数)	1	-10	-19	-29	-9	20	-5	2	-5	-3	-14	-17		-42		-13
	追突	0	9	25	34	20	60	52	31	21	22	19	41	4.4	259	5.9	30
	(増減数)	0	-7	1	-6	4	8	-4	4	8	8	-1	7		21		5
	出会い頭	0	35	41	76	41	92	87	88	65	74	120	194	20.9	643	14.7	164
	(増減数)	-2	8	-21	-13	-7	-8	10	4	24	-8	7	-1		7		10
	追越時等	0	5	3	8	4	16	9	4	5	3	1	4	0.4	50	1.1	2
	(増減数)	0	4	-1	3	-1	10	-2	-2	1	2	-1	1		10		-1
	左折時	0	1	5	6	3	10	16	8	6	4	0	4	0.4	53	1.2	3
	(増減数)	0	-1	1	0	1	-6	6	1	-2	-8	-2	-10		-10		-2
右折時	0	9	30	39	13	38	40	32	22	46	22	68	7.3	252	5.8	43	
(増減数)	0	-5	5	0	-12	-6	11	-15	-9	7	0	7		-24		6	
その他	0	3	18	21	21	35	22	14	12	15	11	26	2.8	151	3.4	18	
(増減数)	0	-7	-5	-12	10	7	-7	-4	2	5	5	10		6		8	
計	1	88	171	259	137	325	289	255	175	227	222	449	48.4	1,890	43.2	343	
(増減数)	-1	-18	-39	-57	-14	25	9	-10	19	3	-6	-3		-32		13	
車両単独	工作物衝突	0	36	92	128	51	85	95	96	45	79	85	164	17.7	664	15.2	122
	(増減数)	0	-13	4	-9	2	-7	12	1	-11	2	26	28		16		16
	駐車車両衝突	0	1	0	1	2	12	9	7	5	2	6	8	0.9	44	1.0	7
	(増減数)	0	0	-8	-8	-1	6	-1	4	5	-4	0	-4		1		-1
	路外逸脱	0	4	7	11	4	10	11	24	11	39	29	68	7.3	139	3.2	52
	(増減数)	0	-6	0	-6	-1	-4	1	9	-2	11	-7	4		1		-2
転倒	1	7	8	15	6	19	10	9	5	6	5	11	1.2	76	1.7	9	
(増減数)	1	-3	-2	-5	-2	7	-4	5	5	1	1	2		9		2	
その他	0	0	1	1	4	3	4	3	4	3	3	6	0.6	25	0.6	3	
(増減数)	-1	0	-3	-3	3	0	0	-5	2	-3	-2	-5		-9		-5	
計	1	48	108	156	67	129	129	139	70	129	128	257	27.7	948	21.7	193	
(増減数)	0	-22	-9	-31	1	2	8	14	-1	7	18	25		18		10	
列車	0	0	0	0	1	0	2	2	2	1	2	3	0.3	10	0.2	2	
(増減数)	0	-1	0	-1	0	-4	2	1	2	-4	1	-3		-3		-3	
合計		2	168	417	585	339	802	701	624	397	488	440	928	100.0	4,378	100.0	681
	構成率	0.0	3.8	9.5	13.4	7.7	18.3	16.0	14.3	9.1	11.1	10.1	21.2		100.0		15.6
	増減数	-1	-52	-78	-130	-29	47	34	-38	62	14	24	38		-17		41
	増減率	-33.3	-23.6	-15.8	-18.2	-7.9	6.2	5.1	-5.7	18.5	3.0	5.8	4.3		-0.4		6.4

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 70歳以上は、再掲である。

◎ 事故類型別・法令違反別では漫然運転による人対車両が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・法令違反別にみると、漫然運転による人対車両（375件、構成率8.6%）が最も多く、次いで脇見運転による人対車両（369件、同8.4%）、運転操作不適による車両単独（352件、同8.0%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・法令違反別死亡事故件数（平成22年中）

事故類型別	法令違反別	信号無視	通行区分	最高速度	追越し	歩行者妨害等	一時不停止	運転操作不適	漫然運転	脇見運転	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	合計	構成率
人対車両	横断中	23	0	41	0	265	0	2	254	255	37	119	27	107	1,130	25.8
	(増減数)	-1	0	0	0	-8	-2	1	31	-8	-10	-1	7	19	28	
	その他	0	1	13	1	8	0	12	121	114	12	88	11	19	400	9.1
	(増減数)	0	-5	-4	1	-5	-1	-3	7	-15	-4	8	-7	0	-28	
	計	23	1	54	1	273	0	14	375	369	49	207	38	126	1,530	34.9
	(増減数)	-1	-5	-4	1	-13	-3	-2	38	-23	-14	7	0	19	0	
車両相互	正面衝突	0	173	26	11	0	0	72	100	30	1	9	30	30	482	11.0
	(増減数)	0	1	-10	5	0	0	-12	18	-23	-2	2	-8	-13	-42	
	追突	0	0	13	2	0	0	6	107	92	12	16	2	9	259	5.9
	(増減数)	0	0	-2	0	0	0	2	1	17	3	5	0	-5	21	
	出会い頭	101	0	15	0	0	149	3	27	26	13	103	8	198	643	14.7
	(増減数)	10	0	-3	0	-1	-1	3	-3	-13	-4	-2	3	18	7	
	追越時等	0	2	3	15	0	0	6	2	2	10	6	1	3	50	1.1
	(増減数)	0	1	-2	6	0	0	6	1	1	-6	2	1	0	10	
左折時	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	19	1	27	53	1.2	
(増減数)	0	0	0	0	0	2	-1	-1	1	1	-7	1	-6	-10		
右折時	26	2	2	1	0	1	1	0	6	9	59	0	145	252	5.8	
(増減数)	-6	1	-2	0	0	0	0	-4	-1	-5	-22	-1	16	-24		
その他	0	6	7	1	0	0	18	16	15	16	30	5	37	151	3.4	
(増減数)	-3	-1	0	1	0	0	2	0	3	3	-5	-1	7	6		
	計	127	183	66	31	1	152	106	252	172	62	242	47	449	1,890	43.2
	(増減数)	1	2	-19	12	-1	1	0	12	-15	-10	-27	-5	17	-32	
車両単独	工作物衝突	0	5	132	0	0	0	243	110	69	1	6	40	58	664	15.2
	(増減数)	-1	-2	-17	-2	0	-2	29	-3	20	1	0	0	-7	16	
	駐車車両衝突	0	0	4	0	0	0	1	25	5	0	4	1	4	44	1.0
	(増減数)	0	0	0	0	0	0	-1	8	-8	-1	1	-1	3	1	
	路外逸脱	0	1	13	0	0	0	63	17	13	0	4	13	15	139	3.2
(増減数)	0	0	0	0	0	0	-12	5	0	0	1	3	4	1		
転倒	2	1	21	1	0	0	40	1	1	0	0	6	3	76	1.7	
(増減数)	2	0	4	0	0	0	8	-2	0	0	-1	1	-3	9		
その他	0	0	2	0	0	0	5	7	2	0	1	1	7	25	0.6	
(増減数)	0	0	0	0	0	0	-5	1	1	0	1	-3	-4	-9		
	計	2	7	172	1	0	0	352	160	90	1	15	61	87	948	21.7
	(増減数)	1	-2	-13	-2	0	-2	19	9	13	0	2	0	-7	18	
列車		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	10	0.2
(増減数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	-2	-3	
合計		152	191	292	33	274	152	473	787	631	112	464	146	671	4,378	100.0
	構成率	3.5	4.4	6.7	0.8	6.3	3.5	10.8	18.0	14.4	2.6	10.6	3.3	15.3	100.0	
	増減数	1	-5	-36	11	-14	-4	17	59	-25	-24	-19	-5	27	-17	
	増減率	0.7	-2.6	-11.0	50.0	-4.9	-2.6	3.7	8.1	-3.8	-17.6	-3.9	-3.3	4.2	-0.4	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

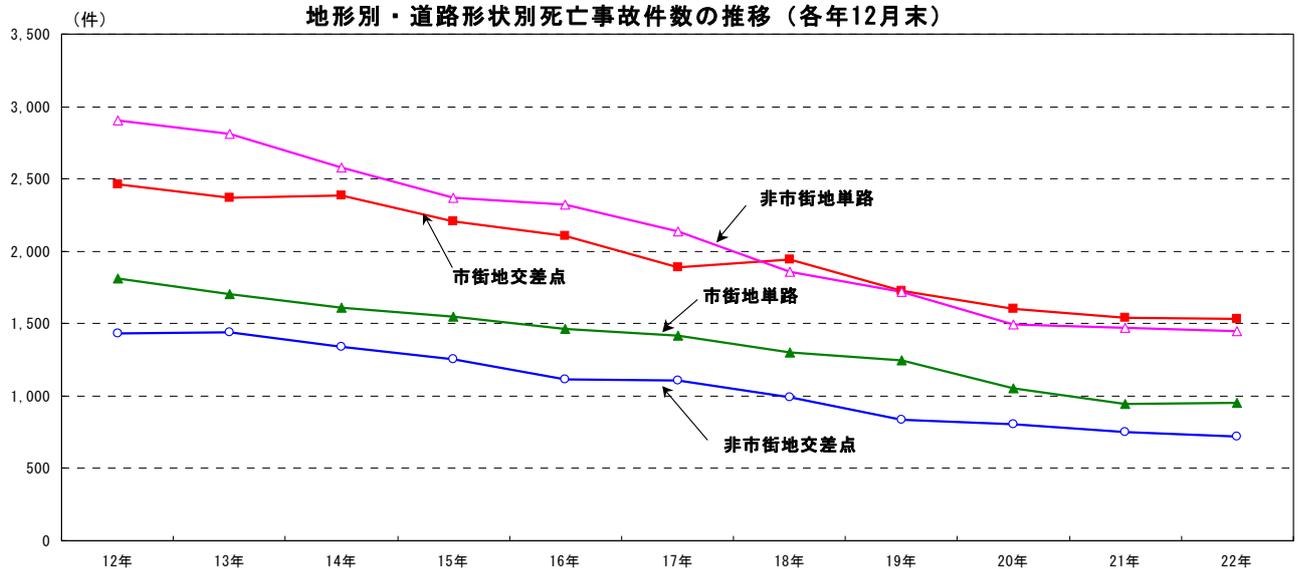
2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

(6) 道路形状別の状況と特徴

◎ 道路形状別では市街地交差点の死亡事故が最多

死亡事故件数を道路形状別にみると、市街地の交差点（構成率32.5%）が最も多く、次いで非市街地の単路（同30.7%）、市街地の単路（同20.2%）の順に多い。

過去10年間の推移を見ると平成17年まで最多であった非市街地の単路での減少が最も大きく（平成12年の0.50倍）18年以降は市街地交差点が最多となっている。



○ 地形別・道路形状別死亡事故件数の推移（各年12月末）

地形別・道路形状別	年	年											増減数	増減率	構成率	指数	
		12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年					
市街地	交差点	交内 信号機有	1,039	1,060	1,083	969	915	842	856	738	695	639	623	-16	-2.5	13.2	60
		交内 信号機無	901	821	817	793	774	685	738	641	586	550	526	-24	-4.4	11.1	58
		小計	1,940	1,881	1,900	1,762	1,689	1,527	1,594	1,379	1,281	1,189	1,149	-40	-3.4	24.3	59
		交差点付近	521	492	487	448	420	359	347	346	320	355	386	31	8.7	8.2	74
	計	2,461	2,373	2,387	2,210	2,109	1,886	1,941	1,725	1,601	1,544	1,535	-9	-0.6	32.5	62	
	単路	カーブ・屈折	402	346	361	284	256	264	248	221	157	172	165	-7	-4.1	3.5	41
		一般単路	1,356	1,321	1,210	1,219	1,168	1,110	1,017	998	865	748	760	12	1.6	16.1	56
		トンネル	10	7	8	8	12	6	10	5	5	3	6	3	100.0	0.1	60
		橋	45	33	34	34	29	37	23	24	26	23	25	2	8.7	0.5	56
		計	1,813	1,707	1,613	1,545	1,465	1,417	1,298	1,248	1,053	946	956	10	1.1	20.2	53
踏切	26	36	25	23	20	29	24	14	18	20	17	-3	-15.0	0.4	65		
その他の場所	14	13	13	14	10	12	16	12	21	15	17	2	13.3	0.4	121		
計	4,314	4,129	4,038	3,792	3,604	3,344	3,279	2,999	2,693	2,525	2,525	0	0.0	53.4	59		
非市街地	交差点	交内 信号機有	358	333	319	318	276	250	230	203	160	160	168	8	5.0	3.6	47
		交内 信号機無	837	872	809	750	685	676	593	492	481	456	414	-42	-9.2	8.8	49
		小計	1,195	1,205	1,128	1,068	961	926	823	695	641	616	582	-34	-5.5	12.3	49
		交差点付近	240	235	209	186	153	180	165	144	162	135	141	6	4.4	3.0	59
	計	1,435	1,440	1,337	1,254	1,114	1,106	988	839	803	751	723	-28	-3.7	15.3	50	
	単路	カーブ・屈折	1,163	1,152	976	946	901	829	705	715	579	586	577	-9	-1.5	12.2	50
		一般単路	1,645	1,555	1,500	1,316	1,330	1,210	1,073	929	839	830	804	-26	-3.1	17.0	49
		トンネル	44	46	50	49	48	43	40	42	41	26	38	12	46.2	0.8	86
		橋	55	56	49	55	44	54	38	34	38	28	32	4	14.3	0.7	58
		計	2,907	2,809	2,575	2,366	2,323	2,136	1,856	1,720	1,497	1,470	1,451	-19	-1.3	30.7	50
踏切	31	24	32	28	28	25	16	21	22	15	12	-3	-20.0	0.3	39		
その他の場所	20	12	11	16	15	14	8	8	10	12	15	3	25.0	0.3	75		
計	4,393	4,285	3,955	3,664	3,480	3,281	2,868	2,588	2,332	2,248	2,201	-47	-2.1	46.6	50		
合計	交差点	交内 信号機有	1,397	1,393	1,402	1,287	1,191	1,092	1,086	941	855	799	791	-8	-1.0	16.7	57
		交内 信号機無	1,738	1,693	1,626	1,543	1,459	1,361	1,331	1,133	1,067	1,006	940	-66	-6.6	19.9	54
		小計	3,135	3,086	3,028	2,830	2,650	2,453	2,417	2,074	1,922	1,805	1,731	-74	-4.1	36.6	55
		交差点付近	761	727	696	634	573	539	512	490	482	490	527	37	7.6	11.2	69
	計	3,896	3,813	3,724	3,464	3,223	2,992	2,929	2,564	2,404	2,295	2,258	-37	-1.6	47.8	58	
	単路	カーブ・屈折	1,565	1,498	1,337	1,230	1,157	1,093	953	936	736	758	742	-16	-2.1	15.7	47
		一般単路	3,001	2,876	2,710	2,535	2,498	2,320	2,090	1,927	1,704	1,578	1,564	-14	-0.9	33.1	52
		トンネル	54	53	58	57	60	49	50	47	46	29	44	15	51.7	0.9	81
		橋	100	89	83	89	73	91	61	58	64	51	57	6	11.8	1.2	57
		計	4,720	4,516	4,188	3,911	3,788	3,553	3,154	2,968	2,550	2,416	2,407	-9	-0.4	50.9	51
踏切	57	60	57	51	48	54	40	35	40	35	29	-6	-17.1	0.6	51		
その他の場所	34	25	24	30	25	26	24	20	31	27	32	5	18.5	0.7	94		
計	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	-47	-1.0	100.0	54		

注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

注3 「信号機無」には、信号機不動作の場合を含む。

注4 「踏切」とは、踏切上の事故で当事者が列車でない場合を含む。

注5 「その他の場所」とは、広場等車道幅員が容易に測定できない道路であって、高速道路等に設けられたサービスエリア等を含む。

◎ 事故類型別・道路形状別は一般単路での人対車両が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・道路形状別にみると、一般単路での人対車両（639件、構成率14.6%）が最も多く、次いで一般単路での車両相互（511件、同11.7%）、信号機無し交差点での車両相互（479件、同10.9%）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・道路形状別死亡事故件数（平成22年中）

事故類型別	道路形状別					カーブ 屈折	一般 単路	トンネル	橋	単路	踏切	その他 の場所	計		
	信号機有	信号機無	交差点 内	交差点 付近	交差点								構成率		
人 対 車 両	横断中	226	304	530	162	692	35	402	1	0	438	0	0	1,130	25.8
	(増減数)	9	-11	-2	9	7	-11	34	1	0	24	0	-3	28	
	その他	10	38	48	63	111	27	237	2	7	273	0	16	400	9.1
(増減数)	-4	1	-3	7	4	-6	-32	0	0	-38	0	6	-28		
計	236	342	578	225	803	62	639	3	7	711	0	16	1,530	34.9	
(増減数)	5	-10	-5	16	11	-17	2	1	0	-14	0	3	0		
車 両 相 互	正面衝突	3	10	13	39	52	242	158	17	13	430	0	0	482	11.0
	(増減数)	-4	-2	-6	0	-6	-17	-24	5	0	-36	0	0	-42	
	追突	3	8	11	62	73	12	155	7	11	185	0	1	259	5.9
	(増減数)	-9	3	-6	13	7	-4	11	0	6	13	0	1	21	
	出会い頭	155	392	547	23	570	4	68	0	0	72	0	1	643	14.7
	(増減数)	13	-19	-6	-4	-10	2	14	0	0	16	0	1	7	
	追越時等	3	2	5	10	15	5	28	0	2	35	0	0	50	1.1
	(増減数)	2	-7	-5	3	-2	3	9	0	0	12	0	0	10	
左折時	40	8	48	1	49	1	3	0	0	4	0	0	53	1.2	
(増減数)	-2	-2	-4	0	-4	1	-7	0	0	-6	0	0	-10		
右折時	176	48	224	4	228	3	21	0	0	24	0	0	252	5.8	
(増減数)	-8	-1	-9	-9	-18	0	-6	0	0	-6	0	0	-24		
その他	13	11	24	21	45	19	78	3	5	105	0	1	151	3.4	
(増減数)	-1	-1	-2	-5	-7	3	4	2	4	13	0	0	6		
計	393	479	872	160	1,032	286	511	27	31	855	0	3	1,890	43.2	
(増減数)	-9	-29	-38	-2	-40	-12	1	7	10	6	0	2	-32		
車 両 単 独	工作物衝突	46	42	88	65	153	271	215	11	11	508	0	3	664	15.2
	(増減数)	13	-6	7	2	9	5	-4	5	0	6	0	1	16	
	駐車車両衝突	0	1	1	5	6	6	29	1	1	37	0	1	44	1.0
	(増減数)	0	0	0	-1	-1	3	2	1	-2	4	0	-2	1	
	路外逸脱	0	4	4	11	15	56	58	0	3	117	0	7	139	3.2
	(増減数)	0	-5	-5	0	-5	2	0	0	0	2	0	4	1	
転倒	3	2	5	9	14	34	24	2	2	62	0	0	76	1.7	
(増減数)	0	1	1	3	4	3	-1	2	1	5	0	0	9		
その他	0	3	3	3	6	9	7	0	1	17	0	2	25	0.6	
(増減数)	-1	2	1	1	2	2	-11	-1	1	-9	0	-2	-9		
計	49	52	101	93	194	376	333	14	18	741	0	13	948	21.7	
(増減数)	12	-8	4	5	9	15	-14	7	0	8	0	1	18		
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0.2	
(増減数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-3	0	-3		
合 計		678	873	1,551	478	2,029	724	1,483	44	56	2,307	10	32	4,378	100.0
	構成率	15.5	19.9	35.4	10.9	46.3	16.5	33.9	1.0	1.3	52.7	0.2	0.7	100.0	
	増減数	8	-47	-39	19	-20	-14	-11	15	10	0	-3	6	-17	
	増減率	1.2	-5.1	-2.5	4.1	-1.0	-1.9	-0.7	51.7	21.7	0.0	-23.1	23.1	-0.4	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 「信号機無」には、信号機不作動の場合を含む。

4 「踏切」とは、踏切上の事故で当事者が列車でない場合を含む。

5 「その他の場所」とは、広場等車道幅員が容易に測定できない道路であって、高速道路等に設けられたサービスエリア等を含む。

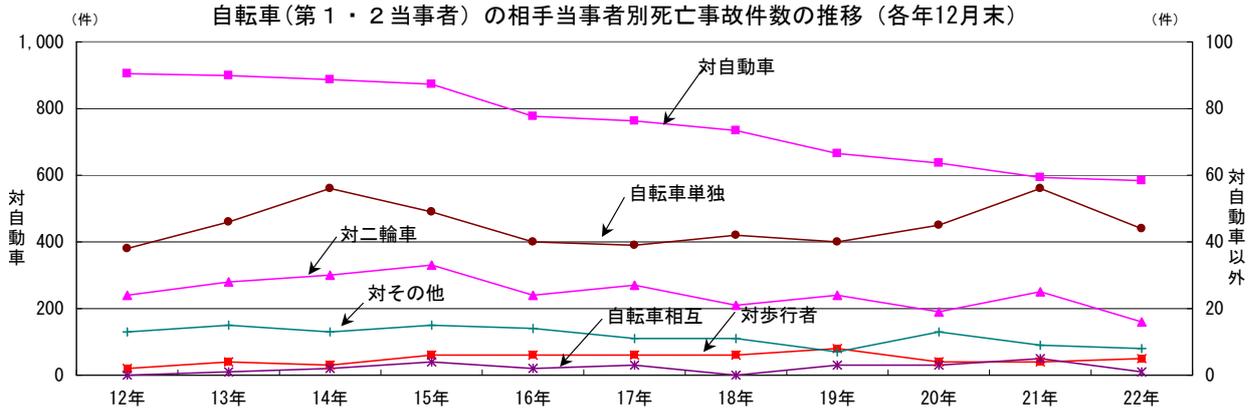
(7) 自転車関連死亡事故の状況と特徴

◎ 相手別では9割近くが対自動車、事故類型別では出会い頭衝突が約半数

自転車が第1当事者又は、第2当事者となった死亡事故(自転車関連死亡事故)件数は、10年前の0.67倍と減少傾向にはあるが、死亡事故全体に占める割合は、10年前の1.23倍と高い水準にある。

自転車関連死亡事故件数を相手当事者別に見ると、対自動車(584件、構成率88.8%)が9割近くを占めるものの、10年前の0.65倍と減少傾向にある。一方、自転車単独事故は同1.16倍と高い水準となっている。

また、自転車関連死亡事故を事故類型別に見ると、出会い頭衝突が約半数(321件、同48.8%)を占めている。



○ 自転車(第1・2当事者)の相手当事者別死亡事故件数の推移(各年12月末)

相手	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率 注5	指数
自動車		905	899	887	873	777	763	734	665	637	593	584	-9	-1.5	88.8	65
二輪車		24	28	30	33	24	27	21	24	19	25	16	-9	-36.0	2.4	67
歩行者		2	4	3	6	6	6	6	8	4	4	5	1	25.0	0.8	250
自転車相互		0	1	2	4	2	3	0	3	3	5	1	-4	-80.0	0.2	-
自転車単独		38	46	56	49	40	39	42	40	45	56	44	-12	-21.4	6.7	116
その他		13	15	13	15	14	11	11	7	13	9	8	-1	-11.1	1.2	62
合計		982	993	991	980	863	849	814	747	721	692	658	-34	-4.9	100.0	67
構成率注4		11.3	11.8	12.4	13.1	12.2	12.8	13.2	13.4	14.3	14.5	13.9	-	-	-	123

- 注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。
 2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。
 3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。
 4 死亡事故全体に占める自転車関連死亡事故の占める割合である。
 5 自転車関連死亡事故件数に占める割合である。

○ 自転車(第1・2当事者)の事故類型別死亡事故件数の推移(各年12月末)

事故類型別	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
人 対 車 両	対面通行中	0	2	2	1	3	5	3	4	0	2	4	2	100.0	0.6	-
	背面通行中	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	1	1	-	0.2	-
	横断中	1	0	1	2	1	0	1	2	3	2	0	-2	-100.0	0.0	0
	その他	1	2	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0	-	0.0	0
	計	2	4	3	6	6	6	6	6	8	4	4	5	1	25.0	0.8
車 両 相 互	正面衝突	47	40	31	34	30	34	28	20	22	29	32	3	10.3	4.9	68
	追突	103	92	89	73	89	80	52	66	68	63	72	9	14.3	10.9	70
	出会い頭衝突	486	490	511	504	424	423	437	395	382	348	321	-27	-7.8	48.8	66
	追越・追抜時衝突	24	37	26	31	23	38	21	24	20	19	15	-4	-21.1	2.3	63
	進路変更時衝突	14	14	7	8	9	8	9	6	8	8	8	0	0.0	1.2	57
	すれ違い時衝突	16	12	7	9	10	10	5	5	6	3	2	-1	-33.3	0.3	13
	左折時衝突	42	58	59	53	58	58	55	54	38	43	49	6	14.0	7.4	117
	右折時衝突	75	73	64	70	48	60	48	51	50	55	49	-6	-10.9	7.4	65
	横断時衝突	78	70	84	90	69	52	58	46	38	37	31	-6	-16.2	4.7	40
	転回時衝突	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0.0	-
	後退時衝突	2	7	4	4	9	5	8	3	3	4	1	-3	-75.0	0.2	50
	その他	48	40	42	43	41	31	40	23	28	17	22	5	29.4	3.3	46
計	935	933	925	919	810	799	761	694	663	626	602	-24	-3.8	91.5	64	
車 両 単 独	工作物衝突	4	8	7	4	8	8	9	9	11	10	10	0	0.0	1.5	250
	転倒	12	8	14	18	11	11	14	7	8	16	12	-4	-25.0	1.8	100
	その他	22	30	35	27	21	20	19	24	26	30	22	-8	-26.7	3.3	100
計	38	46	56	49	40	39	42	40	45	56	44	-12	-21.4	6.7	116	
列車		7	10	7	6	7	5	5	5	9	6	7	1	16.7	1.1	100
合計		982	993	991	980	863	849	814	747	721	692	658	-34	-4.9	100.0	67

- 注1 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。
 2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。
 3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。

6 道路交通法違反の取締り状況

平成22年中の道路交通法違反の取締り総件数は、1,183万5,929件（点数告知件数及び放置違反金納付命令件数を含む。）で、前年に比べ82万8,921件（6.5%）減少した。

重点違反（無免許運転、飲酒運転、最高速度違反、信号無視、歩行者妨害、一時不停止）については、433万4,357件で、前年に比べ24万5,458件（5.4%）減少した。

点数告知については、217万3,483件で、前年に比べ11万2,981件（4.9%）減少した。

駐車違反については、202万655件（告知・送致件数と放置違反金納付命令件数の合計）で、前年に比べ49万7,351件（19.8%）減少した。

1 告知・送致件数

違反種別	年 別	平成22年 12月末		総計に 対する 構成率	平成21年 12月末		総計に 対する 構成率	前年比較		
		構成率	構成率		構成率	構成率		増減数	増減率	
動的	無 免 許	33,832	0.4	0.3	36,817	0.4	0.3	-2,985	-8.1	
	飲 酒 酔 い	848	0.0	0.0	954	0.0	0.0	-106	-11.1	
	酒 気	0.25以上	21,878	0.3	0.2	22,756	0.3	0.2	-878	-3.9
		0.25未満	17,047	0.2	0.1	18,091	0.2	0.1	-1,044	-5.8
	帯 び	38,925	0.5	0.3	40,847	0.5	0.3	-1,922	-4.7	
	酒 小 計	39,773	0.5	0.3	41,801	0.5	0.3	-2,028	-4.9	
	最高速度違反	速度50以上	26,694	0.3	0.2	28,701	0.3	0.2	-2,007	-7.0
		速度50未満	331,497	4.1	2.8	358,046	4.3	2.8	-26,549	-7.4
		速度30未満	413,083	5.1	3.5	446,540	5.4	3.5	-33,457	-7.5
		速度25未満	868,926	10.8	7.3	949,258	11.4	7.5	-80,332	-8.5
		速度20未満	727,975	9.1	6.2	763,252	9.1	6.0	-35,277	-4.6
		速度15未満	47	0.0	0.0	52	0.0	0.0	-5	-9.6
	小 計	2,368,222	29.5	20.0	2,545,849	30.5	20.1	-177,627	-7.0	
	信号無視	691,564	8.6	5.8	696,314	8.3	5.5	-4,750	-0.7	
	歩行者妨害	63,771	0.8	0.5	64,643	0.8	0.5	-872	-1.3	
	一時不停止	1,137,195	14.1	9.6	1,194,391	14.3	9.4	-57,196	-4.8	
	過 労 運 転 等	60	0.0	0.0	53	0.0	0.0	+7	+13.2	
	違反	積 載	1,055	0.0	0.0	1,022	0.0	0.0	+33	+3.2
		積 載 違 反	2,622	0.0	0.0	2,830	0.0	0.0	-208	-7.3
		積 載 5 割 未 満	2,277	0.0	0.0	2,268	0.0	0.0	+9	+0.4
（過積載の小計）		5,954	0.1	0.1	6,120	0.1	0.0	-166	-2.7	
積 載 方 法 等		12,231	0.2	0.1	5,367	0.1	0.0	+6,864	+127.9	
小 計	18,185	0.2	0.2	11,487	0.1	0.1	+6,698	+58.3		
通 行 禁 止	796,104	9.9	6.7	791,131	9.5	6.2	+4,973	+0.6		
追 越 し ・ 通 行 区 分	291,799	3.6	2.5	315,936	3.8	2.5	-24,137	-7.6		
徐 行	2,809	0.0	0.0	3,174	0.0	0.0	-365	-11.5		
整 備 不 良 車 運 転	65,272	0.8	0.6	78,538	0.9	0.6	-13,266	-16.9		
消 音 器 不 備	4,044	0.1	0.0	4,184	0.1	0.0	-140	-3.3		
踏 切 不 停 止 等	121,589	1.5	1.0	122,137	1.5	1.0	-548	-0.4		
携 帯 電 話 使 用 等	1,317,375	16.4	11.1	1,251,771	15.0	9.9	+65,604	+5.2		
危 険 違 反	276	0.0	0.0	203	0.0	0.0	+73	+36.0		
使 用 違 反	1,317,099	16.4	11.1	1,251,568	15.0	9.9	+65,531	+5.2		
右 左 折 方 法	79,818	1.0	0.7	89,600	1.1	0.7	-9,782	-10.9		
騒 音 運 転 等	349	0.0	0.0	306	0.0	0.0	+43	+14.1		
そ の 他	521,984	6.5	4.4	526,110	6.3	4.2	-4,126	-0.8		
計	7,553,745	93.9	63.8	7,774,242	93.2	61.4	-220,497	-2.8		
その他	駐 停 車 禁 止 場 所 等 違 反	53,938	0.7	0.5	56,387	0.7	0.4	-2,449	-4.3	
	う ち 放 置 駐 車 違 反	46,629	0.6	0.4	48,465	0.6	0.4	-1,836	-3.8	
	駐 車 禁 止 場 所 等 違 反	345,215	4.3	2.9	428,993	5.1	3.4	-83,778	-19.5	
	う ち 放 置 駐 車 違 反	322,695	4.0	2.7	400,408	4.8	3.2	-77,713	-19.4	
小 計	399,153	5.0	3.4	485,380	5.8	3.8	-86,227	-17.8		
免 許 証 不 携 帯 違 反	88,046	1.1	0.7	86,138	1.0	0.7	+1,908	+2.2		
計	487,199	6.1	4.1	571,518	6.8	4.5	-84,319	-14.8		
合 計	8,040,944	100.0	67.9	8,345,760	100.0	65.9	-304,816	-3.7		
2 行政処分の基礎点数告知件数										
ベ ル ト 着 装 義 務	2,030,900	93.4	17.2	2,163,131	94.6	17.1	-132,231	-6.1		
ヘル着用義務	自動二輪車	4,280	0.2	0.0	5,077	0.2	0.0	-797	-15.7	
	原 付 車	28,916	1.3	0.2	32,111	1.4	0.3	-3,195	-9.9	
	小 計	33,196	1.5	0.3	37,188	1.6	0.3	-3,992	-10.7	
幼 児 補 助 装 置 使 用 義 務	109,387	5.0	0.9	86,145	3.8	0.7	+23,242	+27.0		
合 計	2,173,483	100.0	18.4	2,286,464	100.0	18.1	-112,981	-4.9		
3 放置違反金納付命令件数										
放 置 違 反 金 納 付 命 令 件 数	1,621,502		13.7	2,032,626		16.0	-411,124	-20.2		
4 総計（1+2+3）										
総 計	11,835,929		100.0	12,664,850		100.0	-828,921	-6.5		

注：1 この統計は、電算資料による。（なお、無車検、無保険等は除く）

2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものであり、小計、計及び合計の構成率は、違反種別の構成率の和と一致しない場合がある。

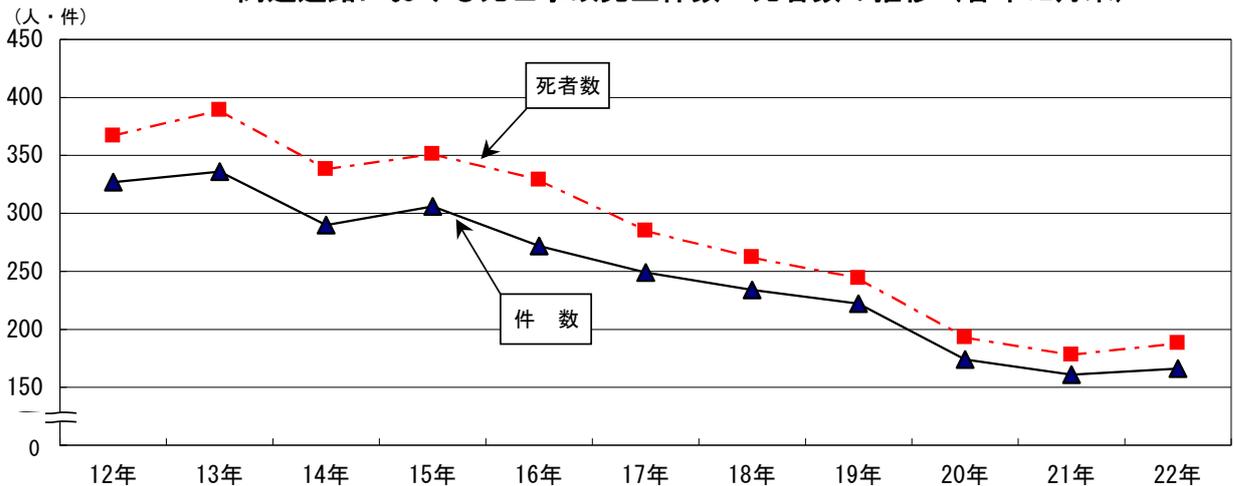
7 高速道路における死亡事故発生状況

(1) 交通死亡事故の発生状況

高速道路における死亡事故は、前年と比較すると件数（前年比+5件、+3.1%）、死者数（同+10人、+5.6%）いずれも増加し、平成16年以降7年振りに増加となった。

道路別でみると、高速自動車国道は件数（前年比+11件、+9.6%）、死者数（同+19人、+15.0%）いずれも増加した。一方、指定自動車専用道路は件数（同-6件、-13.0%）、死者数（同-9人、-17.6%）いずれも減少した。

高速道路における死亡事故発生件数・死者数の推移（各年12月末）



○ 高速道路における死亡事故件数・死者数の推移（各年12月末）

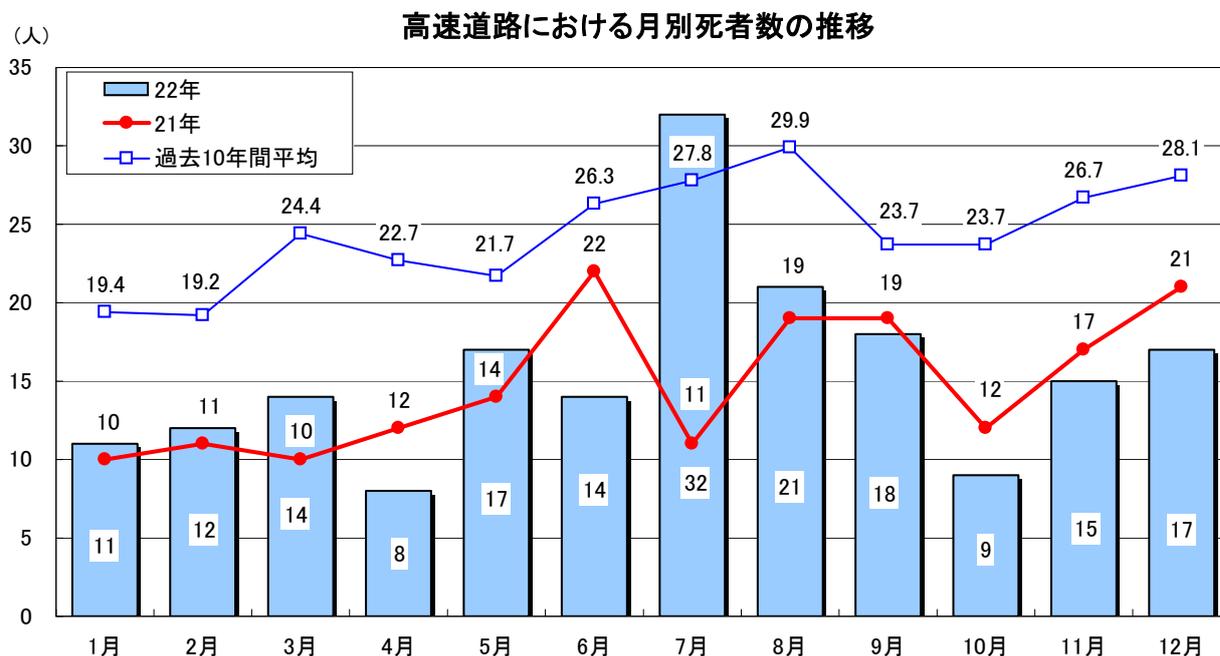
		12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	指数
高 速 国 道	件 数	241	251	216	216	204	190	167	151	126	115	126	11	9.6	52
	死者数	265	297	259	255	256	218	186	166	133	127	146	19	15.0	55
指 定 自 専 道	件 数	86	85	74	90	68	59	67	71	48	46	40	-6	-13.0	47
	死者数	102	92	79	96	73	67	76	78	60	51	42	-9	-17.6	41
合 計	件 数	327	336	290	306	272	249	234	222	174	161	166	5	3.1	51
	死者数	367	389	338	351	329	285	262	244	193	178	188	10	5.6	51

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(2) 月別死者数の推移

月別死者数は、前年同月比で、1月、2月、3月、5月、7月、8月で増加し、中でも7月は前年同月の約3倍と大幅な増加となった。



○ 高速道路における月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成12年	27	23	29	25	34	31	169	40	32	32	24	34	36	198	367
13年	32	39	36	28	22	39	196	36	34	30	41	28	24	193	389
14年	33	15	20	30	24	35	157	31	34	18	25	34	39	181	338
15年	17	32	34	25	14	32	154	35	39	22	33	37	31	197	351
16年	24	22	33	19	34	24	156	31	32	27	29	31	23	173	329
17年	13	8	25	29	22	19	116	26	29	35	17	23	39	169	285
18年	10	17	23	25	21	20	116	30	29	21	21	24	21	146	262
19年	24	18	13	14	16	24	109	18	32	19	18	22	26	135	244
20年	4	7	21	20	16	17	85	20	19	14	17	17	21	108	193
21年	10	11	10	12	14	22	79	11	19	19	12	17	21	99	178
22年	11	12	14	8	17	14	76	32	21	18	9	15	17	112	188
増減数	1	1	4	-4	3	-8	-3	21	2	-1	-3	-2	-4	13	10
増減率	10.0	9.1	40.0	-33.3	21.4	-36.4	-3.8	190.9	10.5	-5.3	-25.0	-11.8	-19.0	13.1	5.6
過去10年平均(12~21年)	19.4	19.2	24.4	22.7	21.7	26.3	133.7	27.8	29.9	23.7	23.7	26.7	28.1	159.9	293.6

注 増減数(率)は、平成21年と比較した値である。

(3) 路線別死亡事故発生状況

○ 高速道路における死亡事故が多い路線（括弧内は前年比の増減数及び増減率）（平成22年中）

山陽道	……	15件	(+7件)	+87.5%
中央道	……	13件	(-1件)	-7.1%
東北縦貫道	……	12件	(±0件)	±0.0%
中国縦貫道	……	10件	(±0件)	±0.0%
首都高速道路	……	9件	(+1件)	+12.5%
東名高速道路	……	8件	(-1件)	-11.1%
常磐道	……	7件	(+1件)	+16.7%
九州縦貫道	……	6件	(-1件)	-14.3%
名神高速道路	……	5件	(+2件)	+66.7%
九州横断道	……	5件	(+3件)	+150.0%
名阪国道	……	5件	(+1件)	+25.0%
阪神高速道路	……	5件	(±0件)	±0.0%
関越道(上信越)	……	4件	(-4件)	-50.0%
近畿道(新名神)	……	4件	(+3件)	+300.0%

○ 高速道路における供用距離10km当たりの死亡事故件数が高い主要な路線（平成22年中）

路線名	件数	供用距離	10km当たり死亡事故件数
名阪国道	5	73.3	0.6821
近畿道(新名神)	4	66.9	0.5979
近畿道(近畿・西名阪)	3	55.6	0.5396
近畿道(東名阪)	4	86.0	0.4651
山陽道	15	445.1	0.3370
首都高速道路	9	301.3	0.2987
中央道	13	442.6	0.2937
常磐道	7	245.3	0.2854
名神高速道路	5	192.3	0.2600
東名高速道路	8	348.7	0.2294
阪神高速道路	5	239.3	0.2089
関越道(上信越)	4	202.9	0.1971
九州横断道	5	256.8	0.1947
中国縦貫道	10	543.1	0.1841

注1 「主要な路線」とは、供用距離が50km以上の路線をいう。

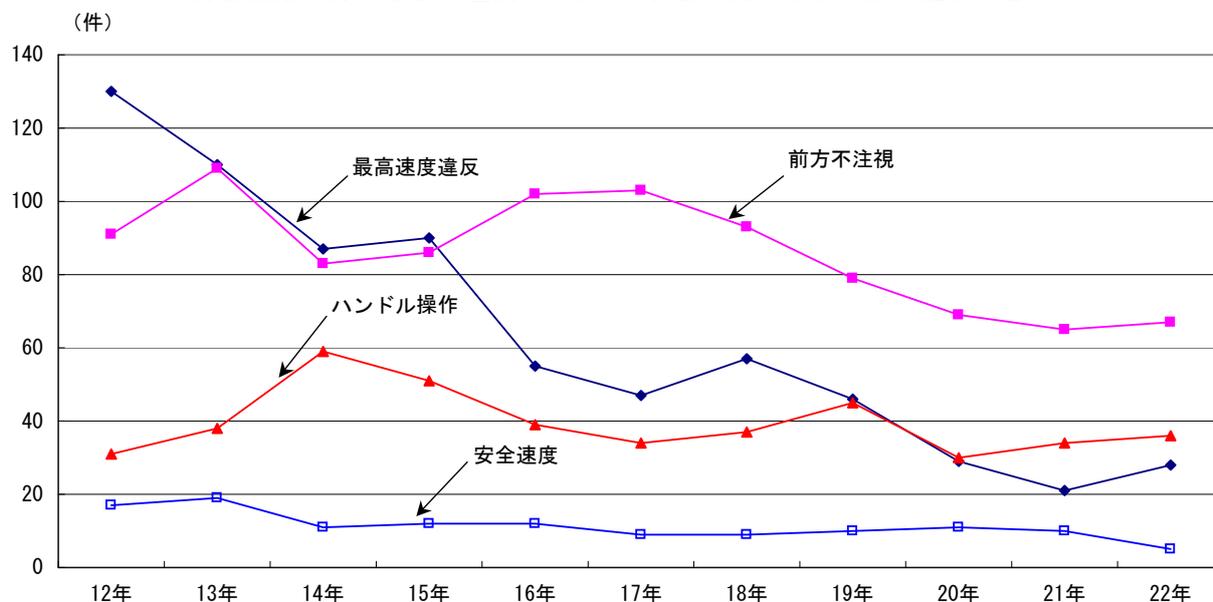
2 本表は死亡事故件数が3件以上の路線について計上した。

(4) 法令違反別（第1当事者）死亡事故発生状況

法令違反別死亡事故件数は、前方不注視が67件（構成率40.4%）と最も多く、次いでハンドル操作不適36件（同21.7%）、最高速度違反28件（同16.9%）の順となっている。

前年と比較すると、最高速度、運転操作不適、前方不注視及び動静不注視の違反で増加となり、その中でも、最高速度違反は（前年比＋7件、＋33.3%）と増加幅が最も大きい。

高速道路における法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 高速道路における法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）

違反	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
最高速度		130	110	87	90	55	47	57	46	29	21	28	7	33.3	16.9	22
酒酔い		3	6	3	0	2	3	1	1	0	1	1	0	0.0	0.6	33
進路変更		2	2	1	2	0	2	2	1	0	1	0	-1	-100.0	0.0	0
過労運転等		4	4	13	5	4	6	2	3	3	1	1	0	0.0	0.6	25
安全運転義務	運転操作不適	31	38	59	51	39	34	37	45	30	34	36	2	5.9	21.7	116
	ハンドル操作	6	3	1	2	5	3	3	2	1	0	2	2	-	1.2	33
	ブレーキ操作	6	3	1	2	5	3	3	2	1	0	2	2	-	1.2	33
	前方不注視	91	109	83	86	102	103	93	79	69	65	67	2	3.1	40.4	74
	動静不注視	4	10	4	4	2	5	1	2	3	1	3	2	200.0	1.8	75
安全不確認	12	10	3	8	12	7	8	9	9	8	7	7	-1	-12.5	4.2	58
安全速度	17	19	11	12	12	9	9	10	11	10	5	5	-5	-50.0	3.0	29
その他	27	25	25	46	39	30	21	24	19	19	16	16	-3	-15.8	9.6	59
合計		327	336	290	306	272	249	234	222	174	161	166	5	3.1	100.0	51

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

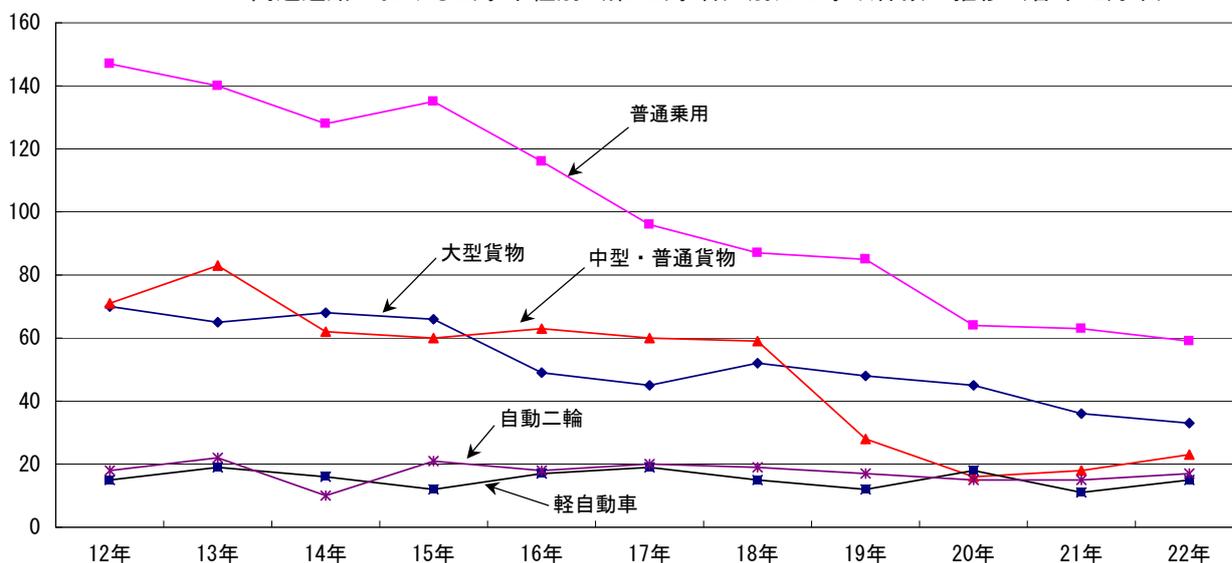
2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(5) 当事者種別（第1当事者）別死亡事故発生状況

当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数は、普通乗用車が59件（構成率35.5%）と最も多く、次いで大型貨物車が33件（同19.9%）の順となっている。

前年と比較すると、普通乗用車（前年比－4件、－6.3%）及び大型貨物車（同－3件、－8.3%）が減少し、その他の当事者は増加となった。

高速道路における当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 高速道路における当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

当事者	年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
大 型 貨 物		70	65	68	66	49	45	52	48	45	36	33	-3	-8.3	19.9	47
バス・マイクロ		0	1	1	0	2	4	0	3	1	1	3	2	200.0	1.8	—
普 通 乗 用		147	140	128	135	116	96	87	85	64	63	59	-4	-6.3	35.5	40
中 型 貨 物		71	83	62	60	63	60	59	28	16	18	23	5	27.8	13.9	55
普 通 貨 物									27	12	14	16	2	14.3	9.6	
軽 自 動 車		15	19	16	12	17	19	15	12	18	11	15	4	36.4	9.0	100
自 動 二 輪		18	22	10	21	18	20	19	17	15	15	17	2	13.3	10.2	94
そ の 他		6	6	5	12	7	5	2	2	3	3	0	-3	-100.0	0.0	0
合 計		327	336	290	306	272	249	234	222	174	161	166	5	3.1	100.0	51

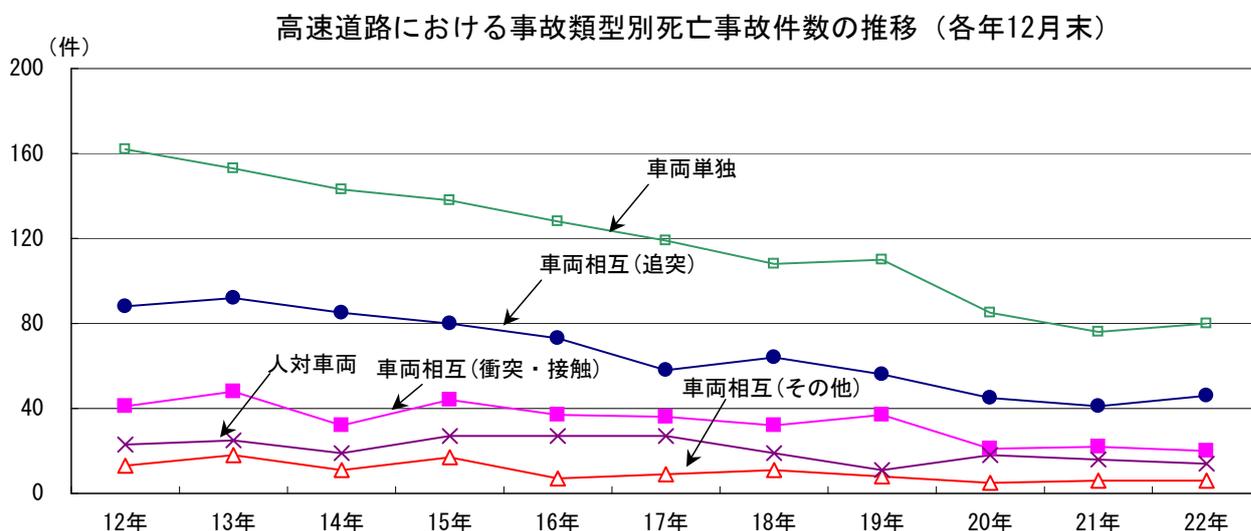
注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(6) 事故類型別死亡事故発生状況

事故類型別死亡事故件数は、車両単独が80件（構成率48.2%）と最も多く、次いで車両相互72件（同43.4%）となっている。車両相互の中では追突が46件（同27.7%）と最も多い。

前年と比較すると、衝突・接触（前年比－2件、－9.1%）及び人対車両（同－2件、－12.5%）が減少した。一方、追突（同＋5件、＋12.2%）及び車両単独（同＋4件、＋5.3%）が増加となった。



○ 高速道路における事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

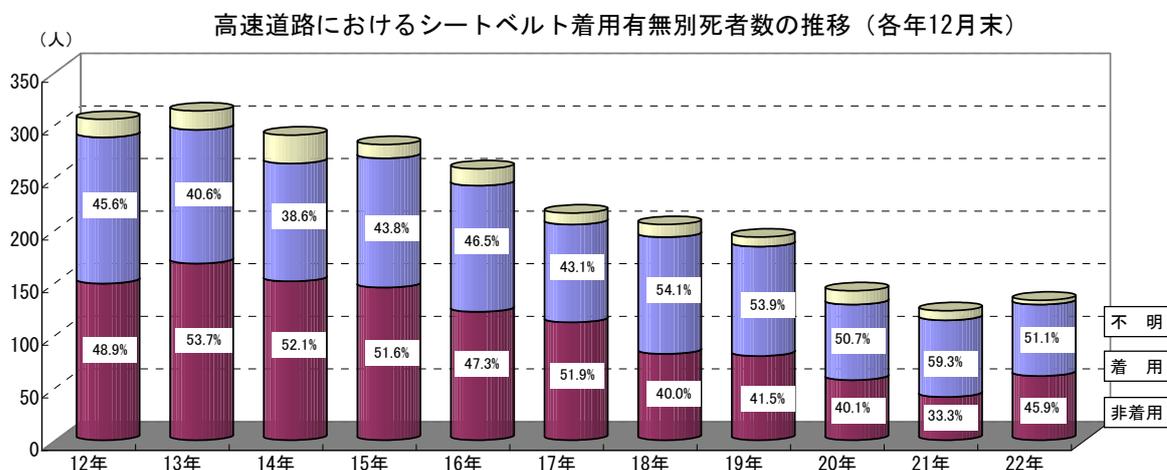
事故類型	区分	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	増減数	増減率	構成率	指数
車両相互	追 突	88	92	85	80	73	58	64	56	45	41	46	5	12.2	27.7	52
	衝 突・接 触	41	48	32	44	37	36	32	37	21	22	20	-2	-9.1	12.0	49
	そ の 他	13	18	11	17	7	9	11	8	5	6	6	0	0.0	3.6	46
	小 計	142	158	128	141	117	103	107	101	71	69	72	3	4.3	43.4	51
車 両 単 独	162	153	143	138	128	119	108	110	85	76	80	4	5.3	48.2	49	
人 対 車 両	23	25	19	27	27	27	19	11	18	16	14	-2	-12.5	8.4	61	
合 計	327	336	290	306	272	249	234	222	174	161	166	5	3.1	100.0	51	

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

(7) シートベルト着用有無別死者数

シートベルト着用有無別の死者数は、運転者の着用死者が68人（運転者死者の51.1%）に対し、非着用死者は61人（同45.9%）であった。助手席同乗者については、着用死者が8人（助手席同乗者死者の57.1%）に対し、非着用者死者は6人（同42.9%）であった。また、後部席同乗者については、着用死者が5人（後部席同乗者死者の18.5%）に対し、非着用者死者は22人（同81.5%）であった。



○ 高速道路におけるシートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

着用有無・座席	年											増減数	増減率	構成率	指数
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年				
シートベルト着用	118	108	93	99	81	77	89	85	54	57	55	-2	-3.5	41.4	47
運転席	18	18	19	22	25	13	19	17	14	11	8	-3	-27.3	6.0	44
助手席	3	1	0	2	14	3	3	2	4	5	5	0	0.0	3.8	167
後部座席等	139	127	112	123	120	93	111	104	72	73	68	-5	-6.8	51.1	49
シートベルト非着用	95	91	85	70	60	54	47	48	37	22	33	11	50.0	24.8	35
運転席	15	29	25	18	13	17	10	8	5	5	6	1	20.0	4.5	40
助手席	39	48	41	57	49	41	25	24	15	14	22	8	57.1	16.5	56
後部座席等	149	168	151	145	122	112	82	80	57	41	61	20	48.8	45.9	41
不明	17	18	27	13	16	11	12	9	13	9	4	-5	-55.6	3.0	24
合計	305	313	290	281	258	216	205	193	142	123	133	10	8.1	100.0	44
非着用死者の構成率	48.9	53.7	52.1	51.6	47.3	51.9	40.0	41.5	40.1	33.3	45.9	-	-	-	94
シートベルト着用者率	80.1	82.5	82.9	83.6	83.3	84.9	85.0	84.3	90.0	93.8	93.7	-	-	-	117
運転席	93.0	95.2	95.3	96.2	96.7	96.9	97.3	97.3	97.5	97.9	97.8	-	-	-	105
助手席	90.2	91.7	91.6	93.1	93.6	94.4	94.6	95.3	95.9	97.2	97.3	-	-	-	108
後部座席	23.0	29.9	32.7	30.8	26.3	31.9	32.5	32.6	59.2	78.3	78.0	-	-	-	340

注1 増減数（率）は、平成21年と比較した値である。

注2 指数は、平成12年を100とした場合の平成22年の値である。

注3 シートベルト着用者率＝シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

注4 死者数の後部座席等には、バスの座席に着席又は、バスの車内に立っている場合を含む。

8 高速道路における道路交通法違反の取締り状況

違反種別	年 別	平成22年 12月末		総計に 対する		平成21年 12月末		総計に 対する		前年比	
		構成率	構成率	構成率	構成率	構成率	構成率	増減数	増減率		
無免許・無資格		1,137	0.2	0.1	1,322	0.2	0.2	-185	-14.0		
酒酔い・酒気帯び		995	0.2	0.1	1,173	0.2	0.1	-178	-15.2		
過労運転		0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	-1	-100.0		
速度違反	40キロ以上	40,360	6.3	4.7	43,629	6.6	5.2	-3,269	-7.5		
	40キロ未満	378,411	58.7	43.7	383,681	58.4	45.5	-5,270	-1.4		
車間距離不保持		15,941	2.5	1.8	13,369	2.0	1.6	2,572	19.2		
過積載		1,975	0.3	0.2	1,921	0.3	0.2	54	2.8		
駐停車違反		321	0.0	0.0	254	0.0	0.0	67	26.4		
通行区分違反		2,173	0.3	0.3	1,750	0.3	0.2	423	24.2		
通行帯違反		83,272	12.9	9.6	87,381	13.3	10.4	-4,109	-4.7		
携帯電話使用等		77,504	12.0	9.0	74,035	11.3	8.8	3,469	4.7		
高速遵守事項違反 燃料措置		407	0.1	0.0	341	0.1	0.0	66	19.4		
高速遵守事項違反 転落措置		585	0.1	0.1	485	0.1	0.1	100	20.6		
故障表示		5,490	0.9	0.6	4,616	0.7	0.5	874	18.9		
その他		35,920	5.6	4.2	43,326	6.6	5.1	-7,406	-17.1		
合計		644,491	100.0	74.5	657,284	100.0	77.9	-12,793	-1.9		
シートベルト装着義務		212,423		24.5	179,869		21.3	32,554	18.1		
チャイルドシート装着		8,503		1.0	6,786		0.8	1,717	25.3		
総計		865,417		100.0	843,939		100.0	21,478	2.5		

注：1 この統計は、警察庁情報処理センター資料による。
2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものである。

9 車両及び運転免許に関する状況

(1) 車両

ア 自動車走行キロ

(各年3月末)

○ 自動車走行キロの推移

(千km)

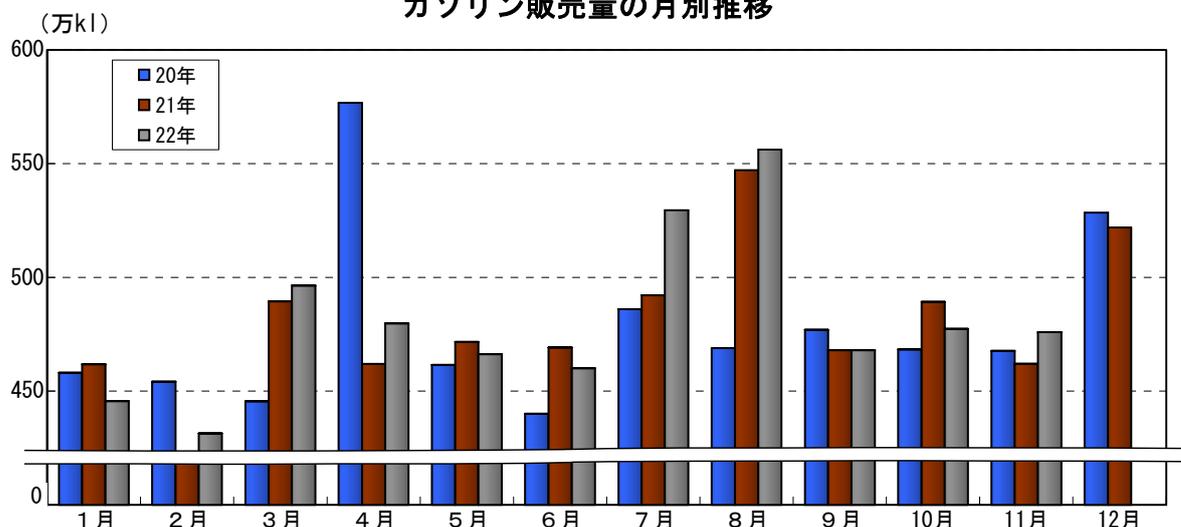
区分 年度	合計		バス		乗用車		貨物車		軽自動車			
	値	指数	値	指数	値	指数	値	指数	乗用車	指数	貨物車	指数
昭和 45 年度	226,016,858	30	5,394,083	82	120,582,367	27	100,040,408	55
46	243,478,952	32	5,378,047	81	137,399,672	31	100,701,233	56
47	259,593,276	34	5,666,980	86	146,272,038	33	107,654,258	59
48	276,194,188	36	5,473,747	83	164,010,339	37	106,710,102	59
49	266,484,708	35	5,318,404	81	161,009,634	37	100,156,670	55
50	286,345,148	37	5,450,669	83	176,035,354	40	104,859,125	58
51	309,698,312	40	5,469,302	83	186,082,581	42	118,146,429	65
52	342,325,568	45	5,722,647	87	205,366,844	47	131,236,077	72
53	361,261,270	47	5,896,439	89	220,362,502	50	135,002,329	75
54	381,951,189	50	5,959,711	90	235,007,020	54	140,984,458	78
55	389,051,711	51	6,045,821	92	241,459,291	55	141,546,599	78
56	394,657,738	52	6,091,312	92	247,156,485	56	141,409,941	78
57	403,100,946	53	6,076,693	92	255,967,631	58	141,056,622	78
58	408,928,139	53	6,163,876	93	259,744,111	59	143,020,152	79
59	415,742,593	54	6,313,337	96	265,095,892	60	144,333,364	80
60	428,441,720	56	6,351,738	96	275,556,532	63	146,533,450	81
61	441,612,821	58	6,454,743	98	285,293,934	65	149,864,144	83
62	548,834,533	72	6,626,287	100	295,083,745	67	156,147,759	86	12,978,087	21	77,998,655	103
63	575,585,221	75	6,736,993	102	308,629,245	70	162,922,548	90	12,866,965	20	84,429,470	111
平成 元 年度	600,216,914	78	6,961,804	105	328,375,855	75	165,849,122	92	12,997,772	21	86,032,361	114
2	628,581,034	82	7,111,973	108	350,316,534	80	170,535,985	94	15,280,783	24	85,335,759	113
3	657,305,386	86	7,185,231	109	366,288,675	84	177,635,617	98	20,726,145	33	85,469,718	113
4	678,211,408	89	7,068,182	107	380,102,242	87	179,104,668	99	25,627,236	41	86,309,080	114
5	683,753,202	89	6,933,858	105	383,356,180	87	178,210,267	98	29,673,538	47	85,579,359	113
6	694,336,083	91	6,806,980	103	391,598,967	89	177,725,843	98	33,946,379	54	84,257,914	111
7	720,283,281	94	6,767,953	103	407,001,030	93	182,594,034	101	39,386,280	63	84,533,984	112
8	737,763,166	96	6,706,027	102	418,980,169	96	184,496,400	102	45,143,031	72	82,437,539	109
9	744,379,458	97	6,641,053	101	425,987,921	97	182,470,151	101	49,610,868	79	79,669,465	105
10	746,054,332	98	6,520,152	99	427,689,092	98	179,741,538	99	54,861,720	87	77,241,830	102
11	765,056,264	100	6,600,779	100	438,550,491	100	181,134,933	100	62,981,556	100	75,788,505	100
12	775,723,401	101	6,619,057	100	438,203,900	100	185,932,105	103	70,054,549	111	74,913,790	99
13	790,820,473	103	6,762,378	102	448,844,505	102	184,211,444	102	77,577,185	123	73,424,961	97
14	790,828,748	103	6,652,731	101	445,133,997	102	182,608,651	101	84,073,623	133	72,359,746	95
15	793,378,171	104	6,661,535	101	438,730,041	100	183,377,193	101	90,986,479	144	73,622,923	97
16	781,711,422	102	6,665,325	101	429,260,043	98	174,410,681	96	97,058,459	154	74,316,914	98
17	768,878,611	100	6,650,213	101	417,536,546	95	168,302,258	93	102,600,945	163	73,788,649	97
18	762,613,241	100	6,655,014	101	405,388,369	92	168,439,999	93	108,720,688	173	73,409,171	97
19	763,628,848	100	6,726,651	102	398,579,070	91	168,499,873	93	116,441,649	185	73,381,605	97
20	746,869,380	98	6,567,880	100	382,499,327	87	163,163,119	90	121,326,604	193	73,312,450	97
21	746,008,093	98	6,549,406	99	382,739,745	87	155,751,713	86	128,585,283	204	72,381,946	96

注1 国土交通省統計資料「自動車輸送統計年報」による。
 2 6年度の数値については、平成7年1月～3月の兵庫県の数値を含まない。
 3 軽自動車については、乗用車及び貨物車の外数であり、62年度分から計上している。
 4 指数は、平成11年度を100とした値である。

イ 燃料消費量

◎ ガソリン及び軽油販売量は前年と同水準（11月末）

ガソリン販売量の月別推移

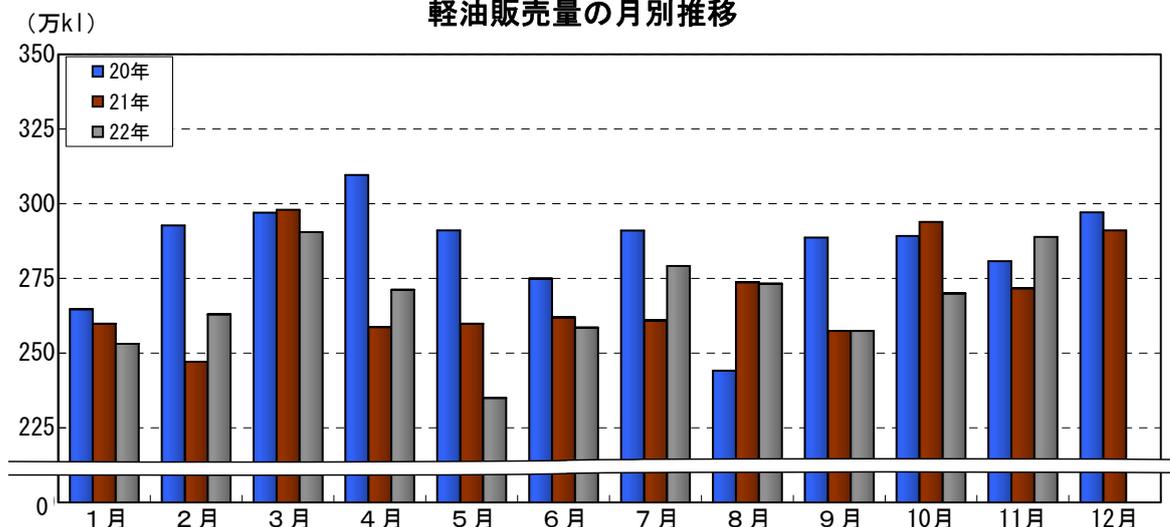


○ ガソリン販売量の月別推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
18年	486.6	451.6	523.8	497.3	493.2	497.4	547.5	560.1	485.5	498.5	492.8	556.6	5,534.3	6,090.9
19年	453.5	462.7	516.8	491.8	489.2	481.0	523.0	545.2	523.0	503.4	483.6	507.9	5,473.2	5,981.1
20年	458.1	454.2	445.6	576.7	461.5	440.1	486.0	468.9	477.0	468.3	467.7	528.5	5,204.1	5,732.6
21年	461.9	420.9	489.5	462.0	471.7	469.2	492.1	547.1	468.0	489.2	462.1	522.0	5,233.7	5,755.7
22年	445.7	431.5	496.4	479.8	466.2	460.0	529.5	556.2	468.0	477.4	475.9	-	5,286.6	-
同月比	96	103	101	104	99	98	108	102	100	98	103	-	101.0	-

注1 経済産業省統計資料「資源・エネルギー統計月報」による。
 2 同月比は、平成21年を100とした場合の平成22年の値である。

軽油販売量の月別推移



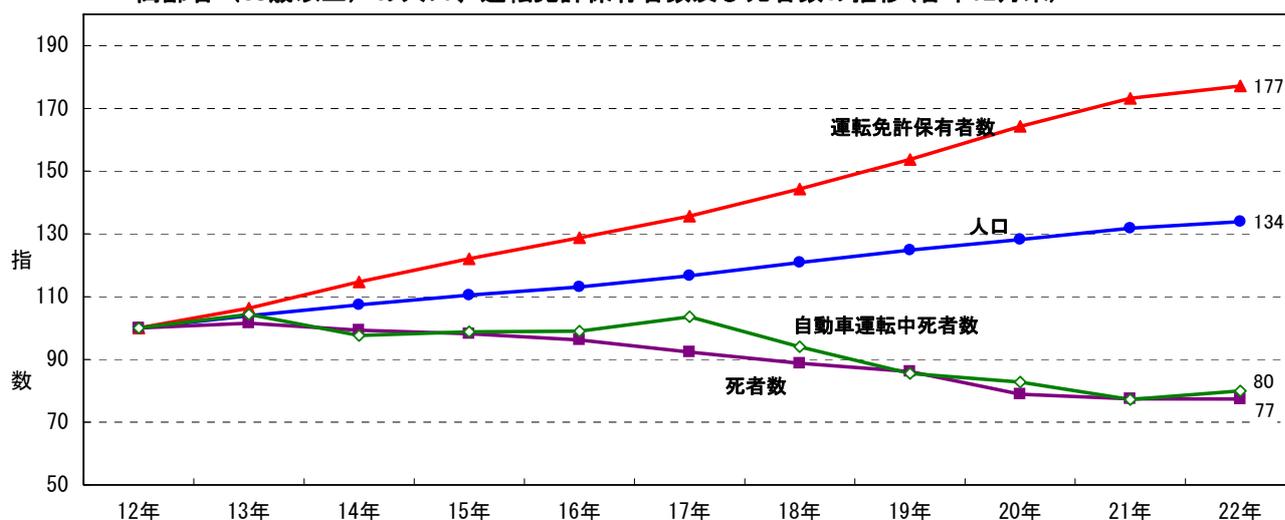
○ 軽油販売量の月別推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
18年	280.6	289.9	341.4	309.8	275.1	303.8	319.7	298.3	294.5	314.3	320.5	332.9	3,347.9	3,680.8
19年	260.6	300.7	331.3	297.4	284.2	301.5	297.0	284.7	305.9	314.4	312.8	304.6	3,290.5	3,595.1
20年	264.7	292.7	297.0	309.6	291.1	274.9	291.0	244.1	288.6	289.2	280.8	297.1	3,123.7	3,420.8
21年	259.8	247.1	298.0	258.7	259.8	261.9	261.0	273.7	257.4	293.9	271.7	291.1	2,943.0	3,234.1
22年	253.1	263.0	290.5	271.2	235.0	258.5	279.1	273.2	257.4	270.0	288.9	-	2,939.9	-
同月比	97	106	97	105	90	99	107	100	100	92	106	-	99.9	-

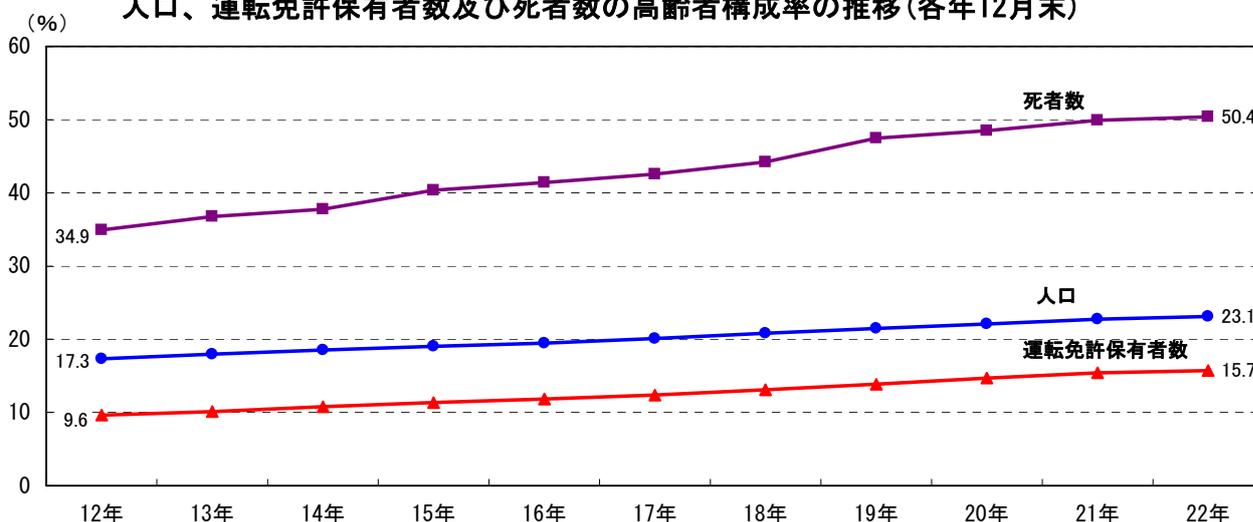
注1 経済産業省統計資料「資源・エネルギー統計月報」による。
 2 同月比は、平成21年を100とした場合の平成22年の値である。

(2) 運転免許

高齢者（65歳以上）の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移（各年12月末）



人口、運転免許保有者数及び死者数の高齢者構成率の推移（各年12月末）



○ 高齢者の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移

		12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
人口 (万人)	65歳以上 (構成率)	2,201 17.3	2,287 18.0	2,363 18.5	2,431 19.0	2,488 19.5	2,567 20.1	2,660 20.8	2,747 21.5	2,822 22.1	2,901 22.7	2,946 23.1
	(指数)	100	104	107	110	113	117	121	125	128	132	134
	総数 (指数)	12,693 100	12,729 100	12,744 100	12,762 101	12,769 101	12,777 101	12,777 101	12,777 101	12,769 101	12,751 100	12,739 100
運転 免許 保有 者数 (千人)	65歳以上 (構成率)	7,201 9.6	7,654 10.1	8,260 10.8	8,791 11.3	9,272 11.8	9,766 12.4	10,389 13.1	11,071 13.9	11,827 14.7	12,471 15.4	12,754 15.7
	(指数)	100	106	115	122	129	136	144	154	164	173	177
	総数 (指数)	74,687 100	75,551 101	76,534 102	77,468 104	78,247 105	78,799 106	79,330 106	79,907 107	80,448 108	80,812 108	81,010 108
死 者 数 (人)	65歳以上 (構成率)	3,166 34.9	3,216 36.8	3,144 37.8	3,109 40.4	3,046 41.4	2,924 42.6	2,809 44.2	2,727 47.5	2,499 48.5	2,452 49.9	2,450 50.4
	(指数)	100	102	99	98	96	92	89	86	79	77	77
	総数 (指数)	9,066 100	8,747 96	8,326 92	7,702 85	7,358 81	6,871 76	6,352 70	5,744 63	5,155 57	4,914 54	4,863 54
高齢者自動車運転中死者数 (指数)		504 100	526 104	492 98	498 99	499 99	522 104	474 94	431 86	417 83	389 77	403 80

注1 人口は、総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。なお、平成22年は概数である。

2 運転免許保有者数は、各年12月末現在である。

3 構成率は、総数に占める65歳以上の割合である。

4 指数は、平成12年を100とした場合の値である。

10 都道府県別交通事故発生状況

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数		
		22年	増減数	増減率	22年	増減数	増減率	順位	22年	増減数	増減率
北海道	札幌	12,273	-969	-7.3	101	-9	-8.2		14,918	-1,203	-7.5
	函館	1,621	-81	-4.8	16	-6	-27.3		2,000	-105	-5.0
	旭川	1,862	-165	-8.1	33	-1	-2.9		2,365	-111	-4.5
	釧路	1,607	-133	-7.6	41	4	10.8		1,954	-214	-9.9
	北見	725	-67	-8.5	24	9	60.0		859	-126	-12.8
	計	18,088	-1,415	-7.3	215	-3	-1.4	1	22,096	-1,759	-7.4
東北	青森	5,842	-163	-2.7	66	16	32.0	28	7,161	-321	-4.3
	岩手	4,097	-291	-6.6	67	-14	-17.3	27	5,125	-276	-5.1
	宮城	10,420	-240	-2.3	80	-12	-13.0	24	13,323	-124	-0.9
	秋田	3,206	-504	-13.6	60	-4	-6.3	33	3,984	-568	-12.5
	山形	7,393	-200	-2.6	51	1	2.0	39	9,343	-247	-2.6
	福島	10,665	-622	-5.5	112	11	10.9	17	13,253	-989	-6.9
	計	41,623	-2,020	-4.6	436	-2	-0.5	***	52,189	-2,525	-4.6
東	京	55,014	-1,344	-2.4	215	10	4.9	1	62,129	-1,467	-2.3
関東	茨城	16,246	-422	-2.5	205	6	3.0	3	21,102	-532	-2.5
	栃木	10,053	-679	-6.3	146	25	20.7	12	12,815	-940	-6.8
	群馬	19,080	-47	-0.2	94	-6	-6.0	22	23,970	-52	-0.2
	埼玉	39,581	892	2.3	198	-9	-4.3	5	48,247	1,101	2.3
	千葉	25,914	-386	-1.5	184	-13	-6.6	8	32,196	-308	-0.9
	神奈川	41,815	-1,202	-2.8	182	6	3.4	9	49,644	-1,412	-2.8
	新潟	10,011	-578	-5.5	126	13	11.5	16	12,244	-745	-5.7
	山梨	6,283	-210	-3.2	49	11	28.9	41	8,225	-415	-4.8
東	長野	10,743	-428	-3.8	110	-1	-0.9	18	13,588	-557	-3.9
	静岡	36,751	873	2.4	165	-14	-7.8	11	47,915	1,586	3.4
	計	216,477	-2,187	-1.0	1,459	18	1.2	***	269,946	-2,274	-0.8
中部	富山	5,694	-158	-2.7	58	-1	-1.7	34	6,541	-327	-4.8
	石川	6,037	-283	-4.5	64	10	18.5	31	7,223	-433	-5.7
	福井	3,624	-116	-3.1	42	-12	-22.2	45	4,336	-164	-3.6
	岐阜	11,779	-94	-0.8	133	8	6.4	14	15,757	-197	-1.2
	愛知	51,161	185	0.4	197	-30	-13.2	6	62,836	148	0.2
	三重	11,275	-97	-0.9	135	23	20.5	13	14,878	-248	-1.6
	計	89,570	-563	-0.6	629	-2	-0.3	***	111,571	-1,221	-1.1
近畿	滋賀	9,023	174	2.0	78	13	20.0	25	11,656	230	2.0
	京都	14,775	-234	-1.6	96	-5	-5.0	20	17,813	-159	-0.9
	大阪	51,292	-405	-0.8	201	-4	-2.0	4	61,469	-374	-0.6
	兵庫	36,594	234	0.6	192	16	9.1	7	44,339	-65	-0.1
	奈良	6,515	-596	-8.4	45	-7	-13.5	43	8,406	-628	-7.0
	和歌山	6,903	-301	-4.2	52	1	2.0	36	8,577	-335	-3.8
	計	125,102	-1,128	-0.9	664	14	2.2	***	152,260	-1,331	-0.9
中国	鳥取	1,812	-140	-7.2	42	5	13.5	45	2,273	-166	-6.8
	島根	1,977	-232	-10.5	31	-2	-6.1	47	2,261	-232	-9.3
	岡山	16,821	-340	-2.0	109	2	1.9	19	21,221	-494	-2.3
	広島	16,546	-757	-4.4	127	-15	-10.6	15	20,653	-1,152	-5.3
	山口	7,709	-42	-0.5	96	-12	-11.1	20	9,541	-58	-0.6
	計	44,865	-1,511	-3.3	405	-22	-5.2	***	55,949	-2,102	-3.6
四国	徳島	5,382	-126	-2.3	44	-4	-8.3	44	6,499	-262	-3.9
	香川	11,795	74	0.6	65	-5	-7.1	29	14,528	-1	0.0
	愛媛	8,188	-716	-8.0	64	-17	-21.0	31	9,726	-972	-9.1
	高知	3,692	-119	-3.1	52	7	15.6	36	4,190	-257	-5.8
	計	29,057	-887	-3.0	225	-19	-7.8	***	34,943	-1,492	-4.1
九州	福岡	44,445	105	0.2	170	-25	-12.8	10	58,099	652	1.1
	佐賀	9,038	490	5.7	58	21	56.8	34	11,976	538	4.7
	長崎	7,301	-342	-4.5	52	-15	-22.4	36	9,483	-405	-4.1
	熊本	10,830	-327	-2.9	78	-10	-11.4	25	13,676	-632	-4.4
	大分	6,331	-295	-4.5	65	13	25.0	29	8,241	-419	-4.8
	宮崎	11,000	0	0.0	51	-22	-30.1	39	13,145	-26	-0.2
	鹿児島	10,531	-454	-4.1	94	-7	-6.9	22	12,783	-635	-4.7
	沖縄	6,501	177	2.8	47	0	0.0	42	7,722	198	2.6
	計	105,977	-646	-0.6	615	-45	-6.8	***	135,125	-729	-0.5
合計		725,773	-11,701	-1.6	4,863	-51	-1.0	***	896,208	-14,900	-1.6

注 増減数(率)は、前年と比較した値である。

11 都道府県別高齢者の死者数

都道府県別	区分	全死者				
		高齢者		順位	高齢者構成率	順位
		22年	22年			
北海道		215	99	2	46.0	37
東	青森	66	45	24	68.2	4
	岩手	67	39	30	58.2	14
	宮城	80	40	28	50.0	30
	秋田	60	33	36	55.0	17
北	山形	51	35	32	68.6	3
	福島	112	60	17	53.6	21
東京		215	80	9	37.2	46
関	茨城	205	102	1	49.8	31
	栃木	146	75	11	51.4	29
	群馬	94	50	20	53.2	23
	埼玉	198	83	7	41.9	42
	千葉	184	90	4	48.9	34
	神奈川	182	72	12	39.6	44
	新潟	126	69	15	54.8	18
東	山梨	49	22	44	44.9	40
	長野	110	58	18	52.7	24
	静岡	165	86	6	52.1	28
中	富山	58	34	33	58.6	12
	石川	64	40	28	62.5	9
	福井	42	29	38	69.0	2
	岐阜	133	72	12	54.1	19
	愛知	197	90	4	45.7	38
部	三重	135	71	14	52.6	25
	滋賀	78	37	31	47.4	36
	京都	96	47	22	49.0	33
畿	大阪	201	77	10	38.3	45
	兵庫	192	95	3	49.5	32
	奈良	45	24	43	53.3	22
	和歌山	52	32	37	61.5	10
	鳥取	42	19	46	45.2	39
中	島根	31	21	45	67.7	5
	岡山	109	57	19	52.3	27
	広島	127	46	23	36.2	47
	山口	96	41	27	42.7	41
四	徳島	44	27	42	61.4	11
	香川	65	45	24	69.2	1
	愛媛	64	42	26	65.6	7
	高知	52	28	41	53.8	20
九	福岡	170	81	8	47.6	35
	佐賀	58	34	33	58.6	12
	長崎	52	29	38	55.8	16
	熊本	78	50	20	64.1	8
	大分	65	34	33	52.3	26
	宮崎	51	29	38	56.9	15
	鹿児島	94	62	16	66.0	6
	沖縄	47	19	46	40.4	43
合計		4,863	2,450	—	50.4	—

(平成20年10月1日現在推計人口)			
全人口 (千人)	うち高齢者 (千人)	高齢者人口	
		構成率	順位
5,535	1,305	23.6	26
1,392	340	24.4	20
1,352	355	26.3	6
2,340	504	21.5	36
1,108	315	28.4	2
1,188	317	26.7	5
2,052	496	24.2	23
12,838	2,599	20.2	41
2,964	632	21.3	38
2,011	424	21.1	40
2,012	452	22.5	33
7,113	1,361	19.1	46
6,122	1,233	20.1	42
8,917	1,715	19.2	44
2,391	611	25.6	12
871	206	23.7	25
2,171	554	25.5	14
3,800	860	22.6	32
1,101	278	25.2	15
1,168	267	22.9	30
812	197	24.3	22
2,100	481	22.9	29
7,403	1,419	19.2	45
1,875	434	23.1	27
1,402	276	19.7	43
2,629	588	22.4	34
8,806	1,868	21.2	39
5,586	1,233	22.1	35
1,404	318	22.6	31
1,012	264	26.1	7
595	152	25.5	13
725	207	28.6	1
1,948	473	24.3	21
2,869	660	23.0	28
1,463	394	26.9	4
794	207	26.1	8
1,003	249	24.8	19
1,444	370	25.6	11
773	215	27.8	3
5,054	1,084	21.4	37
856	205	23.9	24
1,440	363	25.2	16
1,821	457	25.1	18
1,200	311	25.9	10
1,136	286	25.2	17
1,717	447	26.0	9
1,376	237	17.2	47
127,692	28,216	22.1	—

注 人口は、総務省統計資料「平成20年推計人口結果」による。）